

名古屋都市計画道路 3・3・14 号椿町線に係る

事後調査結果報告書（工事中）

（道路の建設）

令和元年 9 月

名 古 屋 市

は　じ　め　に

本事後調査結果報告書（工事中）は、「名古屋市環境影響評価条例」（平成10年名古屋市条例第40号）に基づき、平成16年7月に名古屋市に提出した「名古屋都市計画道路3・3・14号椿町線に係る事後調査計画書（工事中）」（平成16年7月、名古屋市）に従い行った調査の結果をとりまとめたものである。

目次

第1章	事業者の氏名及び住所	1
第2章	対象事業の名称及び種類	1
第3章	対象事業の概要	1
3-1	事業の目的	1
3-2	事業の概要	2
3-3	工事の概要	7
第4章	環境影響評価の概要	9
4-1	手続きの経緯	9
4-2	調査、環境保全目標、予測結果、評価及び環境保全対策の概要	11
第5章	対象事業に係る事後調査の項目及び手法並びに調査時期、調査期間	18
5-1	事後調査の目的	18
5-2	事後調査の項目及び手法	19
5-3	事後調査の時期及び期間	24
第6章	事後調査の結果	25
6-1	大気汚染	25
6-2	騒音	30
6-3	振動	47
6-4	地盤	50
6-5	廃棄物	55
6-6	安全性	57

第1章 事業者の氏名及び住所

事業者名 名古屋市
代 表 者 名古屋市長 河村 たかし
住 所 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

第2章 対象事業の名称及び種類

名 称 名古屋都市計画道路 3・3・14 号椿町線
種 類 道路の建設

第3章 対象事業の概要

3-1 事業の目的

本事業は、自動車交通の輻輳する名古屋駅周辺地区において、幹線道路を整備強化するため、名古屋駅太閤通口の前を通る椿町線を太閤一丁目交差点から南へ延伸し、太閤地区及びささしまライブ 24 地区を経由して、岩井町線、荒子町線と結ぶものである。

本事業の目的は、笹島交差点及び運河通等の慢性的な交通渋滞を緩和するとともに交通の整流化を図ることによる地域の交通環境の改善及び鉄道施設による地域分断の解消、さらには、ささしまライブ 24 地区及び沿道の土地利用の促進による沿道地域の活性化と発展に寄与しようとするものである。

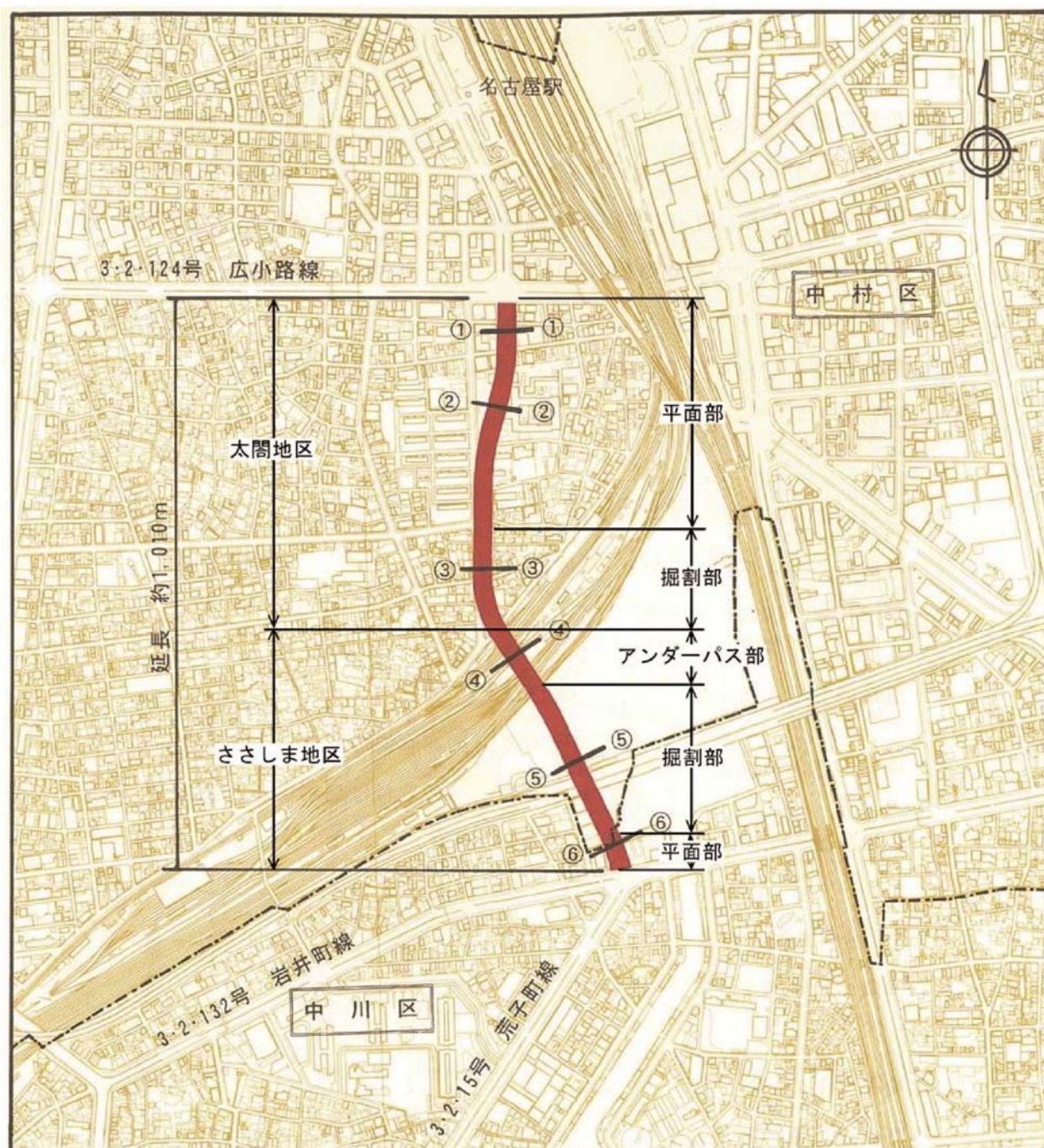
3-2 事業の概要

事業路線の概要は、表 3-2-1 に示すとおりである。

表 3-2-1 事業路線の概要

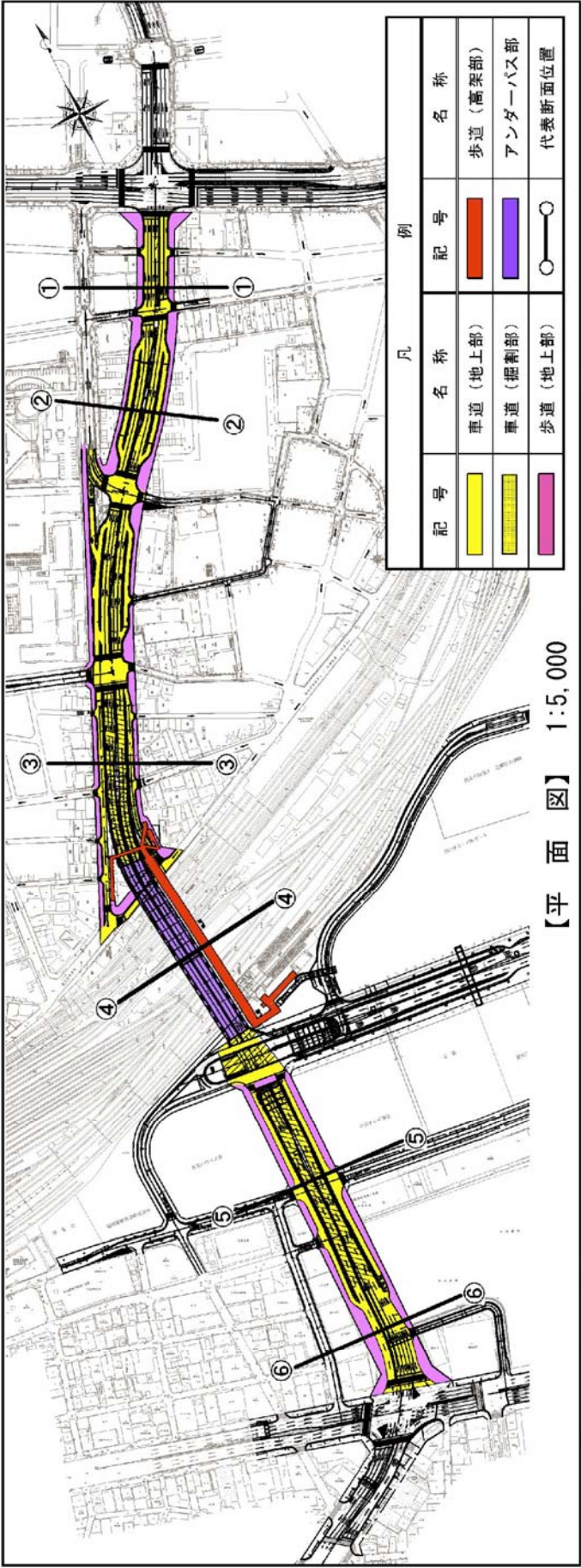
項 目	内 容
事 業 の 名 称	名古屋都市計画道路 3・3・14 号椿町線
事 業 区 間	名古屋市中村区太閤一丁目～中川区運河町
事 業 延 長	L=約 1,010m（新設区間）
車 線 数	本線 4 車線 側道 2 車線
道 路 区 分	4 種 1 級
構 造	地表式（事業路線は、JR 関西本線等の鉄道施設の地下を通過し、その前後の取付は掘割構造とする。）
事 業 路 線 概 要 図	図 3-2-1 参照 ^{注 1)}
平面図及び縦断面図	図 3-2-2 参照 ^{注 1)}
横 断 面 図	図 3-2-3 参照 ^{注 1)}
供 用 開 始 時 期	令和元年 5 月（本線部は平成 30 年 9 月開通）

注 1) 図面については、事業計画及び設計内容の見直し等により、事後調査計画書（工事中）（平成 16 年 7 月）から内容を一部変更している。

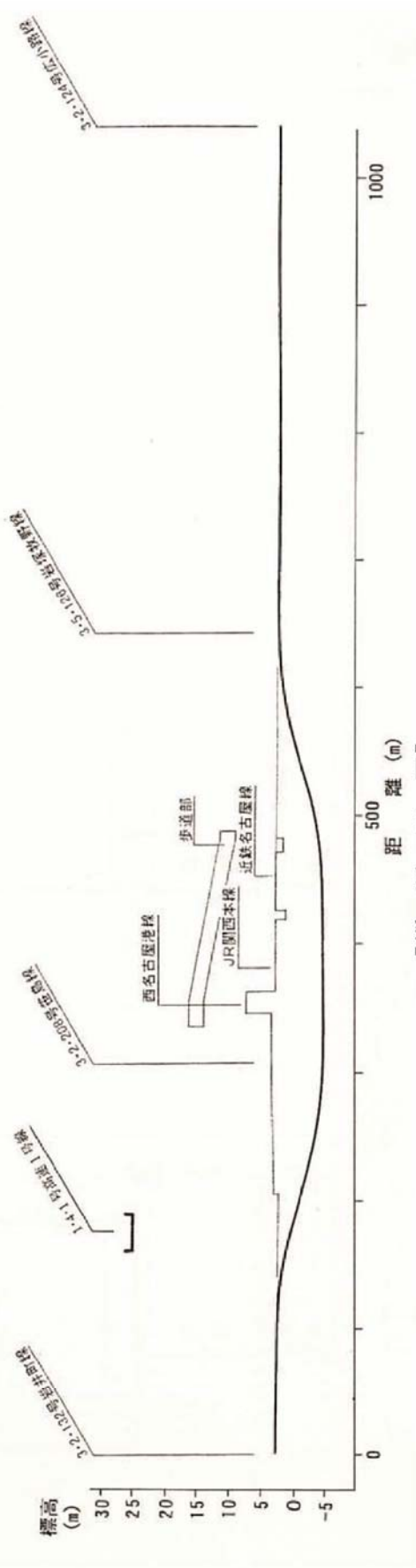


凡 例	
記 号	名 称
	事業路線
○—○	代表断面位置

図 3-2-1 事業路線概要図



【平面図】 1:5,000

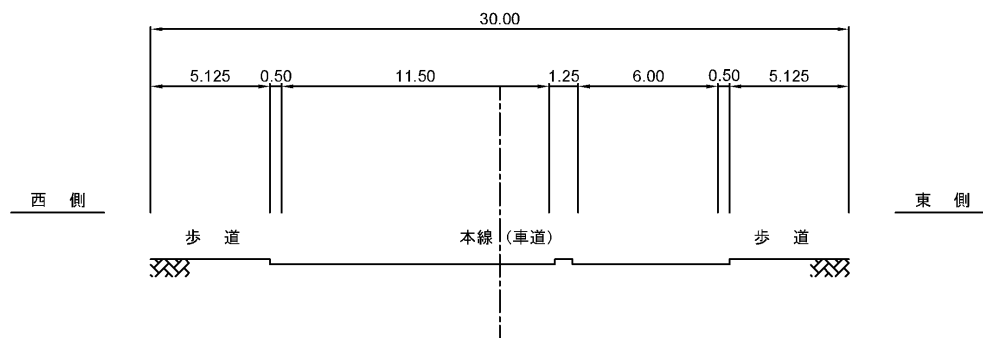


【縦断面図】

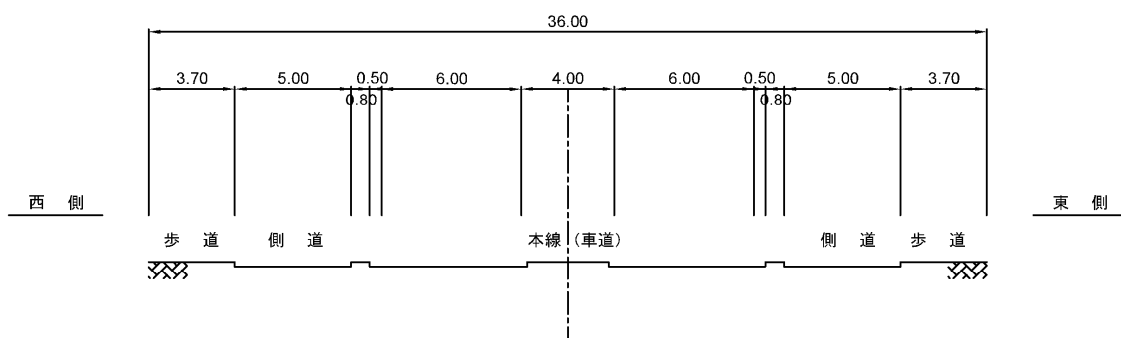
図 3-2-2 平面図及び縦断面図

① 平面部(幅員30m区間)

(単位:m)



② 平面部(幅員36m区間)



③ 掘割部(幅員36m区間)

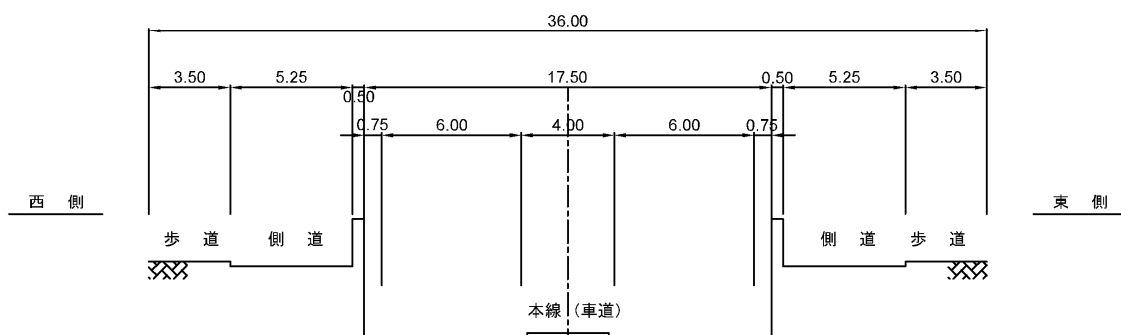
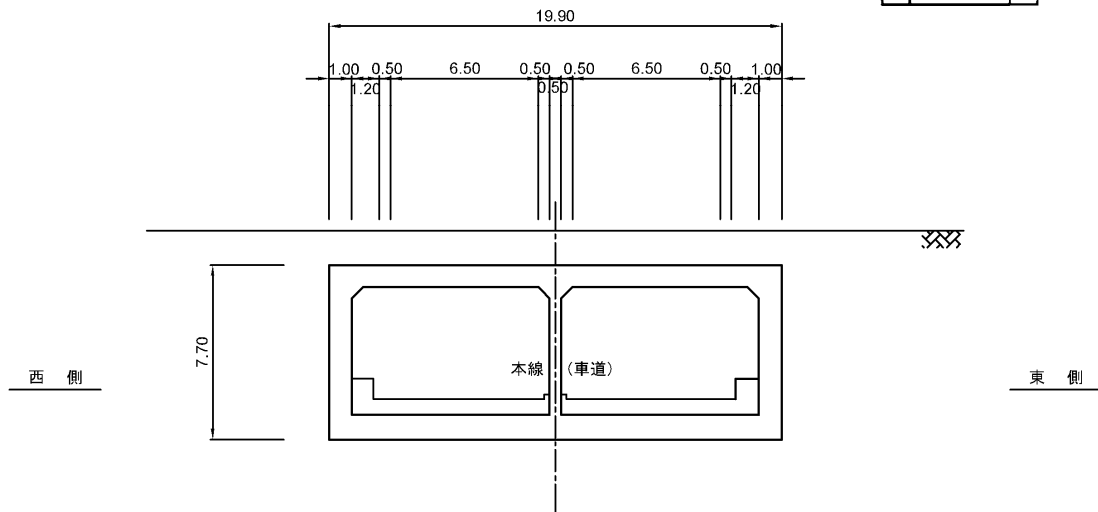
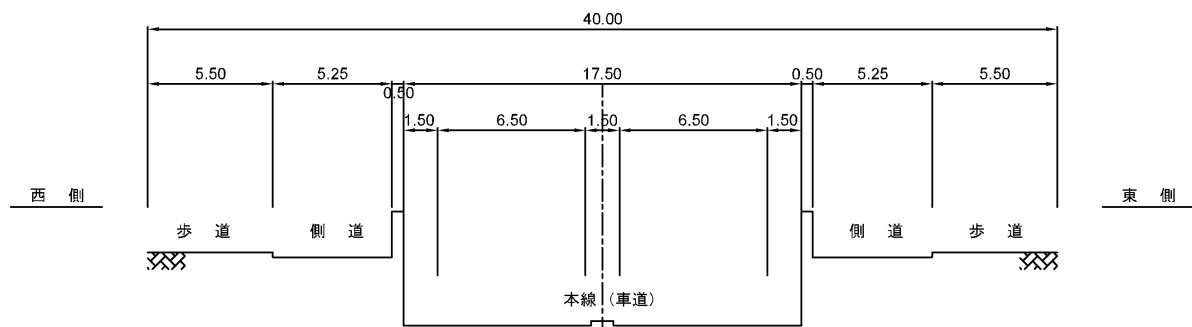


図 3-2-3 (1) 横断面図

④ アンダーパス部(幅員30m区間) (単位:m)



⑤ 掘割部(幅員30m区間)



⑥ 平面部(幅員40m区間)

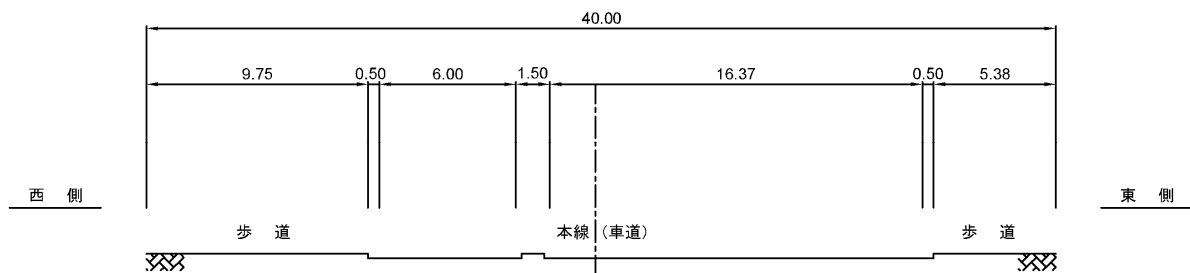


図 3-2-3 (2) 横断面図

3-3 工事の概要

工事の概要は表 3-3-1 に、工事工程表は表 3-3-2 に示すとおりである。

なお、必要に応じ工事の内容等について事前に工事区域の沿線住民に周知し、工事について協力が得られるよう努めた。

表 3-3-1 工事の概要

項 目	内 容	
工事着手時期	平成 20 年 9 月	
工事期間	平成 20 年 9 月～令和元年 5 月	
主な工種	準備工	
	函体工事	土 留 め 工
		土 工
		パ イ プ ル フ 工
		軀 体 工
	掘割工事	土 留 め 工
		土 工
		擁 壁 工
	舗装工事	路 盤 工
		舗 装 工
工事工程	表 3-3-2 参照	

表 3-3-2 工事工程表^{注2)}

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 令和元年度
太閤地区 平面部							準備工	路盤工・舗装工				
太閤地区 掘割部							準備工	土留め工・土工 擁壁工				
ささしま地区 アンダーパス部			準備工	土留め工・土工	パイプラフ工 躯体工					舗装工		
ささしま地区 掘割部	準備工	土留め工・擁壁工	土工					土留め工	土工	擁壁工 路盤工・舗装工		
ささしま地区 平面部										路盤工・舗装工		

注2) 工事工程表については、事業計画及び設計内容の見直し等により、事後調査計画書(工事中)(平成16年7月)から内容を一部変更している。

第4章 環境影響評価の概要

4-1 手続きの経緯

本事後調査結果報告書作成までの経緯は、表 4-1-1 に示すとおりである。

表 4-1-1 環境影響評価手続きの経緯

事 項			内 容 等
環境影響評価準備書	公告日		平成 10 年 10 月 19 日
	閲 覧	期間	平成 10 年 10 月 19 日～同年 11 月 2 日
		場所	計画局都市計画部街路計画課 中村区役所 中川区役所
	説明 会	開催日（場所）	平成 10 年 10 月 23 日（名古屋市立米野小学校） 平成 10 年 10 月 28 日（名古屋市立愛知小学校）
意見書	提出期間（提出数）		平成 10 年 10 月 19 日～同年 11 月 2 日（185 通） 平成 11 年 4 月 13 日～同年 4 月 27 日（ 15 通）
市の意見	閲 覧	期間	平成 11 年 1 月 29 日～同年 2 月 15 日
		場所	計画局都市計画部街路計画課
市長の意見	閲 覧	期間	平成 11 年 6 月 7 日～同年 6 月 22 日
		場所	環境保全局環境管理部環境影響評価室
環境影響評価書	告示日		平成 11 年 8 月 13 日
	縦 覧	期間	平成 11 年 8 月 13 日～同年 9 月 13 日
		場所	環境保全局環境管理部環境影響評価室 計画局都市計画部街路計画課 各区区役所
事後調査計画書 （工事中）	告示日		平成 16 年 7 月 27 日
	縦 覧	期間	平成 16 年 7 月 27 日～同年 8 月 10 日
		場所	環境局環境都市推進部環境影響評価室 住宅都市局都市計画部街路計画課 各区区役所
事後調査計画書 （供用開始後）	告示日		平成 25 年 6 月 7 日
	縦 覧	期間	平成 25 年 6 月 7 日～同年 6 月 21 日
		場所	環境局地域環境対策部地域環境対策課 中村区役所 中川区役所 環境学習センター
事後調査結果 中間報告書 （工事中）	告示日		平成 25 年 10 月 7 日
	縦 覧	期間	平成 25 年 10 月 7 日～同年 10 月 21 日
		場所	環境局地域環境対策部地域環境対策課 中村区役所 中川区役所 環境学習センター
事後調査結果 中間報告書 （工事中）（その 2）	告示日		平成 28 年 10 月 5 日
	縦 覧	期間	平成 28 年 10 月 5 日～同年 10 月 19 日
		場所	環境局地域環境対策部地域環境対策課 中村区役所 中川区役所 環境学習センター

4-2 調査、環境保全目標、予測結果、評価及び環境保全対策の概要

本事業の工事により影響を受けると想定された各環境項目についての調査、環境保全目標、予測結果、評価及び環境保全対策の概要は、表 4-2-1 に示すとおりである。

なお、概要については、環境影響評価書（平成 11 年 8 月）において実施した工事中における環境影響評価の概要を示す。

表 4-2-1 (1) 調査、環境保全目標、予測結果、評価及び環境保全対策の概要（工事中）

環境項目	現 況	環境保全目標
大 気 汚 染	（既存資料調査） 平成 8 年度の中村区（第一赤十字病院）及び中川区（水道局材料所）の降下ばいじん量は、それぞれ 2.6 t/km²/月、2.7 t/km²/月である。 全市平均の 2.4 t/km²/月に比べて中村区、中川区とも上回っている。	日常生活に著しい影響を及ぼさない。
騒 音 （ 建 設 機 械 ）	（既存資料調査） 平成 8 年度の名古屋市の騒音に係る苦情件数は 674 件で、これを業種別にみると、建設業が 32%となっている。	日常生活に著しい影響を及ぼさない。

予測結果	評価及び環境保全対策																											
工事中において、建設機械の稼働や土砂の掘削・運搬等による粉じんの発生による影響が予測される。	工事中において、建設機械の稼働や土砂の掘削・運搬等による粉じんの発生による影響が考えられるが、工事用車両の通路選定に十分留意し、土砂の掘削・運搬等により粉じんが発生するおそれのある場所では、シートによる防じん、散水、搬出入車両の洗浄など適切な措置を講じることにより、周辺環境に及ぼす影響の軽減を図ることで、環境保全目標を達成できると考えられる。																											
工種毎の建設機械の騒音レベルの予測結果は、表 1 に示すとおりである。 なお、パイプルーフ工は工事箇所が公共用地等と鉄道用地に隣接した地域であることから民地までの距離が大きくなり、影響がほとんどない。 表 1 建設機械による騒音レベルの予測結果 <table><tr><th colspan="2">工 種</th><th>予測結果 (dB (A))</th></tr><tr><td colspan="2">準 備 工</td><td>84</td></tr><tr><td rowspan="3">函体工事</td><td>土留め工</td><td>75</td></tr><tr><td>土 工</td><td>79</td></tr><tr><td>軀 体 工</td><td>82</td></tr><tr><td rowspan="3">掘割工事</td><td>土留め工</td><td>79</td></tr><tr><td>土 工</td><td>84</td></tr><tr><td>擁 壁 工</td><td>81</td></tr><tr><td rowspan="3">舗装工事</td><td>路 盤 工</td><td>84</td></tr><tr><td>舗 装 工 (アスファルト)</td><td>84</td></tr><tr><td>舗 装 工 (コンクリート)</td><td>75</td></tr></table> *騒音レベルは、道路と民地との境界地上 1.2m における最大値である。	工 種		予測結果 (dB (A))	準 備 工		84	函体工事	土留め工	75	土 工	79	軀 体 工	82	掘割工事	土留め工	79	土 工	84	擁 壁 工	81	舗装工事	路 盤 工	84	舗 装 工 (アスファルト)	84	舗 装 工 (コンクリート)	75	建設機械の稼働に伴う騒音レベルは、75～84dB (A) の範囲であり、特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準値 85dB (A) を満足しており、環境保全目標を達成できると考えられる。 なお、工事の実施にあたっては各種機械から発生する騒音の複合による影響等を考慮し、騒音を極力抑える施工方法を採用するほか、機種を選定にあたっては低騒音型機械の導入や防音シートの導入に努める。また、機械の操作、配置、使用期間及び作業区域についても十分留意するものとし、周辺環境に及ぼす影響を少なくするよう努める。
工 種		予測結果 (dB (A))																										
準 備 工		84																										
函体工事	土留め工	75																										
	土 工	79																										
	軀 体 工	82																										
掘割工事	土留め工	79																										
	土 工	84																										
	擁 壁 工	81																										
舗装工事	路 盤 工	84																										
	舗 装 工 (アスファルト)	84																										
	舗 装 工 (コンクリート)	75																										

表 4-2-1(2) 調査、環境保全目標、予測結果、評価及び環境保全対策の概要（工事中）

環境項目	現 況	環境保全目標
振 動 （ 建 設 機 械 ）	（既存資料調査） 平成 8 年度の名古屋市の振動に係る苦情件数は 109 件で、これを業種別にみると、建設業が 51%となっている。	日常生活に著しい影響を及ぼさない。
地 盤	（既存資料調査） 地下水位は、地表面下 1.45m と 4.04 m である。 地盤は、毎年 1cm 以内の変動が繰り返されているが、顕著な変化はみられない。 関係地域内では、揚水設備が 1 箇所ある。	日常生活に影響を及ぼすような地盤変位及び地下水位の低下を起こさない。

予測結果	評価及び環境保全対策																											
工種毎の建設機械の振動レベルの予測結果（最大値）は、表 2 に示すとおりである。 なお、パイプルーフ工は工事箇所が公共用地等と鉄道用地に隣接した地域であることから民地までの距離が大きくなり、影響がほとんどない。 表 2 建設機械による振動レベルの予測結果 <table><tr><th colspan="2">工 種</th><th>予測結果 (dB)</th></tr><tr><td colspan="2">準 備 工</td><td>74</td></tr><tr><td rowspan="3">函体工事</td><td>土留め工</td><td>58</td></tr><tr><td>土 工</td><td>70</td></tr><tr><td>軀 体 工</td><td>70</td></tr><tr><td rowspan="3">掘割工事</td><td>土留め工</td><td>61</td></tr><tr><td>土 工</td><td>72</td></tr><tr><td>擁 壁 工</td><td>70</td></tr><tr><td rowspan="3">舗装工事</td><td>路 盤 工</td><td>71</td></tr><tr><td>舗 装 工 (アスファルト)</td><td>71</td></tr><tr><td>舗 装 工 (コンクリート)</td><td>68</td></tr></table> *振動レベルは、道路と民地との境界における最大値である。	工 種		予測結果 (dB)	準 備 工		74	函体工事	土留め工	58	土 工	70	軀 体 工	70	掘割工事	土留め工	61	土 工	72	擁 壁 工	70	舗装工事	路 盤 工	71	舗 装 工 (アスファルト)	71	舗 装 工 (コンクリート)	68	建設機械の稼働に伴う振動レベルは、58～74dB の範囲であり、特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準値 75dB を満足しており、環境保全目標を達成できると考えられる。 なお、工事の実施にあたっては各種機械から発生する振動の複合による影響等を考慮し、振動を極力抑える施工方法を採用するほか、機種を選定にあたっては低振動型機械の導入に努める。また、機械の操作、配置、使用期間及び作業区域についても十分留意するものとし、周辺環境に及ぼす影響を少なくするよう努める。
工 種		予測結果 (dB)																										
準 備 工		74																										
函体工事	土留め工	58																										
	土 工	70																										
	軀 体 工	70																										
掘割工事	土留め工	61																										
	土 工	72																										
	擁 壁 工	70																										
舗装工事	路 盤 工	71																										
	舗 装 工 (アスファルト)	71																										
	舗 装 工 (コンクリート)	68																										
本事業による掘削の深さは約 10m程度であるが、地盤全体に及ぶ地下水位の低下は生じないものと予測される。 また、施工方法及び補助工法を適切に採用し、各種計測を実施しながら慎重に施工するため、地盤への影響は少ないと予測される。	予測結果から、環境保全目標を達成できると考えられる。 しかしながら、工事の施工による地下水位の低下及び地盤変位により住居、揚水設備等に障害が生じた場合は、原因を調査し、適切な措置を講ずるものとする。																											

表 4-2-1(3) 調査、環境保全目標、予測結果、評価及び環境保全対策の概要（工事中）

環境項目	現況	環境保全目標
廃棄物	(既存資料調査) 建設現場から排出される建設廃棄物には一般廃棄物と産業廃棄物があるが、類似事例から判断すると、本事業の建設工事において一般廃棄物はほとんど発生しない。 産業廃棄物は事業者自ら処理するのが原則であるが、告示で定める産業廃棄物については、その数量及び形状を制限した上で名古屋市が受け入れ処分している。	日常生活に著しい影響を及ぼさない。
安全性	(既存資料調査) 計画路線を横断する通学路は、小学校区で2箇所あるが、中学校区ではない。 関係地域には、上下水道管をはじめ多くの管路が埋設されており、架空線も数多くみられる。 (現地調査) 歩行者、自転車の交通量は広小路線に近い調査地点で多くなっている。	日常生活に著しい影響を及ぼさない。

予測結果	評価及び環境保全対策												
工事に伴って発生が予測される主な廃棄物等の種類と発生量は表3のとおりである。 発生した建設廃材、建設発生土及び泥水はダンプトラック・バキュームカーにより運搬・処分する。 表3 廃棄物等の種類と発生量 <table><tr><th>廃棄物等の種類</th><th>主な内容</th><th>発生量</th></tr><tr><td>建設廃材</td><td>アスファルト・コンクリート廃材</td><td>約 1,600m³</td></tr><tr><td>建設発生土</td><td>土・砂</td><td>約 110,000m³</td></tr><tr><td>泥水</td><td>泥水</td><td>約 1,500m³</td></tr></table>	廃棄物等の種類	主な内容	発生量	建設廃材	アスファルト・コンクリート廃材	約 1,600m ³	建設発生土	土・砂	約 110,000m ³	泥水	泥水	約 1,500m ³	工事に伴い建設廃材、建設発生土及び泥水が発生するが、事業実施段階においてできる限り発生を抑制するとともに、分別、再利用・再資源化を図っていくものとする。 また、その処理にあたっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建築廃棄物処理ガイドライン」等を遵守し、発生量の抑制、再利用の促進、廃棄物等が周囲に飛散することがないように適正な運搬、処理を行うことから、環境保全目標を達成できると考えられる。 なお、工事の実施にあたっては、マニフェストシステムの指導を遵守するほか、特につぎの事項に配慮し、できる限り日常生活に及ぼす影響を軽減するよう努める。 ①廃棄物等の保管については極力滞留を避け、シートを掛ける等の措置を行う。 ②廃棄物等の運搬時には、運搬車両へのシート被覆等の措置を行い、廃棄物等の飛散及び荷こぼれがないよう努める。 ③工事請負者に対し、廃棄物等の適切な処理を指導する。
廃棄物等の種類	主な内容	発生量											
建設廃材	アスファルト・コンクリート廃材	約 1,600m ³											
建設発生土	土・砂	約 110,000m ³											
泥水	泥水	約 1,500m ³											
・通学路及び歩行者等の安全性の確保 本工事の施工による車線の位置変更や交通規制等及び工事用車両の通行により通学路や歩行者等に対する影響があると予測される。 なお、工事用車両の交通量は、建設廃材と建設発生土の搬出の最盛期が重なる期間でも日最大往復約190台であることから、工事車両が道路交通に与える影響は軽微であると予測される。 ・工事による地下埋設物等に与える影響 計画路線沿線には、各種の地下埋設物等が数多く敷設されているため、工事による影響が予測される。	本工事の施工による車線の位置変更や交通規制等及び工事用車両の通行により通学路や歩行者等に対する影響があると予測される。 また、本事業の工事により地下埋設物等に対する影響があると予測される。 しかしながら、次に示す環境保全対策を実施することにより影響が軽減され、環境保全目標を達成できると考えられる。 (環境保全対策) 「建設工事公衆災害防止対策要綱(土木工事編)」(平成5年1月 建設事務次官通達)などを遵守し、工事を行う。 以下に主な具体的対策を示す。 (1) ガードフェンス等の設置 (2) 工事用道路の限定 (3) 工事安全施設の設置 (4) 事前調査等の実施												

第5章 対象事業に係る事後調査の項目及び手法並びに調査時期、調査期間

5-1 事後調査の目的

事後調査は、本事業の工事中において、環境影響評価を行った環境要素に及ぼす影響の程度を把握するとともに、予測、評価及び環境保全措置の妥当性を検証することを目的とする。

なお、事後調査結果が環境影響評価の結果と著しく異なる場合は、その原因を調査し、必要に応じて追加調査を行う。原因究明の結果、本事業の実施に起因することが判明した場合には、必要な環境保全措置について検討する。

5-2 事後調査の項目及び手法

事後調査計画（工事中）は表 5-2-1 に示すとおりである。

表 5-2-1(1) 事後調査計画（工事中）

環境項目	調査事項	調査方法
大気汚染	粉じん（降下ばいじん）	ダストジャーによる方法 ^{注3)} により調査する。
騒音	建設機械騒音	「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」（昭和43年11月27日、厚生省・建設省告示第1号）に定める方法により調査する。
振動	建設機械振動	「振動規制法施行規則」（昭和51年11月10日、総理府令第58号）に定める方法により調査する。

注3) 調査方法を事後調査計画書（工事中）（平成16年7月）から変更している。

調査時期	調査地点	環境保全措置	
		事項	方法
建設機械の稼働や土砂の掘削・運搬等により粉じんの発生が最大となると考えられる時期（1週間連続調査）（平成23年度） ^{注4)}	影響が最大となる地点	シート、散水の 実施状況	実施日時を記録し整理することによる。
		工事用車両の 通路選定	工事記録を整理することによる。
		搬出入車両の 洗浄実施状況	洗浄日時を記録し整理することによる。
予測を行った工種毎に建設機械の影響が最も大きくなる時期（各時期1日） 〈工種〉 ○準備工（平成26年度） ^{注4)} ○函体工事（土留め工（平成23年度） ^{注4)} ・土工（平成23年度） ^{注4)} ・躯体工（平成25,26年度） ^{注4)} ○掘割工事（土留め工・土工・擁壁工）（全て平成27年度） ^{注4)} ○舗装工事（路盤工（平成27年度） ^{注4)} ・舗装工（アスファルト）（平成29年度） ^{注4)} ・舗装工（コンクリート）（平成29年度） ^{注4)}	予測地点	騒音を極力抑えるため採用した施工方法の内容	採用した施工方法を記録し整理することによる。
		低騒音型機械の導入状況	種類及び稼働台数を記録し整理することによる。
		防音シートの導入状況	使用日時を記録し整理することによる。
		建設機械の操作・配置・使用期間・作業区域	工事記録を整理することによる。
予測を行った工種毎に建設機械の影響が最も大きくなる時期（各時期1日） 〈工種〉 ○準備工（平成26年度） ^{注4)} ○函体工事（土留め工（平成23年度） ^{注4)} ・土工（平成23年度） ^{注4)} ・躯体工（平成25,26年度） ^{注4)} ○掘割工事（土留め工・土工・擁壁工）（全て平成27年度） ^{注4)} ○舗装工事（路盤工（平成27年度） ^{注4)} ・舗装工（アスファルト）（平成29年度） ^{注4)} ・舗装工（コンクリート）（平成29年度） ^{注4)}	予測地点	振動を極力抑えるため採用した施工方法の内容	採用した施工方法を記録し整理することによる。
		低振動型機械の導入状況	種類及び稼働台数を記録し整理することによる。
		建設機械の操作・配置・使用期間・作業区域	工事記録を整理することによる。

注4) 調査時期については、工事の進捗により事後調査計画書（工事中）（平成16年7月）から変更している。

表 5-2-1(2) 事後調査計画（工事中）

環境項目	調査事項	調査方法
地盤	地下水位	観測井戸を設置し自記式水位計にて観測、記録する。
	地盤変動	水準測量により調査及び傾斜計 ^{注 5)} にて観測、記録する。
廃棄物	廃棄物等の処理状況（種類・発生量）	廃棄物の種類、量及び処理方法をマニフェストシステムにより記録し整理することによる。 残土の発生量を記録し整理することによる。
安全性	通学路及び歩行者等の安全性 （工事関係車両交通量）	工事関係車両の運行ルート上における交通量を調査する。

注 5) 調査方法を事後調査計画書（工事中）（平成 16 年 7 月）から変更している。

調査時期	調査地点	環境保全措置	
		事項	方法
アンダーパス部及び掘割部の掘削 工事期間中。(月 1 回) (アンダーパス部：平成 23～27 年度) 注 6) (掘割部：平成 23～24 年度) 注 6)	事業予定地 及び その周辺	家屋・揚水設備 等の障害	事前に調査を行い、障 害が生じた場合は適 切な措置を講じる。 市民等からの苦情が あった場合は、その内 容及び対処方法並び にその後の状況の調 査状況を調査する。
アンダーパス部及び掘割部の掘削 工事期間中。(月 1 回) (アンダーパス部：平成 23～27 年度) 注 6) (掘割部：平成 23～24 年度) 注 6)			
アンダーパス部及び掘割部の掘削 工事期間中。	事業予定地 及び その周辺	廃棄物の発生 抑制、分別、再 利用、再資源化 の方策	実施した方策を記録 し整理することによ る。
		廃棄物等の保 管状況	シートを掛ける等の 措置状況を記録し整 理することによる。
		廃棄物等の運 搬時の措置の 内容	運搬車両へのシート 被覆等の措置の状況 を記録し整理するこ とによる。
工事車両の走行が最大となると考 えられる時期。(1 日) (平成 23 年度) 注 7)	事業予定地 及び その周辺	ガードフェン ス等の設置	設置状況を記録し整 理することによる。
		工事用道路の 限定	工事記録を整理する ことによる。
		工事安全施設 の設置	設置状況を記録し整 理することによる。
		施工の各段階 における地下 埋設物の保安 設置	措置状況を記録し整 理することによる。

注 6) 調査時期については、工事の進捗により設定している。

注 7) 調査時期については、工事の進捗により事後調査計画書(工事中)(平成 16 年 7 月)から変更している。

5-3 事後調査の時期及び期間

工事中の事後調査は、平成 20 年度から行われている。

事後調査を実施した環境項目とそれぞれの調査事項及び調査時期を表 5-3-1 に示す。

表 5-3-1 事後調査の調査事項及び調査時期

環境項目	調査事項	調査時期
大気汚染	粉じん（降下ばいじん）	函体工事（土留め工・土工）：平成 23 年 12 月
騒音	建設機械騒音	準備工：平成 26 年 12 月 函体工事（土留め工）：平成 23 年 6 月、平成 23 年 7 月 函体工事（土工）：平成 23 年 12 月、平成 24 年 1 月 函体工事（躯体工）：平成 25 年 11 月、平成 26 年 10 月 掘割工事（土留め工）：平成 27 年 10 月 掘割工事（土工）：平成 27 年 11 月 掘割工事（擁壁工）：平成 27 年 12 月 舗装工事（路盤工）：平成 27 年 12 月 舗装工事（舗装工）：平成 29 年 5 月、平成 29 年 12 月
振動	建設機械振動	準備工：平成 26 年 12 月 函体工事（土留め工）：平成 23 年 6 月、平成 23 年 7 月 函体工事（土工）：平成 23 年 12 月、平成 24 年 1 月 函体工事（躯体工）：平成 25 年 11 月、平成 26 年 10 月 掘割工事（土留め工）：平成 27 年 10 月 掘割工事（土工）：平成 27 年 11 月 掘割工事（擁壁工）：平成 27 年 12 月 舗装工事（路盤工）：平成 27 年 12 月 舗装工事（舗装工）：平成 29 年 5 月、平成 29 年 12 月
地盤	地下水位	アンダーパス部及び掘割部の掘削工事期間中： 平成 23 年 8 月～平成 28 年 3 月
	地盤変動	
廃棄物	廃棄物等の処理状況 （種類・発生量）	アンダーパス部及び掘割部の掘削工事期間中： 平成 20 年度～令和元年度
安全性	通学路及び歩行者の安全性 （工事関係車両交通量）	函体工事（土工）：平成 24 年 1 月

第6章 事後調査の結果

6-1 大気汚染

(1) 調査事項

建設機械の稼働や土砂の掘削・運搬等による粉じん(降下ばいじん)

(2) 調査方法

ダストジャーによる方法により1週間連続で測定し、可溶性成分量と不可溶性成分量を分析し、降下ばいじん量を算出した。

(3) 調査時期

ささしま地区アンダーパス部における函体工事の土留め工及び土工工事の時期が重なり、土工工事の地上部を施工する時期を「最も影響が大きくなる時期」と判断し、調査時期に選定した。

調査時期を表6-1-1に示す。

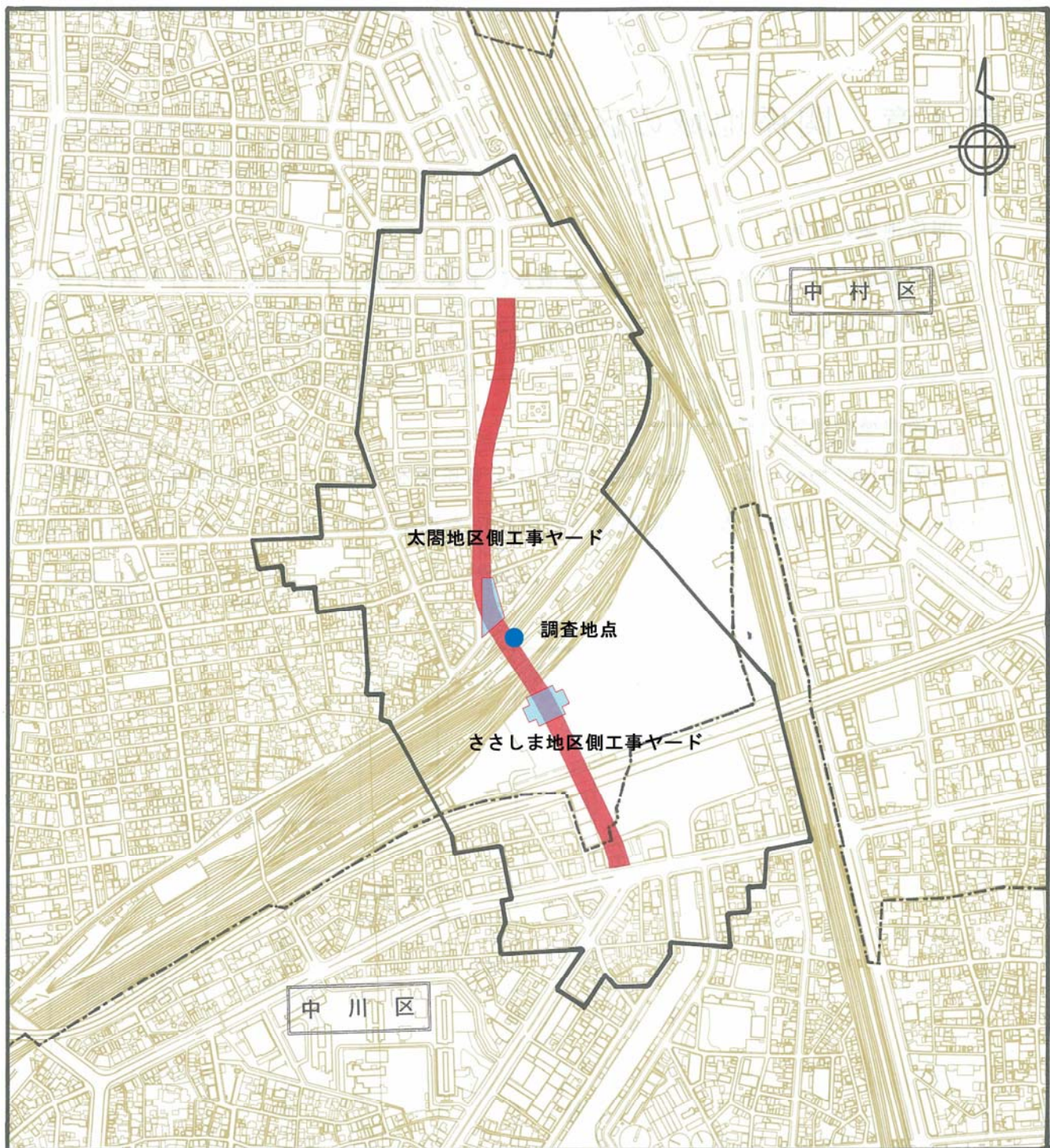
表 6-1-1 調査時期

工事内容	調査時期
函体工事 (土留め工・土工)	平成23年12月15日(木)～12月22日(木)

(4) 調査地点

調査地点は、住宅が連担する「太閤地区」を対象とし、工事中の降下ばいじんの影響を受けやすいと考えられる風下側(太閤地区側工事ヤードの南東付近)の「ささしま米野歩道橋」上で実施した。

調査地点を図6-1-1に示す。



凡 例	
記 号	名 称
	事業路線
	関係地域
	調査地点
	工事ヤード

図 6-1-1 調査地点図

(5) 調査結果

建設機械の稼働や土砂の掘削・運搬等による降下ばいじん量の調査結果を表 6-1-2 に示す。

また、調査期間中の太閤地区側工事ヤードにおける代表的な建設機械の配置図を図 6-1-2 に示す。なお、建設作業による粉じん（降下ばいじん）に関する市民等からの苦情は発生していない。

表 6-1-2 降下ばいじん量調査結果

単位：t/km²/月

調査事項	調査結果	既存資料調査結果（平成 8 年度） ^{注 8)}		
		中村区	中川区	全市平均
降下ばいじん量	2.12	2.6	2.7	2.4

注 8) 出典：「環境影響評価書」（平成 11 年 8 月 名古屋市）

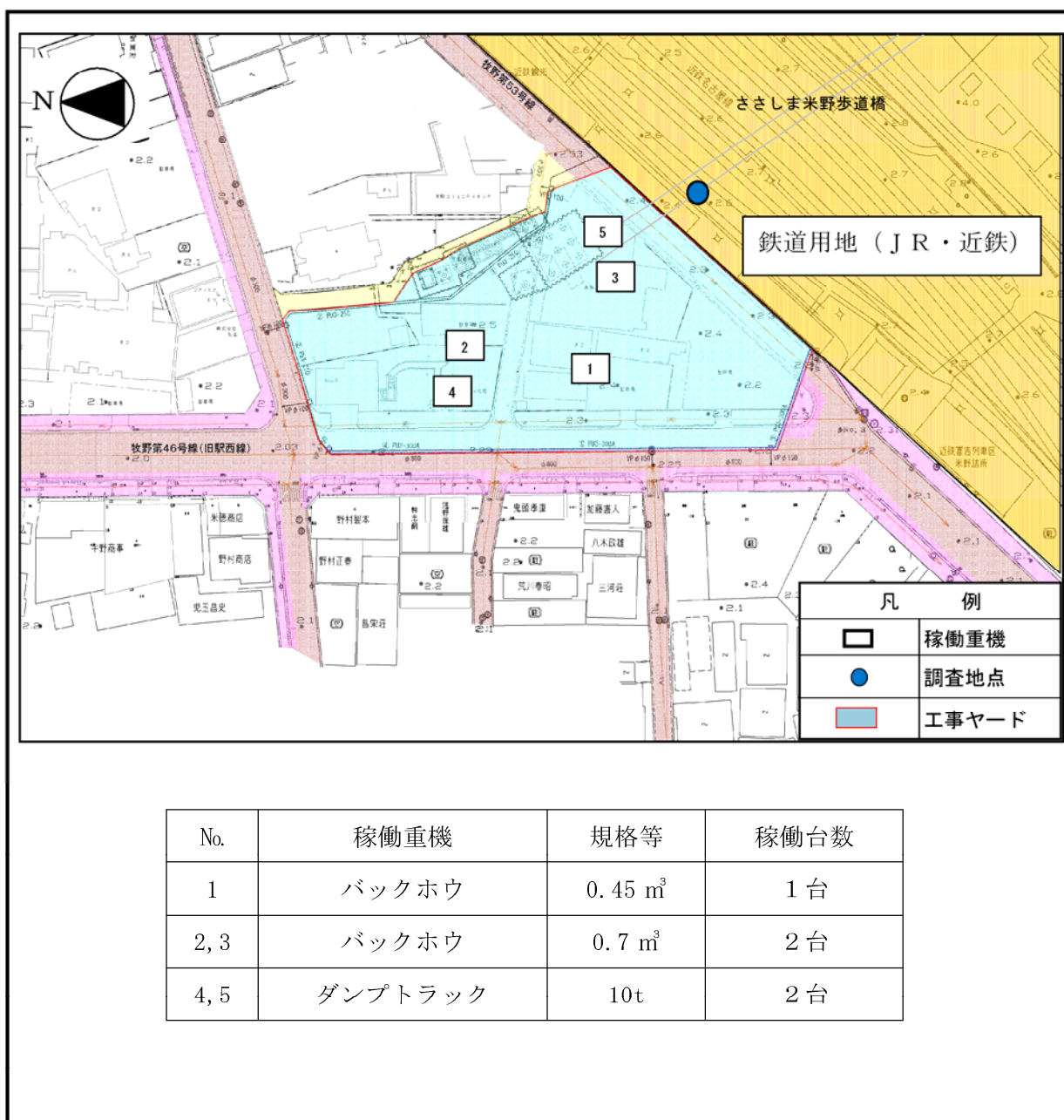


図 6-1-2 建設機械配置図

(6) 事前配慮及び環境保全措置の実施状況

- ・工事ヤード周辺には、高さ 6.0m の仮囲い及び防じんシートを設置して、土ほこりの場外飛散防止に努めた。
- ・適宜工事ヤード区域内の散水、路面清掃等を実施した。
- ・工事関係車両については、図 6-1-3 に示すとおり走行ルートの限定を行った。
- ・工事関係車両のタイヤに付着した泥土等の洗浄を行うことにより、場外へ飛散しないように努めた。

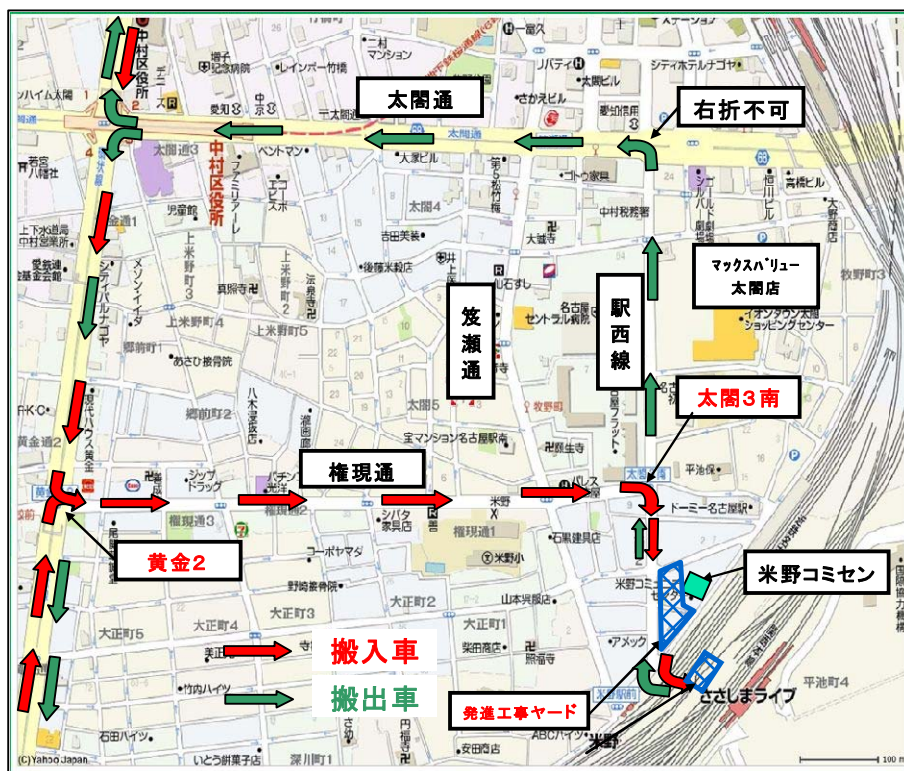


図 6-1-3 工事関係車両走行指定ルート図

(7) 環境保全目標との適合状況

環境影響評価書では、「工事中において、建設機械の稼働や土砂の掘削・運搬等による粉じんの発生による影響が予測される。」としており、平成 8 年度の中村区（第一赤十字病院）及び中川区（水道局材料所）の降下ばいじん量は、それぞれ 2.6 t/km²/月、2.7 t/km²/月、全市平均は 2.4 t/km²/月となっている。

調査結果は 2.12 t/km²/月であり、環境保全措置の実施により既存資料調査結果（平成 8 年度）を下回っていること及び建設作業による粉じん（降下ばいじん）に関する市民等からの苦情は発生していないことから、環境保全目標である「日常生活に著しい影響を及ぼさない」を達成できたと考えられる。

6-2 騒音

(1) 調査事項

建設機械騒音

(2) 調査方法

JIS Z 8731「環境騒音の表示・測定方法」に基づき、JIS C 1509 に定める騒音計(クラス 2)を用い騒音レベルを調査した。

(3) 調査時期

調査時期は表 6-2-1 に示すとおりであり、工種毎に建設機械の影響が最も大きくなる時期とした。

表 6-2-1 調査時期

工事内容	調査地点	調査時期	
準備工	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	平成 26 年 12 月 15 日(月)	準備工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
函体工事 (土留め工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	平成 23 年 6 月 30 日(木)	土留め工事の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町 4 丁目地内)	平成 23 年 7 月 8 日(金)	
函体工事 (土工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	平成 23 年 12 月 15 日(木)	地上部の施工時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町 4 丁目地内)	平成 24 年 1 月 12 日(木)	
函体工事 (躯体工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	平成 26 年 10 月 10 日(金)	躯体工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町 4 丁目地内)	平成 25 年 11 月 26 日(火)	
掘割工事 (土留め工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 27 年 10 月 23 日(金)	土留め工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
掘割工事 (土工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 27 年 11 月 6 日(金)	土工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
掘割工事 (擁壁工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 27 年 12 月 4 日(金)	擁壁工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
舗装工事 (路盤工)	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	平成 27 年 12 月 22 日(火)	路盤工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
舗装工事 (舗装工 (アスファルト))	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	平成 29 年 5 月 23 日(火)	舗装工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
舗装工事 (舗装工 (コンクリート))	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 29 年 12 月 14 日(木)	舗装工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期

(4) 調査地点

調査地点は、工事境界直近の官民境界で、騒音は地上高さ 1.2m の位置で実施した。
調査地点を図 6-2-1 に示す。

(5) 調査結果

建設機械騒音の調査結果を表 6-2-2 に示す。

また、騒音調査時のそれぞれの工事の代表的な建設機械配置図を図 6-2-2～図 6-2-11 に示す。なお、建設作業による騒音に関する市民等からの苦情は発生していない。

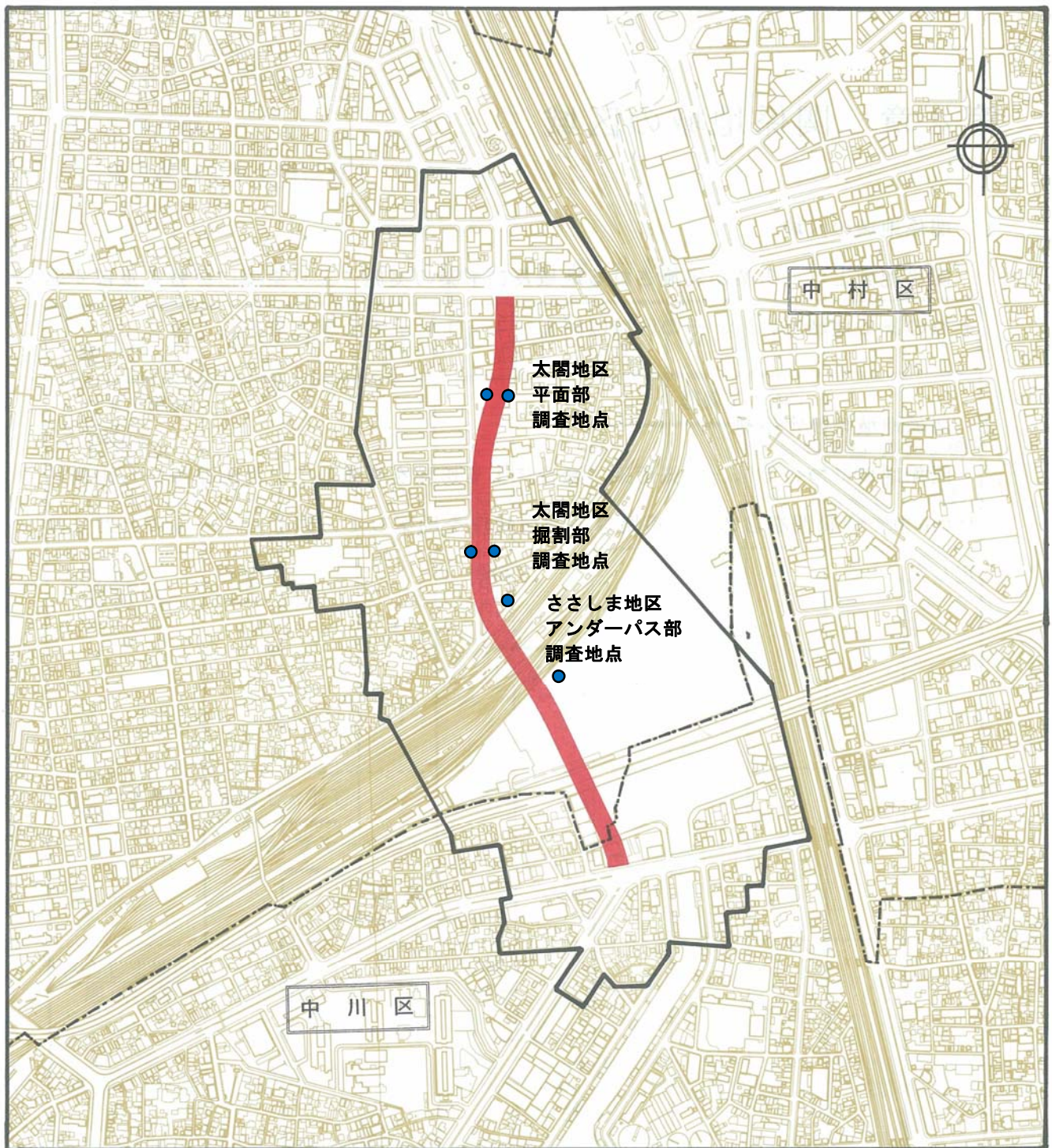
表 6-2-2 建設機械騒音調査結果

単位: dB(A)

工事内容	調査地点	騒音レベル（ L_{A5} ） 注 9)	予測値	基準値 注 10)
準備工	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	76	84	85
函体工事 (土留め工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	63	75	
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町4丁目地内)	68		
函体工事 (土工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	66	79	
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町4丁目地内)	60		
函体工事 (躯体工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	68	82	
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町4丁目地内)	59		
掘割工事 (土留め工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	79	79	
掘割工事 (土工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	74	84	
掘割工事 (擁壁工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	75	81	
舗装工事 (路盤工)	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	81	84	
舗装工事 (舗装工 (アスファルト))	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	83	84	
舗装工事 (舗装工 (コンクリート))	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	71	75	

注 9) 調査時間区分毎の L_{A5} の最大値を示す。

注 10) 出典: 「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」(昭和 43 年厚生省・建設省告示 1 号)



凡 例	
記 号	名 称
	事業路線
	関係地域
	調査地点

図 6-2-1 調査地点図

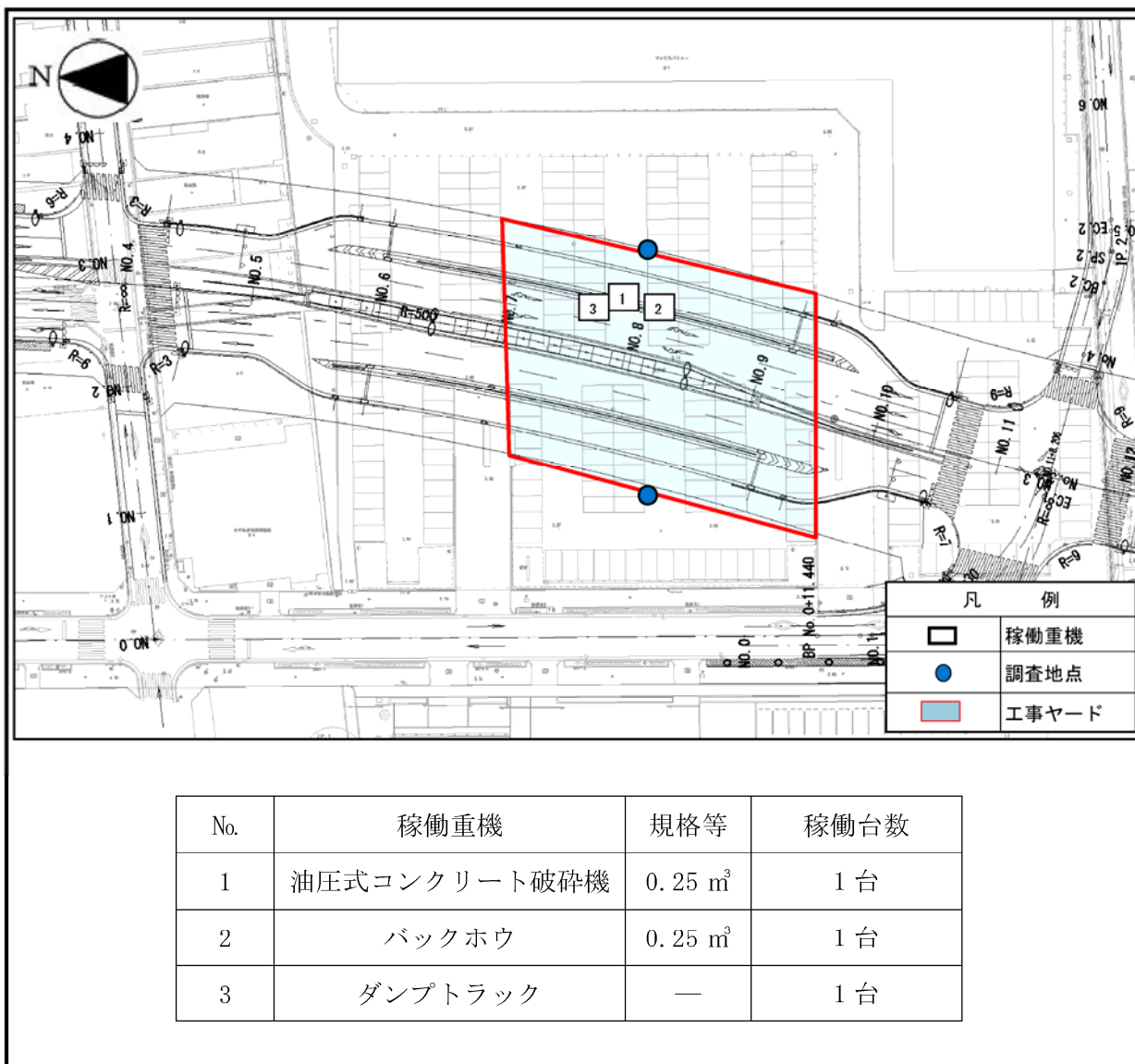


図 6-2-2 建設機械配置図（準備工：太閤地区平面部）



図 6-2-3(1) 建設機械配置図 (函体工事 (土留め工) : ささしま地区アンダーパス部 (太閤地区側))

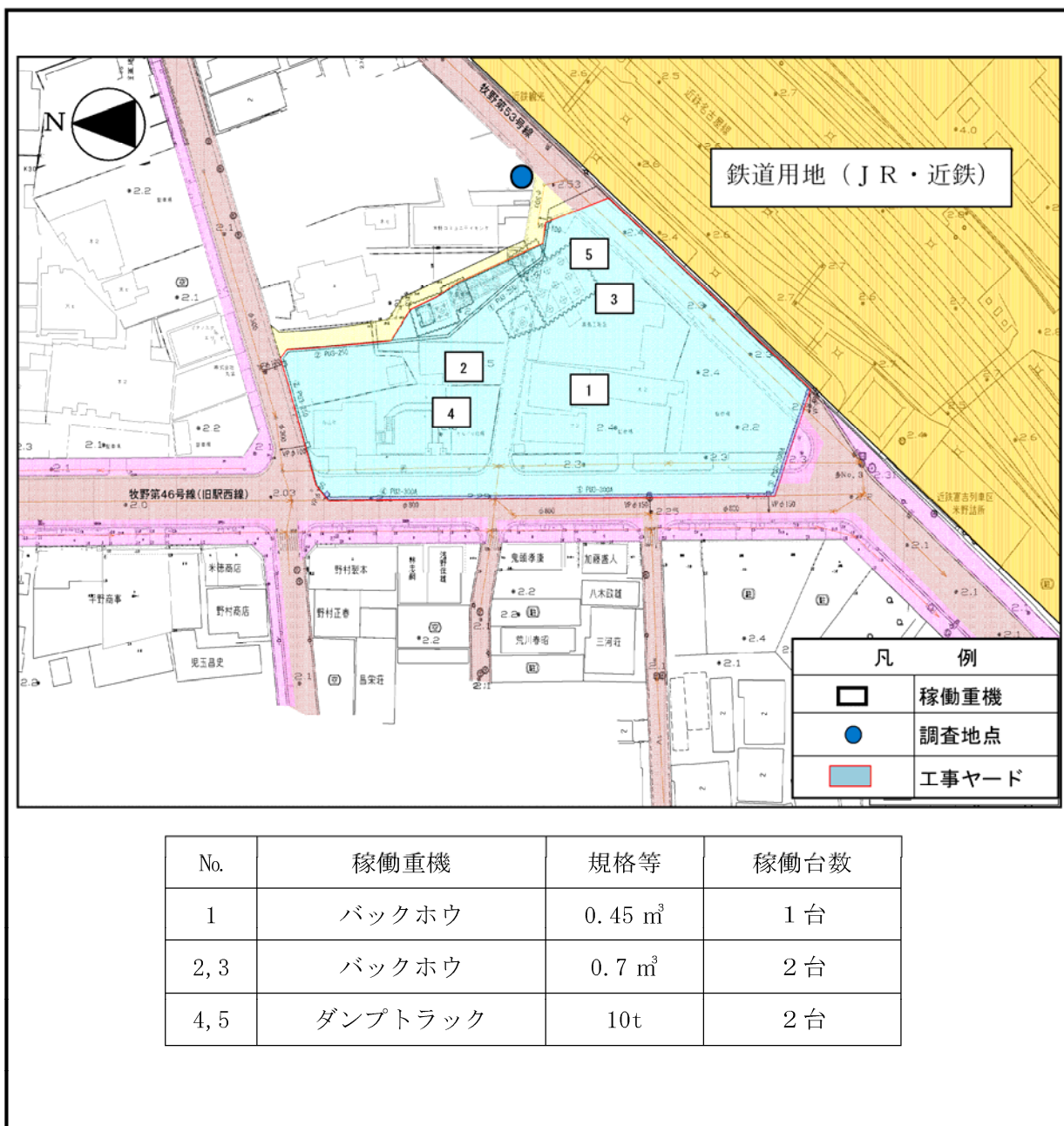


図 6-2-4(1) 建設機械配置図（函体工事（土工）：ささしま地区アンダーパス部（太閤地区側））

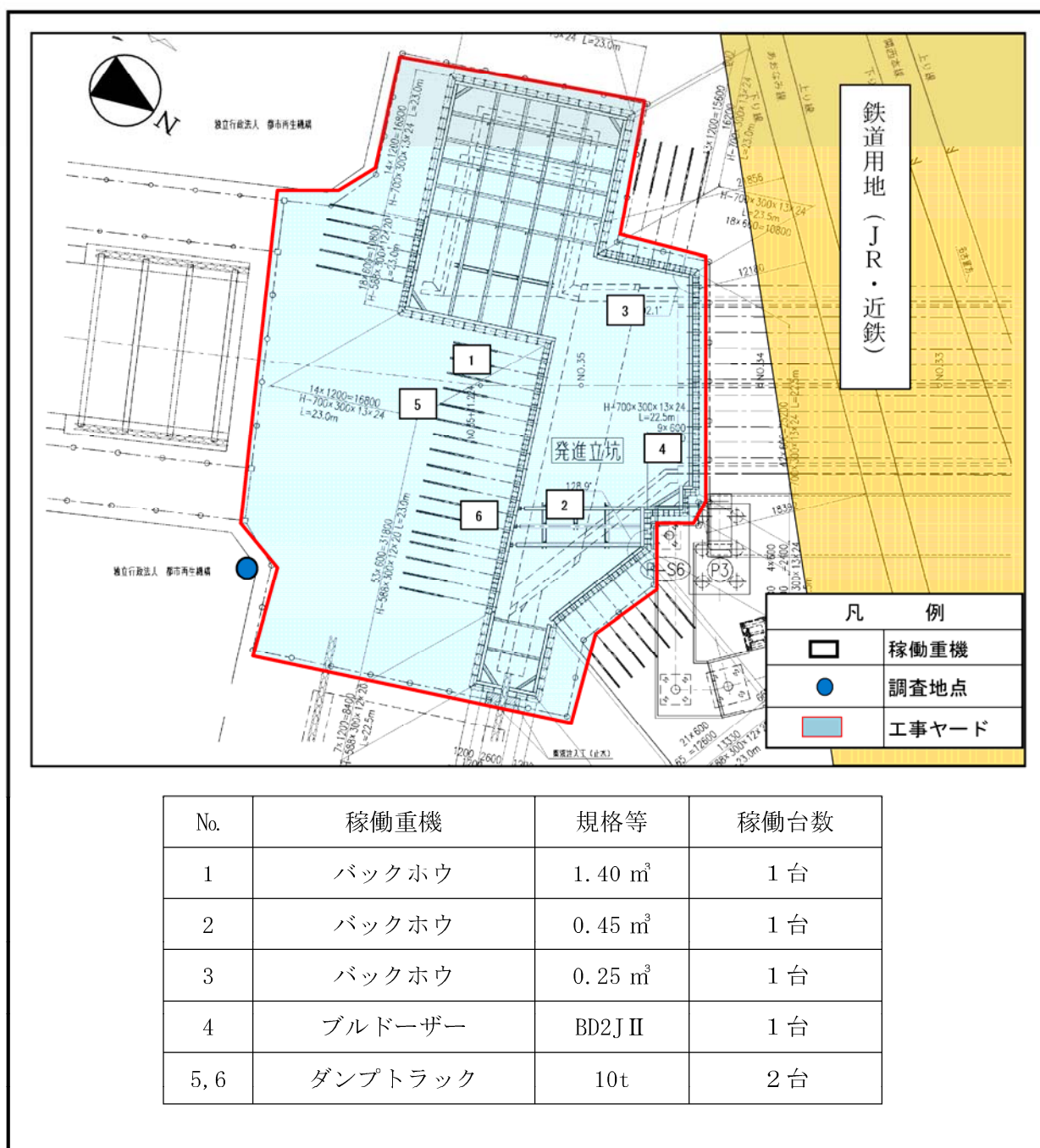


図 6-2-4(2) 建設機械配置図 (函体工事 (土工) : ささしま地区アンダーパス部 (ささしま地区側))

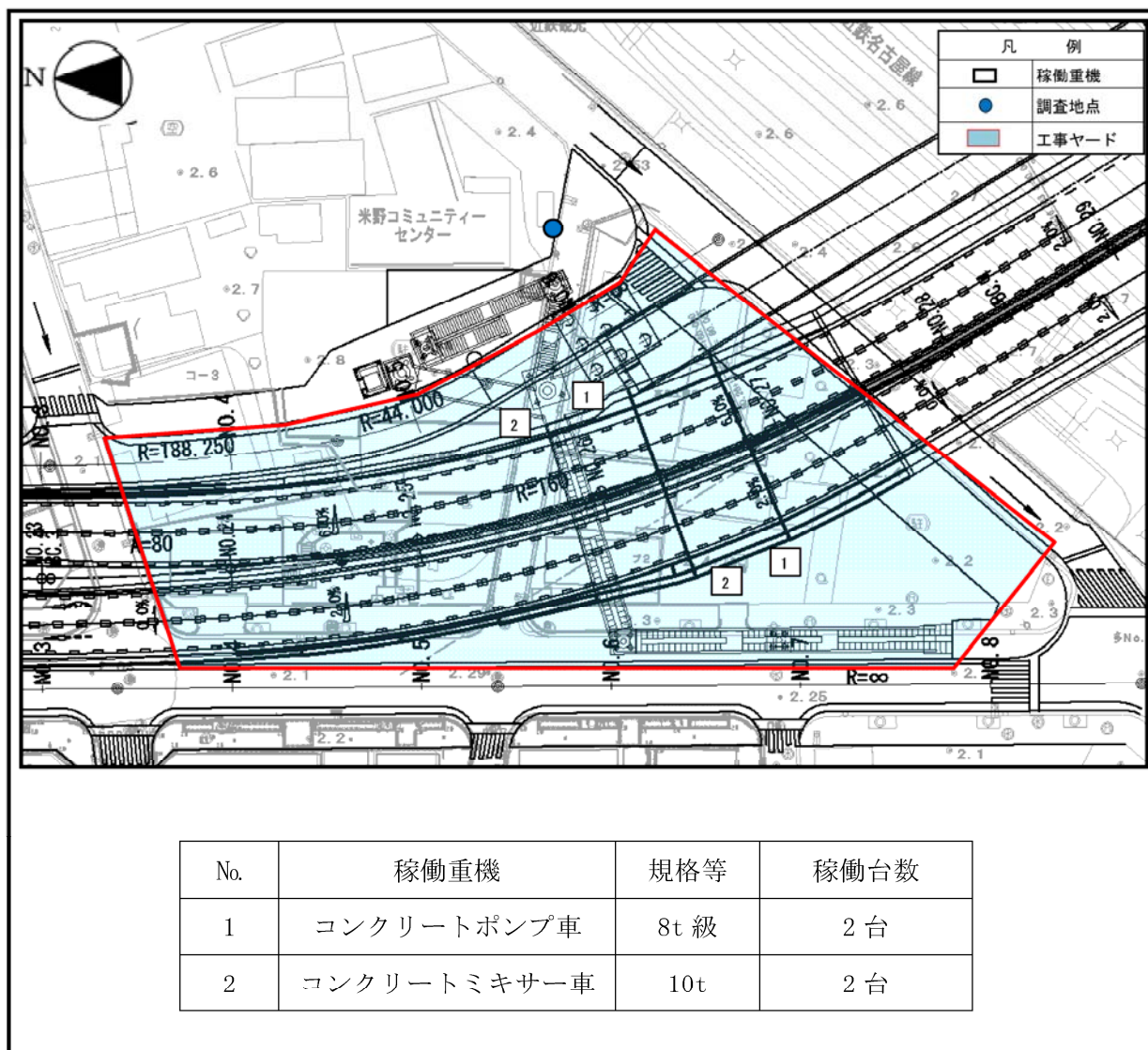


図 6-2-5(1) 建設機械配置図（函体工事（躯体工）：ささしま地区アンダーパス部（太閤地区側））

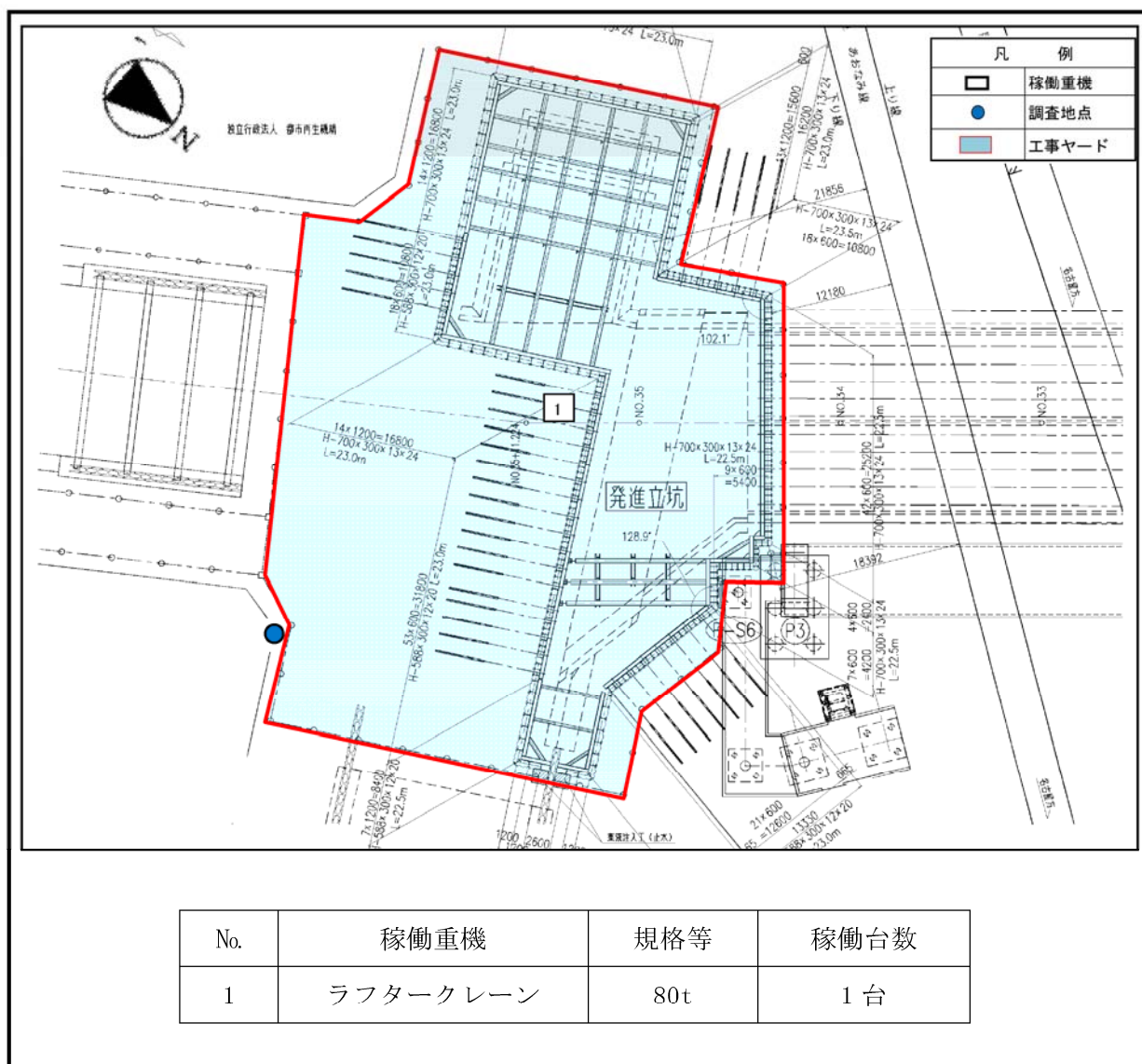


図 6-2-5 (2) 建設機械配置図 (函体工事 (躯体工) : ささしま地区アンダーパス部 (ささしま地区側))

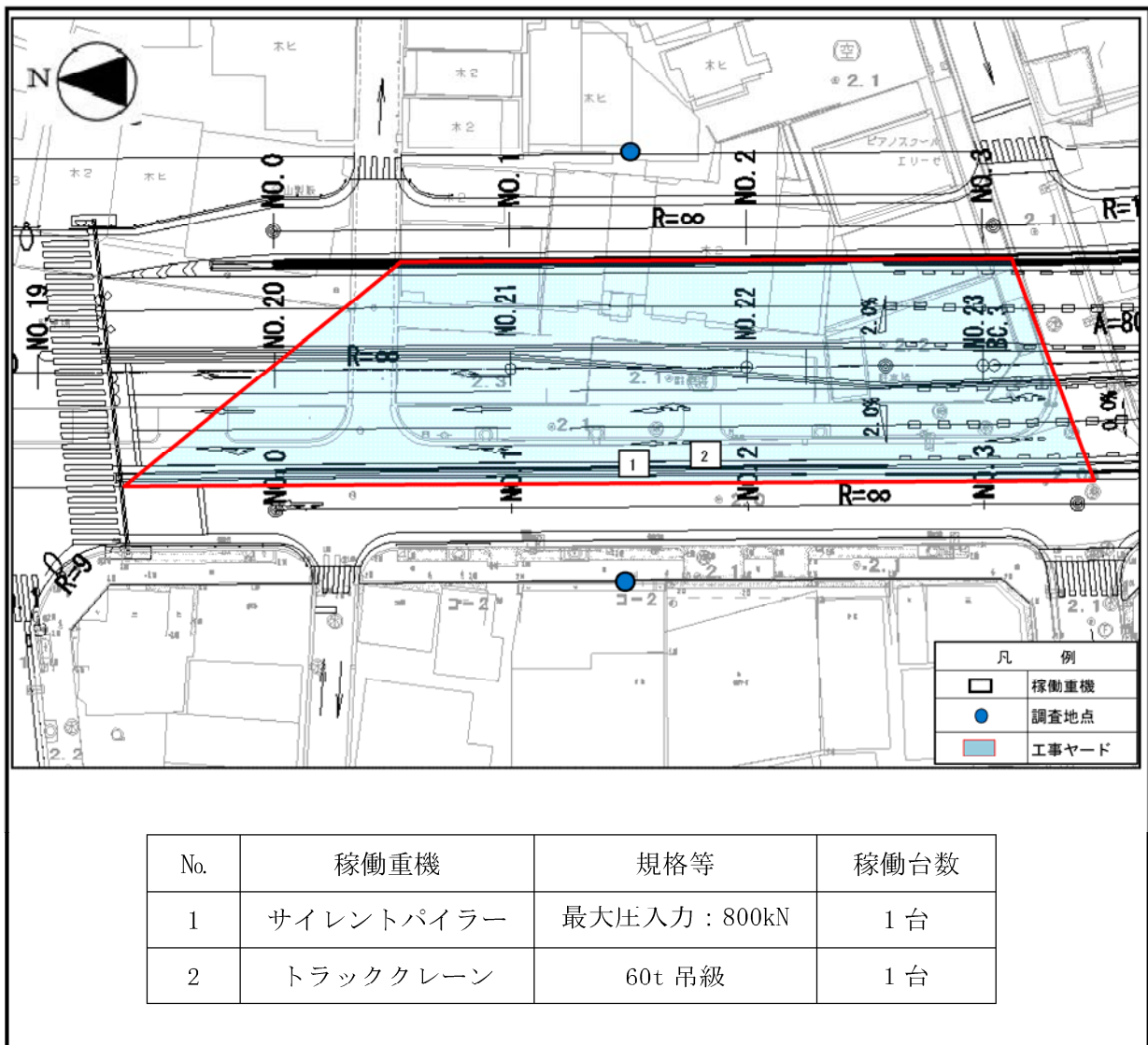


図 6-2-6 建設機械配置図（掘削工事（土留め工）：太閤地区掘削部）

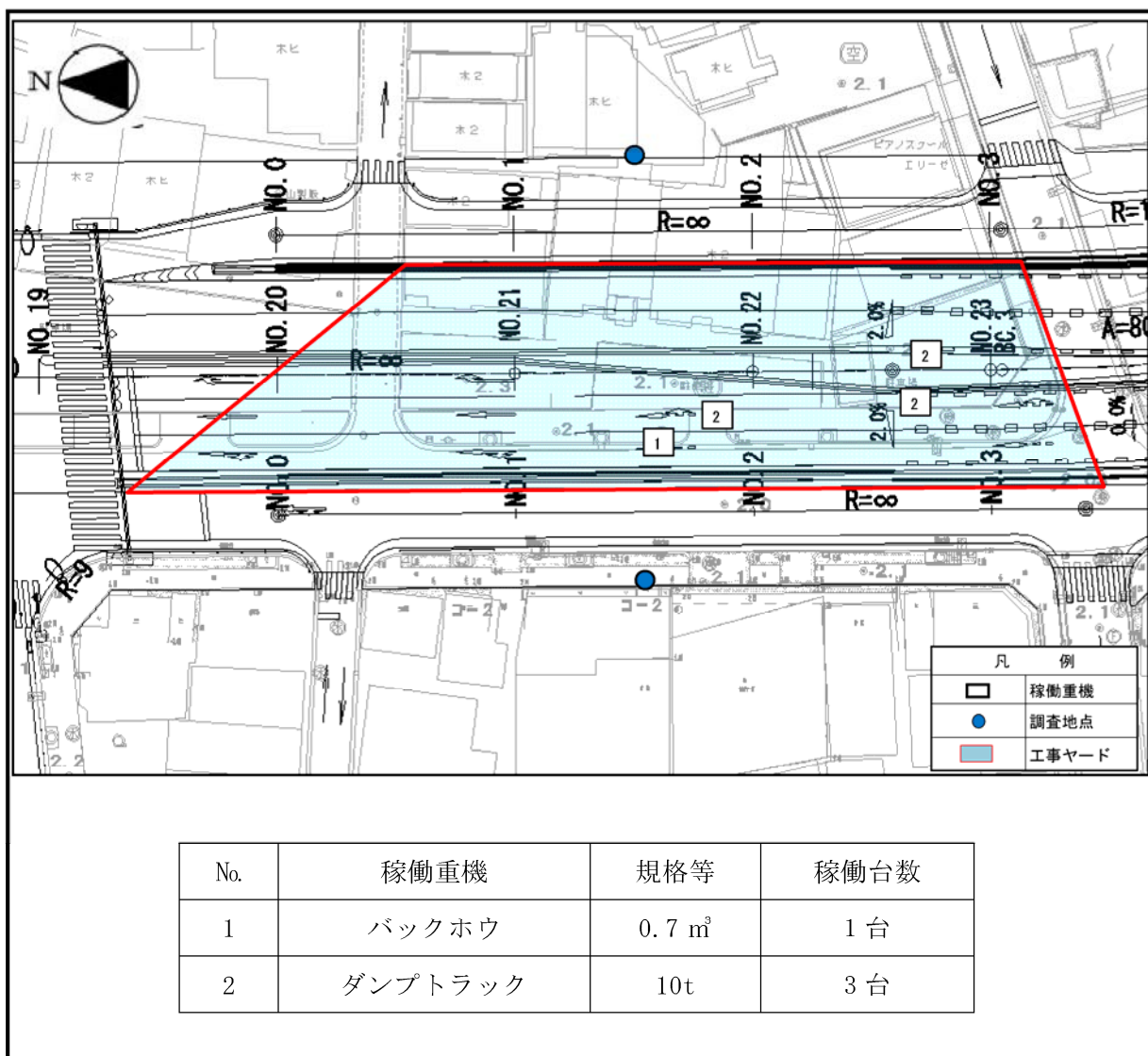


図 6-2-7 建設機械配置図（掘割工事（土工）：太閤地区掘割部）

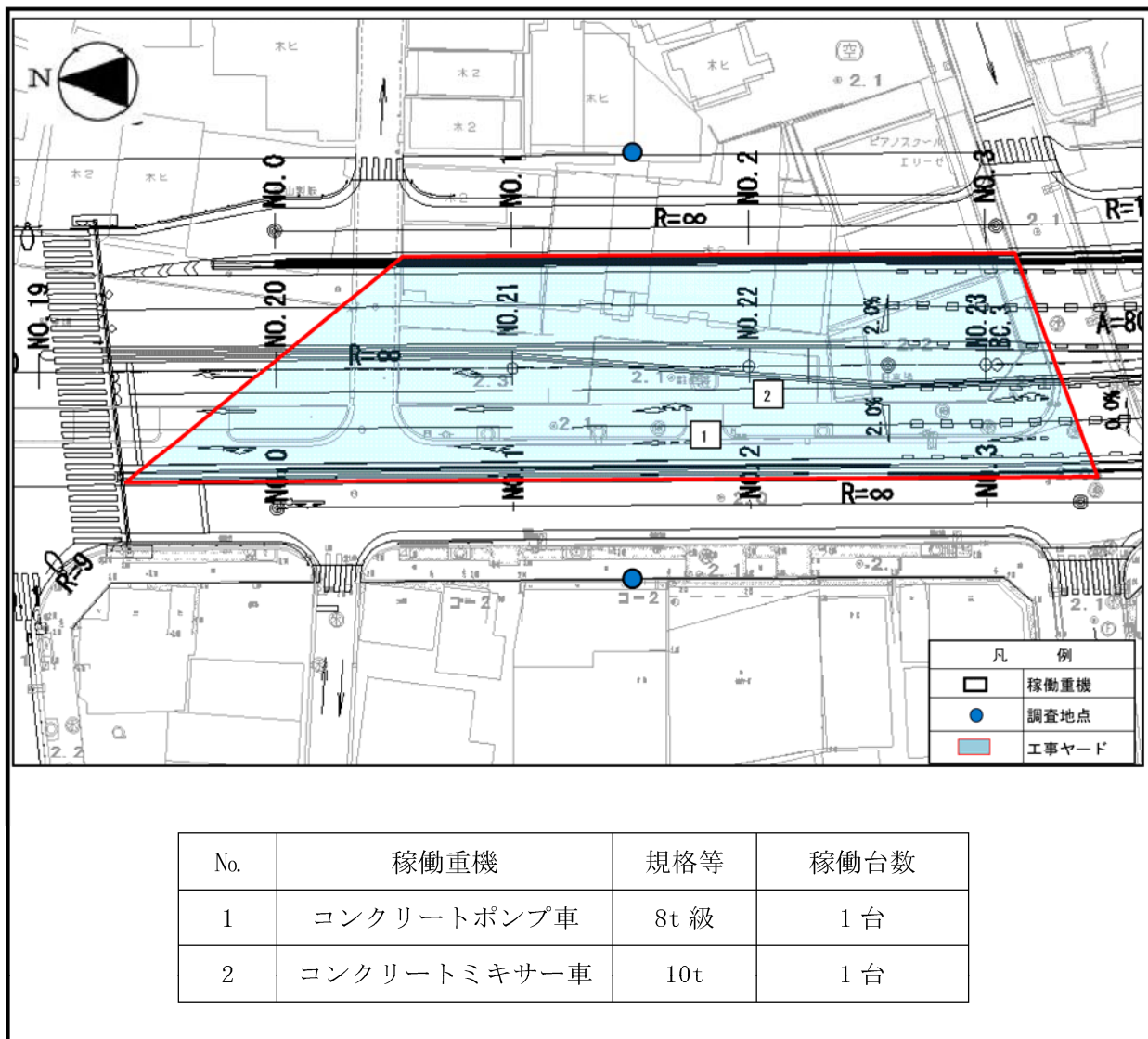


図 6-2-8 建設機械配置図（掘割工事（擁壁工）：太閤地区掘割部）

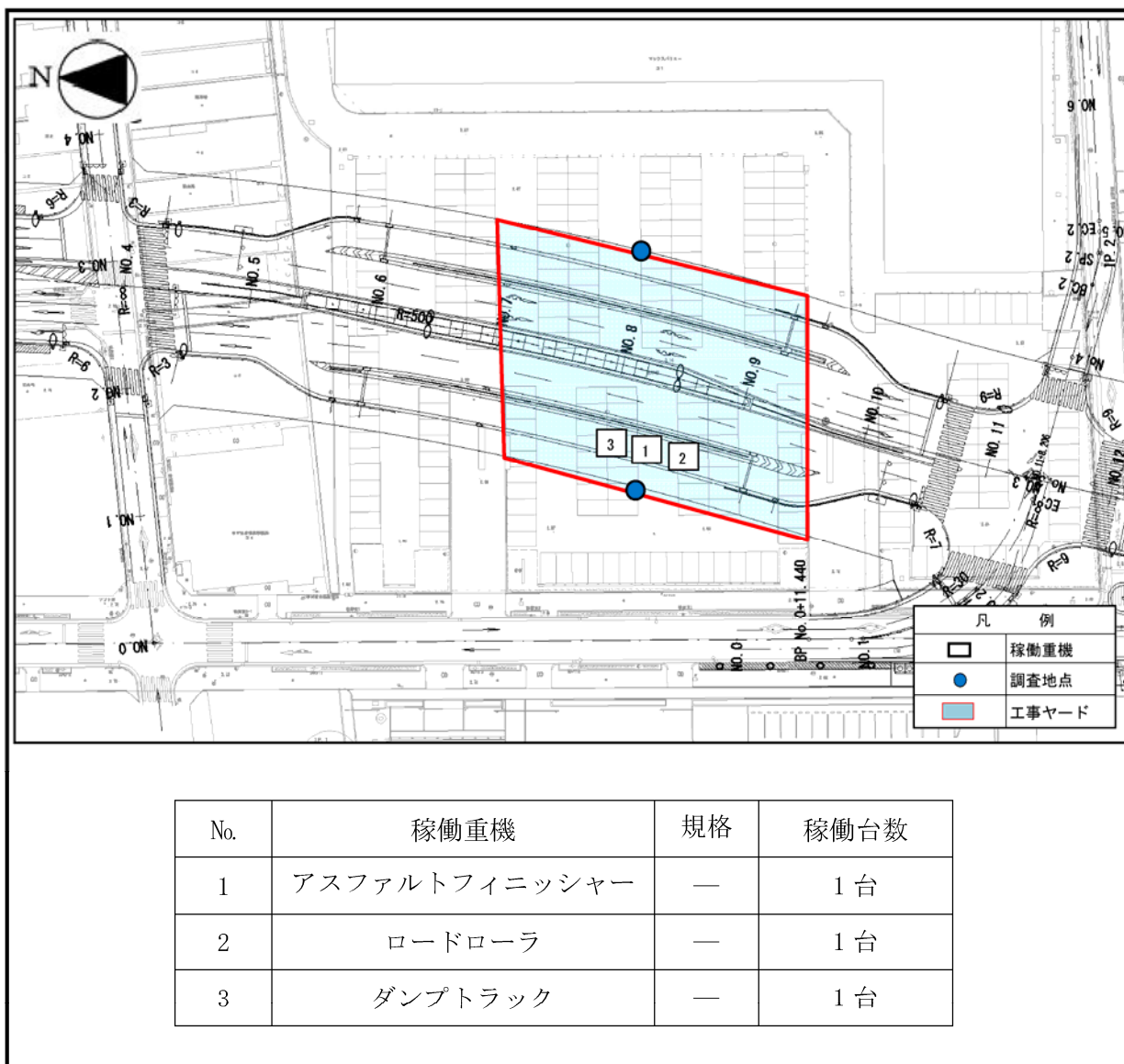


図 6-2-10 建設機械配置図（舗装工事(舗装工（アスファルト））：太閤地区平面部）

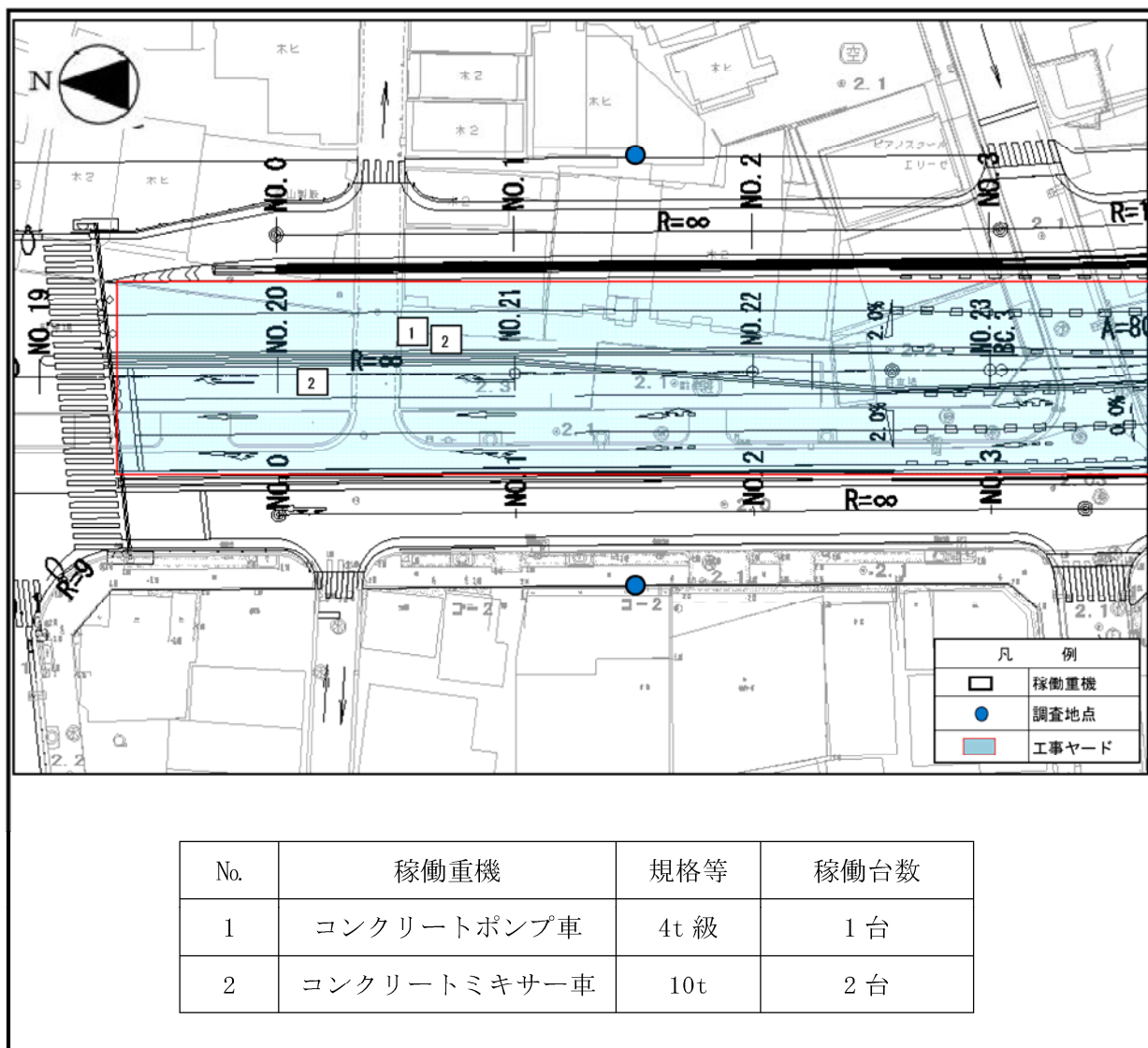


図 6-2-11 建設機械配置図（舗装工事(舗装工（コンクリート））：太閤地区掘割部）

(6) 事前配慮及び環境保全措置の実施状況

- ・工区周辺には防音壁及び防音シート等を設置した。
- ・低騒音型建設機械の導入に努めた。
- ・騒音を極力抑える施工方法（SMW工法・硬質地盤クリア工法）を採用した。
- ・機械の操作、配置、使用期間及び作業区域について十分留意した。
- ・作業停止中には工事関係車両のアイドリングストップを徹底した。^{注 11)}

注 11) 環境影響評価書(平成 11 年 8 月)から追加している。

(7) 環境保全目標との適合状況

環境影響評価書では、工事境界付近の官民境界における建設機械騒音は、準備工では 84dB(A)、函体工事（土留め工）では 75dB(A)、函体工事（土工）では 79dB(A)、函体工事（躯体工）では 82dB(A)、掘割工事（土留め工）では 79dB(A)、掘割工事（土工）では 84dB(A)、掘割工事（擁壁工）では 81dB(A)、舗装工事（路盤工）では 84dB(A)、舗装工事（舗装工(アスファルト)）では 84dB(A)、舗装工事（舗装工(コンクリート)）では 75dB(A)と予測されている。

調査結果は、準備工では 76dB(A)、函体工事（土留め工）では 68dB(A)、函体工事（土工）では 66dB(A)、函体工事（躯体工）では 68dB(A)、掘割工事（土留め工）では 79dB(A)、掘割工事（土工）では 74dB(A)、掘割工事（擁壁工）では 75dB(A)、舗装工事（路盤工）では 81dB(A)、舗装工事（舗装工(アスファルト)）では 83dB(A)、舗装工事（舗装工(コンクリート)）では 71dB(A)であった。

調査結果が「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」85dB(A)を下回ること、環境保全措置の実施によりそれぞれの予測値を下回ること及び建設作業による騒音に関する市民等からの苦情は発生していないことから、環境保全目標である「日常生活に著しい影響を及ぼさない」を達成できたと考えられる。

6-3 振動

(1) 調査事項

建設機械振動

(2) 調査方法

JIS Z 8735「振動レベル測定方法」に基づき、JIS C 1510 に定める振動レベル計を用い振動レベルを調査した。

(3) 調査時期

工種毎に建設機械の影響が最も大きくなる時期とし、騒音調査と同時期に実施した。調査時期を表 6-3-1 に示す。

表 6-3-1 調査時期

工事内容	調査地点	調査時期	
準備工	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	平成 26 年 12 月 15 日(月)	準備工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
函体工事 (土留め工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	平成 23 年 6 月 30 日(木)	土留め工事の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町 4 丁目地内)	平成 23 年 7 月 8 日(金)	
函体工事 (土工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	平成 23 年 12 月 15 日(木)	地上部の施工時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町 4 丁目地内)	平成 24 年 1 月 12 日(木)	
函体工事 (躯体工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	平成 26 年 10 月 10 日(金)	躯体工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町 4 丁目地内)	平成 25 年 11 月 26 日(火)	
掘割工事 (土留め工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 27 年 10 月 23 日(金)	土留め工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
掘割工事 (土工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 27 年 11 月 6 日(金)	土工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
掘割工事 (擁壁工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 27 年 12 月 4 日(金)	擁壁工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
舗装工事 (路盤工)	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	平成 27 年 12 月 22 日(火)	路盤工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
舗装工事 (舗装工 (アスファルト))	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	平成 29 年 5 月 23 日(火)	舗装工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期
舗装工事 (舗装工 (コンクリート))	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	平成 29 年 12 月 14 日(木)	舗装工の実施時で、工事位置が調査地点に最も影響を及ぼす時期

(4) 調査地点

調査地点は、工事境界直近の官民境界で騒音調査と同地点とした。

調査地点は前掲図 6-2-1 のとおりである。

(5) 調査結果

建設機械振動の調査結果を表 6-3-2 に示す。

また、振動調査時のそれぞれの工事の建設機械配置図は前掲図 6-2-2～6-2-11 のとおりである。

なお、建設作業による振動に関する市民等からの苦情は、表 6-3-3 に示すとおり 2 件あったが、それぞれ適切に対応した。その後、苦情は発生していない。

表 6-3-2 建設機械振動調査結果

単位: dB

工事内容	調査地点	振動レベル（ L_{10} ） ^{注 12)}	予測値	基準値 ^{注 13)}
準備工	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	57	74	75
函体工事 (土留め工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	44	58	
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町4丁目地内)	54		
函体工事 (土工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	49	70	
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町4丁目地内)	43		
函体工事 (躯体工)	ささしま地区アンダーパス部 :太閤地区側(太閤二丁目地内)	44	70	
	ささしま地区アンダーパス部 :ささしま地区側(平池町4丁目地内)	44		
掘割工事 (土留め工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	60	61	
掘割工事 (土工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	55	72	
掘割工事 (擁壁工)	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	46	70	
舗装工事 (路盤工)	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	67	71	
舗装工事 (舗装工 (アスファルト))	太閤地区平面部 (太閤一丁目地内)	68	71	
舗装工事 (舗装工 (コンクリート))	太閤地区掘割部 (太閤二丁目地内)	49	68	

注 12) 調査時間区分毎の L_{10} の最大値を示す。

注 13) 出典: 「振動規制法施行規則別表第 1」(昭和 51 年総理府令第 58 号)

表 6-3-3 建設作業による振動に関する苦情の状況

苦情・要望内容	対 応 内 容
函体工事（土留め工・土工）において、大型車両が通行する際に地震のような振動が度々発生する。	大型車両搬出入時は、徐行入退場を徹底した。 バックホウの方向転換時（信地旋回時等）、移動時に起因すると思われるので、運転指導（低速運転等の義務）を行い、徹底した。
函体工事（躯体工）において、夜間の函体けん引時に家屋が振動する。	函体底部と発進台コンクリートとの摩擦が原因であると考えられたため、翌日の施工では、函体及び後部土留と発進台コンクリートとの間を清掃、水撒きをするとともにジャッキ推進速度を遅くする対応を実施し、確認したところ気になる振動は感じられなかった。その後継続して振動の調査をしたところ、最後尾の函体をけん引する際に生じる鋼線の急激な伸縮によるものも一因であると想定されたため、最後尾と1つ前の函体間にある中間ジャッキを利用して滑らかに動くように施工方法を工夫する等の対応を実施した。

(6) 事前配慮及び環境保全措置の実施状況

- ・低振動型建設機械の導入に努めた。
- ・振動を極力抑える施工方法（SMW工法・硬質地盤クリア工法）を採用した。
- ・機械の操作、配置、使用期間及び作業区域について十分留意した。

(7) 環境保全目標との適合状況

環境影響評価書では、工事境界付近の官民境界における建設機械振動は準備工では 74dB、函体工事（土留め工）では 58dB、函体工事（土工）では 70dB、函体工事（躯体工）では 70dB、掘割工事（土留め工）では 61dB、掘割工事（土工）では 72dB、掘割工事（擁壁工）では 70dB、舗装工事（路盤工）では 71dB、舗装工事（舗装工(アスファルト)）では 71dB、舗装工事（舗装工(コンクリート)）では 68dB と予測されている。

調査結果は、準備工では 57dB、函体工事（土留め工）では 54dB、函体工事（土工）では 49dB、函体工事（躯体工）では 44dB、掘割工事（土留め工）では 60dB、掘割工事（土工）では 55dB、掘割工事（擁壁工）では 46dB、舗装工事（路盤工）では 67dB、舗装工事（舗装工(アスファルト)）では 68dB、舗装工事（舗装工(コンクリート)）では 49dB であった。

「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」75dB を下回ること、低振動型の建設機械の導入等の環境保全措置の実施によりそれぞれの予測値を下回ること及び一部の工事において発生した苦情に対して適切に対応しその後の苦情が発生していないことから、環境保全目標である「日常生活に著しい影響を及ぼさない」を達成できたと考えられる。

6-4 地盤

(1) 調査事項

- ア 地下水位
- イ 地盤変動

(2) 調査方法

- ア 地下水位

自記式水位計を用いて調査した。

- イ 地盤変動

水準測量及び傾斜計^{注14)}を用いて調査した。

注 14) 太閤地区掘割部及びささしま地区アンダーパス部の掘削工事は鉛直方向だけでなく水平方向への影響が想定されること、また、掘削深さが 10m 程度あることから表面だけでなく深度毎の断面でモニタリングが必要であることを考慮し「傾斜計」を採用した。

(3) 調査時期

「ささしま地区掘割部」の掘削工事、「太閤地区掘割部」及び「ささしま地区アンダーパス部」の掘削工事が行われている時期に実施した。調査時期を表 6-4-1 に示す。

表 6-4-1 調査時期

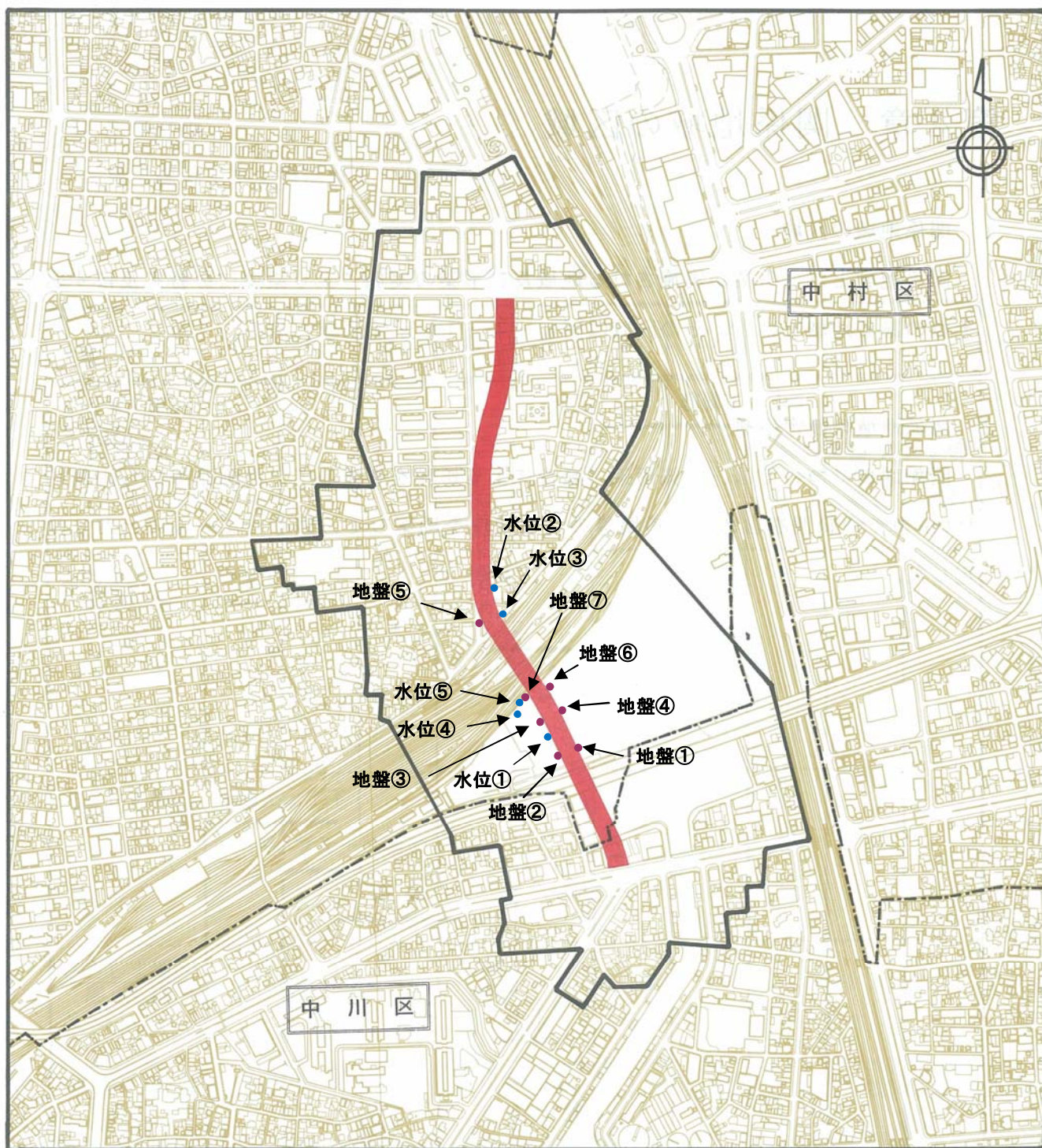
調査方法	調査地点	調査地点数
地下水位	ささしま地区掘割部	平成 23 年 9 月 14 日～平成 24 年 5 月 8 日
	太閤地区掘割部 ささしま地区アンダーパス部	平成 23 年 12 月 16 日～平成 28 年 3 月 31 日
地盤変動	ささしま地区掘割部	平成 23 年 8 月 9 日～平成 24 年 4 月 19 日
	太閤地区掘割部 ささしま地区アンダーパス部	平成 23 年 10 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

(4) 調査地点

調査地点数を表 6-4-2 に示す。また、調査地点を図 6-4-1 に示す。

表 6-4-2 調査地点数

調査方法	調査地点	調査地点数
地下水位	ささしま地区掘割部	1 地点
	太閤地区掘割部 ささしま地区アンダーパス部	4 地点
地盤変動	ささしま地区掘割部	4 地点
	太閤地区掘割部 ささしま地区アンダーパス部	3 地点



凡 例	
記 号	名 称
	事業路線
	関係地域
●	調査地点（地下水位）
●	調査地点（地盤変動）

図 6-4-1 調査地点図

(5) 調査結果

ア 地下水位

調査開始時に対する調査終了時の地下水位変動結果(調査開始時からの変動量)を表 6-4-3 に示す。なお、建設作業による地下水位に関する市民等からの苦情は発生していない。

表 6-4-3(1) 地下水位変動結果表(ささしま地区掘割部)

単位:m

調査日 調査地点	H23. 9. 11 (調査開始時)	H23. 9. 20 (最大値)	H24. 1. 6 (ウエルポイント 工法開始前) ^{注 16)}	H24. 1. 31 (最小値)	H24. 3. 15 (ウエルポイント 工法終了時) ^{注 16)}	H24. 5. 8 (最終調査時)	平均
水位①	0. 000 ^{注 15)}	0. 048	-0. 975	-2. 255	-1. 299	-0. 782	-1. 034

注 15) 調査開始時「0.000」は N.P.「0.595」である。

注 16) ささしま地区では、地下水位が高く、掘割部の掘削工事を行う上で地下水が工事に影響を与える可能性が高いため、「ウエルポイント工法」を採用した。

その工法の特徴である意図的に地下水位を低下させる影響から、当工法を実施している期間において水位が通常に比べて低くなっており、最小値も実施期間中に観測されている。

表 6-4-3(2) 地下水位変動結果表(太閤地区掘割部、ささしま地区アンダーパス部)

単位:m

調査年 ^{注 17)} 調査地点	調査開始時 (基準) ^{注 18)}	H24	H25	H26	H27	調査終了時	最大値	最小値
水位②	0. 000 (H23. 12. 16)	0. 645 (H24. 10. 1)	0. 215 (H25. 10. 1)	0. 420 (H26. 10. 1)	0. 234 (H27. 10. 1)	-0. 610 (H28. 3. 25)	0. 713 (H24. 7. 9 他)	-1. 446 (H27. 4. 3 他)
水位③	0. 000 (H23. 12. 16)	0. 527 (H24. 10. 1)	0. 065 (H25. 10. 1)	0. 342 (H26. 10. 1)	0. 028 (H27. 10. 1)	-0. 695 (H28. 3. 25)	0. 776 (H24. 7. 8)	-1. 303 (H27. 4. 3 他)
水位④	0. 000 (H24. 1. 27)	1. 225 (H24. 10. 1)	0. 365 (H25. 10. 1)	0. 625 (H26. 10. 1)	0. 732 (H27. 10. 1)	0. 265 (H28. 3. 31)	1. 304 (H24. 7. 7)	-0. 866 (H27. 4. 6)
水位⑤	0. 000 (H25. 4. 23)	—	-0. 113 (H25. 10. 1)	-0. 235 (H26. 10. 1)	0. 318 (H27. 10. 1)	0. 274 (H28. 3. 31)	1. 097 (H27. 9. 10)	-0. 846 (H27. 4. 5)

注 17) 調査期間中毎年実施(1日1回)しており、上表には各年の10月1日の結果を記載した。

注 18) 調査開始時の「0.000」は、水位②では T.P「-1.704」、水位③では T.P「-1.746」、水位④では T.P「-2.184」、水位⑤では T.P「-1.714」である。また、図表の括弧は調査日を示す。

「ウエルポイント工法」とは

一種の井戸工法で、井戸ポンプによる排水だけでは作業が困難と予想される場合に用いられ、湧水地区で掘削工事を行う場合に採用される地盤改良工事方法の一種である。

掘削溝に沿って、数メートル間隔で揚水管を打ち込んで多数の小型井戸(ウエルポイント)とし、集水管を通して真空ポンプによって揚水して地下水位を下げる。

イ 地盤変動

調査開始時に対する調査終了時の地盤変動結果(調査開始時からの変動量)を表 6-4-4 に示す。なお、建設作業による地盤変動に関する市民等からの苦情は発生していない。

表 6-4-4(1) 地盤変動結果表(ささしま地区掘割部)

単位:mm

調査日 調査地点	H23. 8. 9 (調査 開始時)	H23. 8. 22	H23. 9. 26	H23. 10. 24	H23. 11. 25	H23. 12. 26	H24. 1. 27	H24. 2. 24	H24. 3. 22	H24. 4. 19 (最終 調査時)	平均	最大	最小
地盤①	0.0	0.0	+1.0	0.0	0.0	-1.0	0.0	0.0	—	—	0.0	+1.0	-1.0
地盤②	0.0	0.0	+1.0	0.0	-1.0	-1.0	+1.0	0.0	0.0	-1.0	0.0	+1.0	-1.0
地盤③	0.0	-1.0	0.0	0.0	-1.0	-1.0	0.0	0.0	+1.0	-1.0	0.0	+1.0	-1.0
地盤④	0.0	0.0	+1.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	-1.0	0.0	0.0	0.0	+1.0	-1.0

表 6-4-4(2) 地盤変動結果表(太閤地区掘割部、ささしま地区アンダーパス部)

単位:mm

調査年 ^(注 19) 調査地点			調査開始時 ^(注 20)	H24	H25	H26	H27	調査終了時	最大値	最小値
地盤 ⑤	X 方向	地表面	0.00	-5.13	11.02	14.63	15.39	17.67	17.86	-14.92
		-1.0m	(H23. 12. 14)	(H24. 10. 1)	(H25. 10. 1)	(H26. 10. 1)	(H27. 10. 1)	(H27. 12. 14)	(H27. 12. 12)	(H24. 8. 18)
		地表面	0.00	-4.09	-2.19	-1.71	-1.24	-0.86	0.67	-8.65
		-11.0m	(H23. 12. 14)	(H24. 10. 1)	(H25. 10. 1)	(H26. 10. 1)	(H27. 10. 1)	(H27. 12. 14)	(H24. 2. 13 他)	(H24. 7. 24 他)
	Y 方向	地表面	0.00	-5.61	-5.61	-5.61	-5.61	-5.61	0.10	-5.61
		-23.0m	(H23. 12. 14)	(H24. 10. 1)	(H25. 10. 1)	(H26. 10. 1)	(H27. 10. 1)	(H27. 12. 14)	(H24. 2. 14)	(H24. 5. 26 他)
		地表面	0.00	14.92	20.14	16.34	15.30	15.77	27.46	-10.55
		-1.0m	(H23. 12. 14)	(H24. 10. 1)	(H25. 10. 1)	(H26. 10. 1)	(H27. 10. 1)	(H27. 12. 14)	(H25. 1. 6 他)	(H24. 7. 31 他)
地盤 ⑥	鉛直方向	地表面	0.00	18.53	15.77	16.82	17.29	17.39	19.19	-0.57
		-11.0m	(H23. 12. 14)	(H24. 10. 1)	(H25. 10. 1)	(H26. 10. 1)	(H27. 10. 1)	(H27. 12. 14)	(H24. 9. 6 他)	(H23. 12. 19 他)
		地表面	0.00	-0.38	-0.38	-0.38	-0.38	-0.38	0.10	-0.48
	Y 方向(地表面)	-22.5m	(H23. 12. 20)	(H24. 10. 25)	(H25. 10. 25)	(H26. 10. 31)	(H27. 10. 30)	(H28. 3. 25)	(H23. 12. 20 他)	(H26. 6. 26)
地盤 ⑦	X 方向	地表面	0.00	-4.32	-17.54	-18.38	-19.32	-18.15	0.00	-19.79
		-11.0m	(H23. 12. 20)	(H24. 10. 25)	(H25. 10. 25)	(H26. 10. 31)	(H27. 10. 30)	(H28. 3. 25)	(H23. 12. 20 他)	(H27. 8. 28)
		地表面	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	Y 方向	-22.5m	(H23. 12. 20)	(H24. 10. 25)	(H25. 10. 25)	(H26. 10. 31)	(H27. 10. 30)	(H28. 3. 25)	(H23. 12. 20 他)	(H23. 12. 20 他)

注 19) 地盤⑤及び⑥は調査期間中通年実施(1日1回)しており、上表には各年の10月1日の結果を記載した。

地盤⑦は調査期間中月1回の調査を実施しており、上表には各年の10月の結果を記載した。

注 20) 図表の括弧は調査日を示す。

(6) 事前配慮及び環境保全措置の実施状況

- ・工事の事前と事後にそれぞれ家屋調査を実施した。
- ・工事の事前に届出の必要のない井戸の分布調査を実施し、周辺に井戸がないことを確認した。
- ・アンダーパス部の施工方法の採用にあたっては、地盤変動等の影響の少ない工法を設定した。(R&C+ESA 工法、HEP&JES 工法) 注 21)

注 21) 環境影響評価書(平成 11 年 8 月)から追加している。

(7) 環境保全目標との適合状況

環境影響評価書では、「本事業による掘削の深さは約10m程度であるが、地盤全体に及ぶ地下水位の低下は生じないものと予測される。また、施工方法及び補助工法を適切に採用し、各種計測を実施しながら慎重に施工するため、地盤への影響は少ないと予測される。」としている。

調査結果は、地下水位の変動幅については-2.255～+1.304m であった。

地下水位については、掘削期間中に採用したウエルポイント工法により一時的に地下水位の低下は見られたが、ウエルポイント工法終了後に地下水位は徐々に復元し、最終調査時にはウエルポイント工法開始前（掘削開始前）の地下水位とほぼ同程度となっている。

地盤の変動量については、鉛直方向は-1.5～+1.0mm、水平方向は最大で 27.5mm であり、変位は少なかった。

地下水の影響として懸念される揚水設備は関係地域内に 1 箇所確認されているが、その施設は名古屋セントラル病院の西側に設置されており、太閤地区掘割部の掘削工事を行う区域から約 350m の距離があることから、本工事による影響はないと思われる。

また、建設作業による地下水位及び地盤変動に関する市民等からの苦情は発生していない。

よって、環境保全目標である「日常生活に影響を及ぼすような地盤変位及び地下水位の低下を起こさない」を達成できたと考えられる。

6-5 廃棄物

(1) 調査事項

廃棄物等の処理状況（種類・発生量）

(2) 調査方法

廃棄物等の種類毎の発生量及び再利用・再資源化量をマニフェストシステム等により記録・整理した。

(3) 調査時期

アンダーパス部及び掘割部の掘削工事が行われる期間で表 6-5-1 に示す期間を対象に実施した。

表 6-5-1 調査対象期間

工事内容	調査対象期間
アンダーパス部及び掘割部の掘削工事	平成 20 年度 ～ 令和元年度

(4) 調査地点

事業実施場所及び運搬先とした。

(5) 調査結果

ア 発生量

廃棄物等の発生量の調査結果を表 6-5-2 に示す。なお、廃棄物等に関する市民等からの苦情は発生していない。

表 6-5-2 廃棄物等の発生量及び予測値

廃棄物等の種類		発生量（m ³ ）		予測値（m ³ ）
建設廃材	アスファルト	16,156 注 22)	4,765 注 22)	約 1,600
	コンクリート		11,392 注 22)	
建設発生土	土・砂	88,489		約 110,000
泥 水		27,274		約 1,500

注 22) 小数点第一位以下は四捨五入処理したため合計値は一致しない。

イ 再利用・再資源化

廃棄物等の再利用・再資源化量の調査結果を表 6-5-3 に示す。

表 6-5-3 廃棄物等の発生量及び再利用・再資源化量

廃棄物等の種類		発生量（m ³ ）	再利用・再資源化	
			量（m ³ ）	率（％）
建設廃材	アスファルト	4,765	4,765	100
	コンクリート	11,392	11,392	100
建設発生土	土・砂	88,489	21,131	23.9
泥 水		27,274	27,274	100

(6) 事前配慮及び環境保全措置の実施状況

- ・廃棄物等の保管は、極力滞留を避け、シートを掛ける等の措置を行った。
- ・廃棄物の再利用、再資源化を実施し、発生抑制に努めた。
- ・再利用、再資源化は、廃棄物の分別を徹底するほか、コンクリート塊等は破碎の上、RC材として再生利用可能な施設へ適切に搬入し、基礎材として積極的に再利用する等の対策を実施した。
- ・廃棄物の運搬時は、運搬車両へのシート被覆等の措置を行い、廃棄物の飛散及び荷こぼれがないように努めた。
- ・工事請負者に対し、廃棄物等の適切な処理を指導した。

(7) 環境保全目標との適合状況

発生量について、環境影響評価書では、建設廃材（アスファルト・コンクリート廃材）の予測値は約 1,600 m³、建設発生土（土・砂）は約 110,000 m³、泥水は約 1,500 m³に対し、調査結果はそれぞれ 16,156 m³、88,489 m³、27,274 m³となり、それぞれ予測値との乖離が見られる結果になった。

建設廃材（アスファルト・コンクリート廃材）は、予測段階において仮設工（大型クレーン設置・SMW 工法）、地下構造物の撤去によるものが計上されていないことにより予測値を大きく上回った。

建設発生土（土・砂）及び泥水は、建設発生土（土・砂）となる掘削土に薬液注入したものが、マニフェストシステム管理上で泥水として計上されたため予測値との乖離が見られる結果になった。

再利用・再資源化率については、建設廃材（アスファルト・コンクリート廃材）及び泥水は 100%であった一方、建設発生土（土・砂）は資源の有効活用に努めたが 23.9%であった。

また、廃棄物等に関する市民等からの苦情は発生していない。

よって、環境保全目標である「日常生活に著しい影響を及ぼさない」を達成できたと考えられる。

6-6 安全性

(1) 調査事項

通学路及び歩行者の安全性（工事関係車両交通量）

(2) 調査方法

工事関係車両の断面交通量を方向別、車種別にハンドカウンターを用いて調査した。

(3) 調査時期

ささしま地区アンダーパス部の函体工事（土工）において、工事関係車両交通量が最大と考えられる北側発進立坑及び中間到達立坑工事の同時掘削時を調査日として選定した。

調査時期を表 6-6-1 に示す。

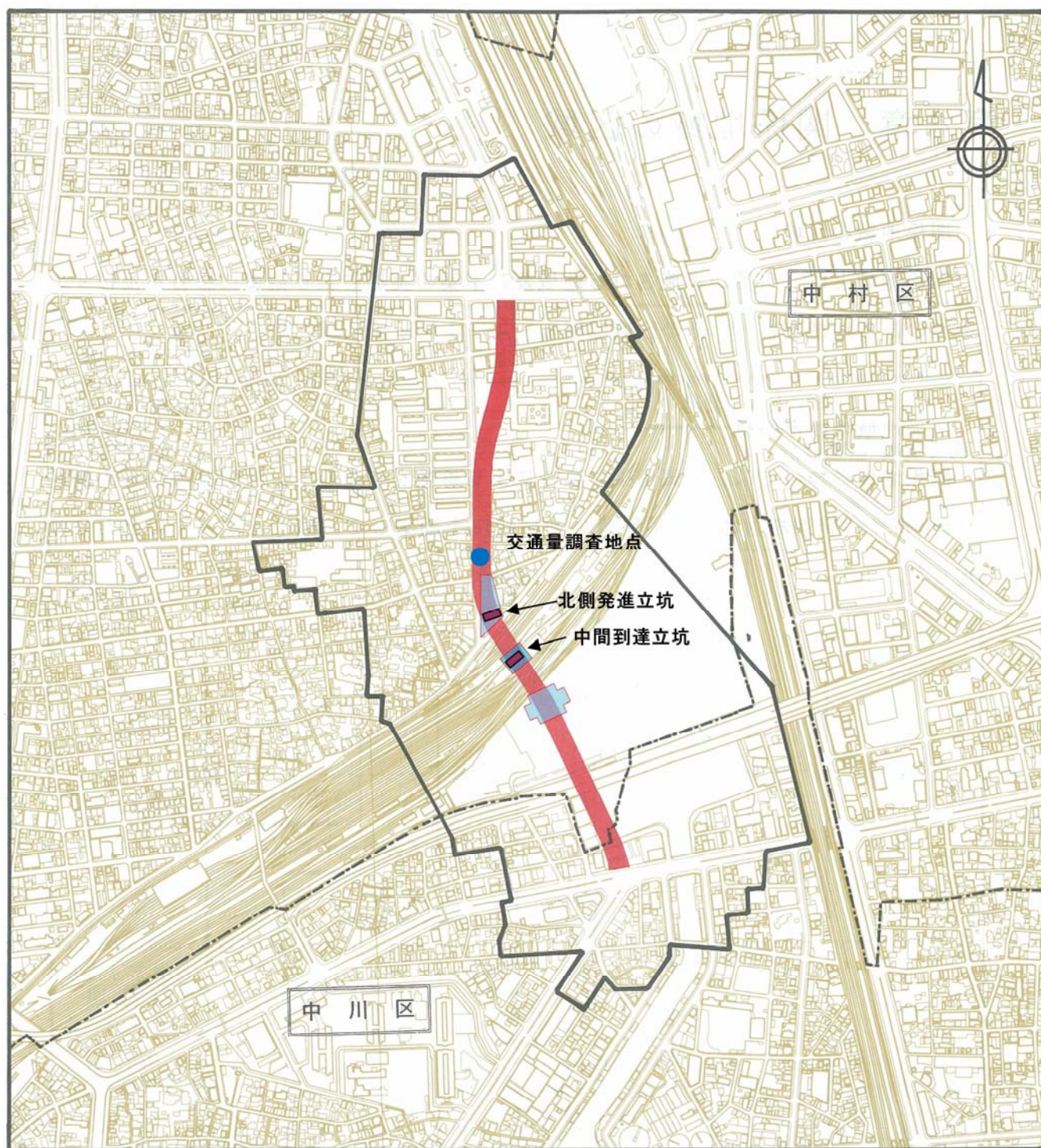
表 6-6-1 調査時期

工事内容	調査時期
函体工事（土工）	平成 24 年 1 月 25 日（水） 9:00 ～ 17:00

(4) 調査地点

調査地点は、住宅が連担し、横断歩道や通学路が設定されているため、工事関係車両の通行による周辺環境への影響が大きいと考えられる「太閤地区」を対象とし、ささしま地区アンダーパス部の太閤地区側工事ヤード入口付近で、搬入・搬出車両が通過する地点を選定した。

調査地点を図 6-6-1 に示す。



凡 例	
記 号	名 称
	事業路線
	関係地域
	調査地点
	工事ヤード

図 6-6-1 調査地点図

(5) 調査結果

交通量調査結果を表 6-6-2 に示す。なお、安全性に関する市民等からの苦情は発生していない。

表 6-6-2 交通量調査結果

単位：台/8h

車 種	上り方向（名古屋駅方面）	下り方向（米野駅方面）	合計	予測値
工事関係車両	48	47	95	190
その他の交通量	122	958	1080	-

(6) 事前配慮及び環境保全措置の実施状況

- ・工事箇所をガードフェンス等で囲み、工事区域を明確にし、工事関係者以外の者の進入を防ぐとともに、必要に応じて工事現場に保安員を配置し、安全確保に努めた。
- ・工事関係車両が関係地域内の生活道路に進入することがないように、工事関係車両の走行ルートを前掲図 6-1-3 に示すとおりに限定した。なお、工事関係車両の走行ルートについては、周辺住民との協議のうえ決定した。
- ・工事中は必要な箇所に回転灯、工事標識板等を設置し、一般車両等に注意を促した。
- ・工事着手前に地下埋設物等の詳細な調査を行った。また、埋設物管理者及び関係機関と協議し、埋設管の移設をはじめ、施工の各段階における保安上の必要な措置を講じた。

(7) 環境保全目標との適合状況

環境影響評価書では、「本工事の施工による車線の位置変更や交通規制及び工事用車両の通行により通学路や歩行者等に対する影響があると予測される。なお、工事用車両の交通量は、建設廃材と建設発生土の搬出の最盛期が重なる期間でも日最大往復約 190 台であることから、工事車両が道路交通に与える影響は軽微であると予測される。」としている。

また、工事による地下埋設物等に与える影響については、「計画路線沿線には、各種の地下埋設物等が数多く敷設されているため、工事による影響が予測される。」としている。

調査結果は、工事関係車両交通量が 95 台であり、環境保全措置を適切に行ったため予測値を下回った。

また、安全性に関する市民等からの苦情は発生していない。

よって、環境保全目標である「日常生活に著しい影響を及ぼさない」を達成できたと考えられる。

資 料 編

表 1-1(1) 太閤地区平面部の騒音調査結果(準備工) 東側

単位: dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	57	53	50	53.5	工事作業前(暗騒音)
8:10～8:20	61	53	50	56.3	対象工事作業音
8:20～8:30	64	59	56	60.2	他工区作業音
8:30～8:40	61	57	54	58.0	他工区作業音
8:40～8:50	63	58	55	58.9	他工区作業音
8:50～9:00	65	60	56	60.9	他工区作業音
9:00～9:10	70	62	58	65.1	他工区作業音
9:10～9:20	71	65	61	66.5	他工区作業音
9:20～9:30	68	65	60	65.3	他工区作業音
9:30～9:40	76	69	65	71.0	対象工事作業音
9:40～9:50	73	68	63	69.0	対象工事作業音
9:50～10:00	75	66	62	69.8	他工区作業音

表 1-1(2) 太閤地区平面部の騒音調査結果(準備工) 西側

単位: dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	58	54	50	54.9	工事作業前(暗騒音)
8:10～8:20	65	54	50	62.2	他工区作業音
8:20～8:30	65	59	55	61.1	他工区作業音
8:30～8:40	60	56	53	57.3	他工区作業音
8:40～8:50	62	57	54	58.2	他工区作業音
8:50～9:00	64	59	54	60.2	他工区作業音
9:00～9:10	69	61	57	64.3	他工区作業音
9:10～9:20	67	62	59	63.5	他工区作業音
9:20～9:30	69	63	58	64.4	他工区作業音
9:30～9:40	72	65	62	67.6	対象工事作業音
9:40～9:50	75	66	63	70.2	対象工事作業音
9:50～10:00	70	66	61	66.8	他工区作業音

表 1-2(1) ささしま地区アンダーパス部(太閤地区側)の騒音調査結果(函体工事(土留め工)) 単位: dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
10:00～10:10	62	57	51	58.1	対象工事作業音、他工区作業音
10:10～10:20	55	51	48	52.1	工事休止中(暗騒音)
10:20～10:30	56	53	49	53.3	工事休止中(10:24頃より他工区工事の影響あり)
10:30～10:40	63	58	53	59.1	10:36より対象工事再開(10:36まで他工区工事の影響あり)
10:40～10:50	62	60	58	59.9	対象工事作業音、他工区作業音
10:50～11:00	61	59	58	59.5	対象工事作業音、他工区作業音
11:00～11:10	63	60	58	58.0	対象工事作業音、他工区作業音
11:10～11:20	62	60	59	60.5	対象工事作業音、他工区作業音
11:20～11:30	63	60	58	60.3	対象工事作業音、他工区作業音
11:30～11:40	63	60	59	60.8	対象工事作業音、他工区作業音

表 1-2(2) ささしま地区アンダーパス部(ささしま地区側)の騒音調査結果(函体工事(土留め工)) 単位: dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
10:00～10:10	62	60	59	62.8	対象工事作業音
10:10～10:20	63	61	59	60.9	対象工事作業音(10:15～杭打ち作業)
10:20～10:30	64	62	61	62.2	対象工事作業音
10:30～10:40	64	62	61	62.4	対象工事作業音
10:40～10:50	65	64	63	63.9	対象工事作業音
10:50～11:00	68	64	62	65.0	対象工事作業音
11:00～11:10	68	65	61	64.3	対象工事作業音
11:10～11:20	68	64	62	64.6	対象工事作業音
11:20～11:30	65	63	62	63.4	対象工事作業音
11:30～11:40	65	63	63	63.9	対象工事作業音
11:40～11:50	65	64	63	63.7	対象工事作業音
11:50～12:00	64	63	62	62.7	対象工事作業音

表 1-3(1) ささしま地区アンダーパス部(太閤地区側)の騒音調査結果(函体工事(土工)) 単位: dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
15:00～15:10	66	58	55	60.6	対象工事作業音、他工区作業音
15:10～15:20	63	57	53	58.5	対象工事作業音(～15:15)、他工区作業音(15:15～)
(15:10～15:15)	64	58	53	59.4	
15:20～15:30	64	57	54	59.3	対象工事作業音(15:26～)、他工区作業音(～15:26)
(15:26～15:30)	64	58	56	59.8	
15:30～15:40	63	55	51	57.7	対象工事作業音(～15:34)、他工区作業音(15:34～)
(15:30～15:34)	65	58	54	59.7	
15:40～15:50	62	54	51	57.2	他工区作業音(暗騒音)
15:50～16:00	62	57	51	57.8	他工区作業音(暗騒音)

表 1-3(2) ささしま地区アンダーパス部(ささしま地区側)の騒音調査結果(函体工事(土工)) 単位: dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
11:00～11:10	60	58	56	58.5	対象工事作業音、他工区作業音
11:10～11:20	60	58	55	58.5	対象工事作業音、他工区作業音
11:20～11:30	59	57	54	57.2	対象工事作業音、他工区作業音
11:30～11:40	60	58	57	58.3	対象工事作業音、他工区作業音
11:40～11:50	59	58	56	57.7	対象工事作業音、他工区作業音
11:50～12:00	60	58	56	58.0	対象工事作業音、他工区作業音
12:00～12:10	59	55	52	56.4	対象工事作業音(～12:03)、他工区作業音(～12:06)
12:10～12:20	57	53	51	53.8	周辺道路交通騒音
12:20～12:30	56	54	51	54.0	他工区作業音(12:23～)
12:30～12:40	57	55	53	55.0	他工区作業音
12:40～12:50	56	54	52	54.4	他工区作業音
12:50～13:00	57	55	53	56.0	他工区作業音

表 1-4(1) ささしま地区アンダーパス部(太閤地区側)の騒音調査結果(函体工事(躯体工)) 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
7:00～7:10	57	53	51	53.9	工事作業前（暗騒音）
7:10～7:20	57	55	54	55.5	工事作業前（暗騒音）
7:20～7:30	63	60	55	60.2	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
7:30～7:40	65	62	55	61.8	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
7:40～7:50	67	64	59	64.0	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
7:50～8:00	66	63	59	63.2	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
8:00～8:10	67	64	60	64.1	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
8:10～8:20	68	63	59	64.2	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
8:20～8:30	67	64	60	64.2	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
8:30～8:40	67	64	61	64.4	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
8:40～8:50	67	64	60	63.9	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）
8:50～9:00	67	63	59	63.5	対象工事作業音（コンクリートポンプ車稼働）

表 1-4(2) ささしま地区アンダーパス部(ささしま地区側)の騒音調査結果(函体工事(躯体工)) 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
18:00～18:10	57	54	52	54.6	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
18:10～18:20	57	55	53	54.8	道路交通騒音、鉄道騒音（工事休止中）
18:20～18:30	56	54	51	53.8	道路交通騒音、鉄道騒音（工事休止中）
18:30～18:40	56	54	52	54.4	道路交通騒音、鉄道騒音（工事休止中）
18:40～18:50	57	54	52	54.6	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
18:50～19:00	58	55	52	55.1	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
19:00～19:10	59	55	53	55.7	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
19:10～19:20	56	54	52	54.2	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
19:20～19:30	57	54	52	54.6	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
19:30～19:40	57	55	52	55.0	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
19:40～19:50	56	54	51	53.9	対象工事作業音、道路交通騒音、鉄道騒音
19:50～20:00	57	54	51	54.0	道路交通騒音、鉄道騒音（工事休止中）

表 1-5(1) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（掘割工事(土留め工)） 東側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
11:00～11:10	70	61	58	64.6	対象工事作業音
11:10～11:20	69	66	64	66.5	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
11:20～11:30	67	64	58	64.3	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
11:30～11:40	68	62	58	63.5	対象工事作業音
11:40～11:50	59	51	46	54.1	他工区作業音
11:50～12:00	65	49	46	57.4	他工区作業音
12:00～12:10	53	48	45	50.3	作業休止（暗騒音）
12:10～12:20	55	48	45	50.4	作業休止（暗騒音）
12:20～12:30	58	49	45	53.8	作業休止（暗騒音）
12:30～12:40	57	52	47	52.8	他工区作業音
12:40～12:50	56	52	48	52.5	他工区作業音
12:50～13:00	62	53	46	56.8	他工区作業音
13:00～13:10	66	55	48	59.4	対象工事作業音
13:10～13:20	69	65	58	65.4	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:20～13:30	69	66	64	66.8	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:30～13:40	68	66	64	66.1	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:40～13:50	71	66	64	67.4	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:50～14:00	70	66	63	66.7	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:00～14:10	69	66	64	66.5	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:10～14:20	69	63	57	64.7	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:20～14:30	67	62	57	63.4	対象工事作業音
14:30～14:40	70	66	58	66.9	対象工事作業音
14:40～14:50	70	67	64	67.1	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:50～15:00	69	66	64	66.8	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）

表 1-5(2) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（掘割工事(土留め工)） 西側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
11:00～11:10	78	65	62	70.4	対象工事作業音
11:10～11:20	77	66	64	70.2	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
11:20～11:30	76	65	60	68.5	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
11:30～11:40	78	69	63	72.7	対象工事作業音
11:40～11:50	64	51	47	62.6	他工区作業音
11:50～12:00	65	51	46	59.1	他工区作業音
12:00～12:10	57	49	46	53.7	作業休止（暗騒音）
12:10～12:20	55	49	46	50.8	作業休止（暗騒音）
12:20～12:30	59	50	46	54.1	作業休止（暗騒音）
12:30～12:40	63	53	48	57.7	他工区作業音
12:40～12:50	57	52	49	53.4	他工区作業音
12:50～13:00	64	53	46	59.4	他工区作業音
13:00～13:10	77	63	49	68.7	対象工事作業音
13:10～13:20	79	69	62	73.6	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:20～13:30	78	67	64	72.8	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:30～13:40	77	65	64	69.9	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:40～13:50	79	68	63	75.1	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
13:50～14:00	77	68	63	72.8	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:00～14:10	78	67	63	73.3	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:10～14:20	78	71	62	73.8	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:20～14:30	78	72	62	74.4	対象工事作業音
14:30～14:40	77	66	62	71.0	対象工事作業音
14:40～14:50	79	69	64	74.1	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）
14:50～15:00	78	65	64	74.1	対象工事作業音（サイレントパイラー稼働）

表 1-6(1) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（掘割工事(土工)） 東側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	60	50	47	53.6	作業前（暗騒音）
8:10～8:20	56	49	46	51.9	作業前（暗騒音）
8:20～8:30	61	50	47	56.4	作業前（暗騒音）
8:30～8:40	58	50	47	52.7	作業準備
8:40～8:50	60	52	47	55.2	作業準備
8:50～9:00	61	54	49	56.8	作業準備
9:00～9:10	66	61	54	62.7	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:10～9:20	67	62	56	63.2	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:20～9:30	68	61	54	63.9	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:30～9:40	68	61	56	63.3	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:40～9:50	69	63	59	65.0	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:50～10:00	66	61	57	62.5	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:00～10:10	68	63	59	64.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:10～10:20	69	64	61	65.7	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:20～10:30	71	64	60	66.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:30～10:40	66	61	56	62.7	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:40～10:50	67	61	57	64.9	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:50～11:00	69	61	58	64.2	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:00～11:10	70	63	60	65.7	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:10～11:20	67	63	59	63.9	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:20～11:30	70	63	53	65.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:30～11:40	59	52	49	54.7	作業準備
11:40～11:50	62	57	50	58.6	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:50～12:00	64	59	55	60.2	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）

表 1-6(2) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（掘割工事(土工)） 西側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	63	51	47	58.6	作業前（暗騒音）
8:10～8:20	59	51	47	54.1	作業前（暗騒音）
8:20～8:30	56	50	47	52.2	作業前（暗騒音）
8:30～8:40	57	50	47	54.2	作業準備
8:40～8:50	59	51	48	57.3	作業準備
8:50～9:00	62	54	50	57.1	作業準備
9:00～9:10	69	61	53	64.0	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:10～9:20	68	62	56	63.6	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:20～9:30	70	64	55	66.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:30～9:40	73	66	55	67.8	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:40～9:50	74	66	61	68.8	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
9:50～10:00	70	64	57	66.1	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:00～10:10	71	65	61	66.9	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:10～10:20	71	65	61	67.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:20～10:30	72	64	60	66.9	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:30～10:40	71	64	56	66.3	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:40～10:50	72	66	61	68.8	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
10:50～11:00	72	67	64	68.7	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:00～11:10	72	66	61	67.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:10～11:20	71	64	59	66.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:20～11:30	69	63	52	64.3	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:30～11:40	61	54	51	56.2	作業準備
11:40～11:50	68	62	50	64.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）
11:50～12:00	71	64	57	66.3	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ等）

表 1-7(1) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（掘割工事(擁壁工)） 東側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	61	53	50	56.4	作業準備
8:10～8:20	61	58	55	58.6	作業準備
8:20～8:30	63	59	53	62.5	作業準備
8:30～8:40	63	55	52	58.2	対象工事作業音 (稼働重機：コンクリート注入ポンプ・コンクリートミキサー車等)
8:40～8:50	64	54	51	58.1	
8:50～9:00	65	56	53	60.5	
9:00～9:10	60	54	52	56.6	
9:10～9:20	63	59	53	60.0	
9:20～9:30	66	59	53	62.0	
9:30～9:40	64	61	52	60.4	
9:40～9:50	63	57	51	59.6	
9:50～10:00	63	59	52	60.7	
10:00～10:10	71	59	52	65.9	
10:10～10:20	70	67	53	66.3	
10:20～10:30	71	66	54	66.6	
10:30～10:40	69	59	53	64.7	
10:40～10:50	67	56	51	62.0	
10:50～11:00	70	68	53	66.8	
11:00～11:10	71	67	54	66.7	
11:10～11:20	71	67	53	67.3	
11:20～11:30	73	65	53	67.9	
11:30～11:40	73	70	55	69.0	
11:40～11:50	74	69	56	69.8	
11:50～12:00	68	64	53	64.2	
12:00～12:10	69	67	53	66.3	
12:10～12:20	69	65	53	65.5	
12:20～12:30	70	66	52	66.1	
12:30～12:40	71	68	53	67.8	
12:40～12:50	73	66	52	68.3	
12:50～13:00	70	54	51	63.6	
13:00～13:10	57	54	51	54.5	
13:10～13:20	59	53	51	56.0	
13:20～13:30	73	61	53	66.5	
13:30～13:40	64	60	56	60.4	
13:40～13:50	64	60	52	61.2	
13:50～14:00	62	58	53	58.6	

表 1-7(2) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（掘割工事(擁壁工)） 西側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	66	54	50	61.9	作業準備
8:10～8:20	67	59	57	63.4	作業準備
8:20～8:30	64	61	53	62.1	作業準備
8:30～8:40	64	55	52	59.3	対象工事作業音 (稼働重機：コンクリート注入ポンプ・コンクリートミキサー車等)
8:40～8:50	69	55	52	62.5	
8:50～9:00	64	56	53	60.4	
9:00～9:10	64	55	54	61.5	
9:10～9:20	65	59	54	63.8	
9:20～9:30	70	60	55	64.4	
9:30～9:40	67	63	55	64.1	
9:40～9:50	66	59	52	61.6	
9:50～10:00	67	60	53	63.0	
10:00～10:10	74	64	53	68.5	
10:10～10:20	74	70	54	70.0	
10:20～10:30	75	69	57	70.8	
10:30～10:40	72	60	54	67.7	
10:40～10:50	71	59	51	66.6	
10:50～11:00	74	71	54	70.2	
11:00～11:10	73	69	55	69.5	
11:10～11:20	72	67	55	67.6	
11:20～11:30	71	61	53	66.9	
11:30～11:40	71	69	56	68.3	
11:40～11:50	72	68	56	68.1	
11:50～12:00	71	67	54	67.3	
12:00～12:10	73	69	54	69.5	
12:10～12:20	73	67	55	68.3	
12:20～12:30	72	69	53	68.4	
12:30～12:40	72	69	55	68.6	
12:40～12:50	72	67	53	67.7	
12:50～13:00	68	55	52	62.7	
13:00～13:10	61	54	52	59.4	
13:10～13:20	63	54	52	61.0	
13:20～13:30	70	63	54	66.1	
13:30～13:40	69	63	58	65.5	
13:40～13:50	67	62	52	63.5	
13:50～14:00	64	59	54	60.8	

表 1-8(1) 太閤地区平面部の騒音調査結果（舗装工事(路盤工)） 東側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	59	53	51	54.9	作業前（暗騒音）
8:10～8:20	58	53	51	54.5	作業前（暗騒音）
8:20～8:30	59	53	51	54.4	作業前（暗騒音）
8:30～8:40	60	53	51	55.3	作業前（暗騒音）
8:40～8:50	64	53	51	57.9	作業前（他工区作業あり）
8:50～9:00	59	54	52	60.8	作業前（他工区作業あり）
9:00～9:10	64	58	54	59.9	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ）
9:10～9:20	63	58	56	59.0	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ）
9:20～9:30	65	60	56	61.4	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ）
9:30～9:40	63	59	53	59.3	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
9:40～9:50	65	61	59	62.2	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
9:50～10:00	67	65	61	65.2	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
10:00～10:10	68	66	56	65.6	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
10:10～10:20	56	53	52	54.0	休止中（暗騒音）
10:20～10:30	60	54	51	55.1	休止中（他工区作業あり）
10:30～10:40	68	54	51	61.3	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
10:40～10:50	70	67	62	67.2	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
10:50～11:00	69	66	63	66.5	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:00～11:10	76	73	63	73.0	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:10～11:20	75	71	66	71.2	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:20～11:30	79	75	62	75.4	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:30～11:40	78	69	65	71.8	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:40～11:50	80	69	64	73.1	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:50～12:00	70	65	51	65.5	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）

表 1-8(2) 太閤地区平面部の騒音調査結果（舗装工事(路盤工)） 西側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:00～8:10	59	54	51	55.9	作業前（暗騒音）
8:10～8:20	58	54	52	55.2	作業前（暗騒音）
8:20～8:30	57	53	51	54.2	作業前（暗騒音）
8:30～8:40	59	53	51	55.4	作業前（暗騒音）
8:40～8:50	62	53	51	57.7	作業前（他工区作業あり）
8:50～9:00	61	54	52	64.0	作業前（他工区作業あり）
9:00～9:10	68	61	54	63.3	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ）
9:10～9:20	72	64	59	66.6	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ）
9:20～9:30	79	69	57	72.6	対象工事作業音（重機稼働：バックホウ）
9:30～9:40	72	62	55	66.0	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
9:40～9:50	75	71	63	71.7	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
9:50～10:00	81	74	69	76.0	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
10:00～10:10	80	73	59	75.3	対象工事作業音（重機稼働：ブルドーザー等）
10:10～10:20	57	54	52	55.5	休止中（暗騒音）
10:20～10:30	61	54	51	55.9	休止中（他工区作業あり）
10:30～10:40	74	54	51	67.1	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
10:40～10:50	78	73	67	73.7	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
10:50～11:00	78	74	61	74.4	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:00～11:10	71	65	55	66.4	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:10～11:20	69	66	63	66.5	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:20～11:30	76	68	62	70.8	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:30～11:40	74	68	64	69.5	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:40～11:50	72	67	62	68.0	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）
11:50～12:00	74	68	50	68.8	対象工事作業音（重機稼働：ロードローラー）

表 1-9(1) 太閤地区平面部の騒音調査結果（舗装工事(舗装工(アスファルト))) 東側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
9:00～9:10	57	52	49	55.2	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、ダンプトラック）
9:10～9:20	56	53	51	53.7	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー）
9:20～9:30	57	53	51	54.2	対象工事作業音（重機稼働：振動コンパクタ）
9:30～9:40	59	55	52	56.0	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ、タイヤローラ、振動コンパクタ）
9:40～9:50	58	55	51	55.0	
9:50～10:00	58	55	52	55.4	
10:00～10:10	59	56	52	56.2	
10:10～10:20	57	54	52	54.9	
10:20～10:30	57	54	52	54.7	
10:30～10:40	58	55	52	55.1	
10:40～10:50	57	54	52	54.6	
10:50～11:00	58	53	51	54.1	
11:00～11:10	57	53	51	53.5	
11:10～11:20	58	54	51	55.0	
11:20～11:30	57	54	51	54.4	
11:30～11:40	57	54	51	54.5	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
11:40～11:50	56	53	50	53.6	対象工事作業音（重機稼働：振動コンパクタ）
11:50～12:00	57	54	51	54.2	休止中（暗騒音）
12:00～12:10	57	54	52	54.1	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ等）
12:10～12:20	58	54	50	54.5	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:20～12:30	56	53	50	53.3	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:30～12:40	56	53	51	53.7	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:40～12:50	56	52	50	53.0	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:50～13:00	56	53	50	53.1	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）

表 1-9(2) 太閤地区平面部の騒音調査結果（舗装工事（舗装工（アスファルト）））西側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
9:00～9:10	64	59	51	60.9	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、ダンプトラック）
9:10～9:20	70	63	56	65.9	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー）
9:20～9:30	70	65	59	66.1	対象工事作業音（重機稼働：振動コンパクタ）
9:30～9:40	72	62	56	65.8	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ、タイヤローラ、振動コンパクタ）
9:40～9:50	65	60	56	61.2	
9:50～10:00	68	63	57	63.7	
10:00～10:10	69	64	63	65.5	
10:10～10:20	79	71	67	73.6	
10:20～10:30	83	79	70	79.3	
10:30～10:40	81	70	59	76.1	
10:40～10:50	71	67	63	67.4	
10:50～11:00	68	62	58	63.2	
11:00～11:10	69	62	56	63.9	
11:10～11:20	68	62	56	63.8	
11:20～11:30	62	59	55	59.2	
11:30～11:40	72	64	57	66.1	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
11:40～11:50	64	58	56	59.9	対象工事作業音（重機稼働：振動コンパクタ）
11:50～12:00	64	57	54	59.2	休止中（暗騒音）
12:00～12:10	64	57	52	59.2	対象工事作業音（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ等）
12:10～12:20	60	55	52	56.1	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:20～12:30	61	55	51	56.2	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:30～12:40	67	57	52	61.1	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:40～12:50	69	63	58	64.5	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）
12:50～13:00	70	63	58	65.1	対象工事作業音（重機稼働：タイヤローラ）

表 1-10 (1) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（舗装工事（舗装工（コンクリート）））東側 単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:20～8:30	60	53	51	54.9	対象工事作業準備、道路交通騒音
8:30～8:40	62	55	52	57.2	対象工事作業音、道路交通騒音
8:40～8:50	64	60	54	60.2	対象工事作業音、道路交通騒音
8:50～9:00	63	56	52	58.3	対象工事作業音、道路交通騒音
9:00～9:10	62	58	54	58.6	対象工事作業音、他工区作業音
9:10～9:20	64	60	55	60.3	対象工事作業音、他工区作業音
9:20～9:30	68	63	57	64.1	対象工事作業音、他工区作業音
9:30～9:40	69	59	55	64.1	対象工事作業音、他工区作業音
9:40～9:50	63	58	55	59.8	対象工事作業音、他工区作業音
9:50～10:00	65	61	54	61.3	対象工事作業音、他工区作業音
10:00～10:10	67	64	58	63.8	対象工事作業音、他工区作業音
10:10～10:20	65	63	57	63.0	対象工事作業音、他工区作業音
10:20～10:30	65	59	56	59.8	他工区作業音、対象工事作業音
10:30～10:40	65	63	59	62.4	他工区作業音、対象工事作業音
10:40～10:50	—	—	—	—	他工区作業音（地点直近で他工区作業を実施していたためこの時間帯の全データを欠測扱いとした。）
10:50～11:00	—	—	—	—	
11:00～11:10	59	56	55	56.4	他工区作業音、対象工事作業音
11:10～11:20	63	58	55	59.4	対象工事作業音、他工区作業音
11:20～11:30	63	61	54	60.6	対象工事作業音、他工区作業音
11:30～11:40	69	61	56	63.4	対象工事作業音、他工区作業音
11:40～11:50	65	58	54	61.1	他工区作業音、対象工事作業音
11:50～12:00	—	—	—	—	他工区作業音（地点直近で他工区作業を実施していたためこの時間帯の全データを欠測扱いとした。）

表 1-10(2) 太閤地区掘割部の騒音調査結果（舗装工事(舗装工(コンクリート))) 西側

単位：dB(A)

測定時間	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	主な音源
8:20～8:30	62	56	53	57.2	対象工事作業準備、道路交通騒音
8:30～8:40	65	58	55	60.1	対象工事作業音、道路交通騒音
8:40～8:50	66	62	57	62.3	対象工事作業音、道路交通騒音
8:50～9:00	65	59	55	60.5	対象工事作業音、道路交通騒音
9:00～9:10	63	60	56	60.3	対象工事作業音、道路交通騒音
9:10～9:20	65	62	60	62.5	対象工事作業音、道路交通騒音
9:20～9:30	67	62	58	63.2	対象工事作業音、道路交通騒音
9:30～9:40	67	61	58	63.6	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
9:40～9:50	68	62	59	63.9	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
9:50～10:00	69	64	58	65.0	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
10:00～10:10	70	66	60	66.5	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
10:10～10:20	69	66	61	65.8	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
10:20～10:30	67	63	57	63.2	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
10:30～10:40	69	66	62	66.2	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
10:40～10:50	66	62	58	62.7	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
10:50～11:00	62	58	52	58.5	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
11:00～11:10	67	63	57	63.4	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
11:10～11:20	66	63	59	63.0	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
11:20～11:30	67	64	57	63.6	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
11:30～11:40	71	65	62	67.0	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
11:40～11:50	70	64	62	65.7	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音
11:50～12:00	69	64	61	65.3	対象工事作業音、他工区作業音、道路交通騒音

表 2-1 (1) 太閤地区平面部の振動調査結果（準備工） 東側

単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	36	33	31	工事作業前（暗振動）
8:10～8:20	35	33	31	他工区作業振動
8:20～8:30	42	36	33	他工区作業振動
8:30～8:40	39	35	32	他工区作業振動
8:40～8:50	42	37	33	他工区作業振動
8:50～9:00	43	39	34	他工区作業振動
9:00～9:10	46	42	36	他工区作業振動
9:10～9:20	48	43	38	他工区作業振動
9:20～9:30	49	44	38	他工区作業振動
9:30～9:40	48	42	36	対象工事作業振動
9:40～9:50	52	45	36	対象工事作業振動
9:50～10:00	50	46	41	他工事作業振動

表 2-1 (2) 太閤地区平面部の振動調査結果（準備工） 西側

単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	44	39	35	工事作業前（暗振動）
8:10～8:20	43	38	34	他工区作業振動
8:20～8:30	48	40	37	他工区作業振動
8:30～8:40	44	39	36	他工区作業振動
8:40～8:50	45	40	36	他工区作業振動
8:50～9:00	46	42	37	他工区作業振動
9:00～9:10	50	44	39	他工区作業振動
9:10～9:20	47	43	40	他工区作業振動
9:20～9:30	53	45	40	他工区作業振動
9:30～9:40	49	44	39	対象工事作業振動
9:40～9:50	57	47	40	対象工事作業振動
9:50～10:00	52	48	43	他工区作業振動

表 2-2(1) ささしま地区アンダーパス部(太閤地区側)の振動調査結果(函体工事(土留め工)) 単位 : dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
10:00～10:10	41	37	33	道路交通振動、周辺施設振動
10:10～10:20	43	37	34	工事休止中（暗振動）
10:20～10:30	40	37	34	工事休止中（10:24 頃より他工区工事再開）
10:30～10:40	44	39	35	10:36 より対象工事再開
10:40～10:50	41	37	35	道路交通振動、周辺施設振動
10:50～11:00	43	39	35	道路交通振動、周辺施設振動
11:00～11:10	44	40	37	道路交通振動、周辺施設振動
11:10～11:20	42	39	35	道路交通振動、周辺施設振動
11:20～11:30	44	41	37	道路交通振動、周辺施設振動
11:30～11:40	41	38	34	道路交通振動、周辺施設振動

表 2-2(2) ささしま地区アンダーパス部(ささしま地区側)の振動調査結果(函体工事(土留め工)) 単位 : dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
10:00～10:10	51	43	38	対象工事作業振動
10:10～10:20	50	44	40	対象工事作業振動(10:15～杭打ち作業)
10:20～10:30	54	47	42	対象工事作業振動
10:30～10:40	54	47	42	対象工事作業振動
10:40～10:50	51	46	41	対象工事作業振動
10:50～11:00	51	44	39	対象工事作業振動
11:00～11:10	51	44	39	対象工事作業振動
11:10～11:20	48	43	41	対象工事作業振動
11:20～11:30	52	46	42	対象工事作業振動
11:30～11:40	52	45	40	対象工事作業振動
11:40～11:50	52	46	41	対象工事作業振動
11:50～12:00	51	43	39	対象工事作業振動

表 2-3(1) ささしま地区アンダーパス部(太閤地区側)の振動調査結果(函体工事(土工)) 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
15:00～15:10	48	42	37	対象工事作業振動、他工区作業振動
15:10～15:20 (15:10～15:15)	44	40	35	対象工事作業振動(～15:15)、他工区作業振動 (15:15～)
	45	42	39	
15:20～15:30 (15:26～15:30)	49	43	37	対象工事作業振動(15:26～)、他工区作業振動 (～15:26)
	49	45	42	
15:30～15:40 (15:30～15:34)	45	39	35	対象工事作業振動(～15:34)、他工区作業振動 (15:34～)
	47	43	38	
15:40～15:50	42	36	33	他工区作業振動(暗振動)
15:50～16:00	44	39	34	他工区作業振動(暗振動)

表 2-3(2) ささしま地区アンダーパス部(ささしま地区側)の振動調査結果(函体工事(土工)) 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
11:00～11:10	42	38	35	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:10～11:20	43	38	35	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:20～11:30	40	36	29	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:30～11:40	42	37	33	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:40～11:50	41	35	31	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:50～12:00	41	37	32	対象工事作業振動、他工区作業振動
12:00～12:10	40	34	27	対象工事作業振動(～12:03)、他工区作業振動(～12:06)
12:10～12:20	32	29	24	周辺道路交通振動
12:20～12:30	38	32	27	他工区作業振動(12:23～)
12:30～12:40	40	34	30	他工区作業振動
12:40～12:50	39	34	29	他工区作業振動
12:50～13:00	39	36	32	他工区作業振動

表 2-4(1) ささしま地区アンダーパス部(太閤地区側)の振動調査結果(函体工事(躯体工)) 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
7:00～7:10	37	34	32	作業準備（暗振動）
7:10～7:20	37	35	33	作業準備（暗振動）
7:20～7:30	41	37	34	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
7:30～7:40	39	35	32	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
7:40～7:50	41	37	31	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
7:50～8:00	42	38	35	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
8:00～8:10	42	38	35	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
8:10～8:20	41	38	35	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
8:20～8:30	43	39	36	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
8:30～8:40	42	40	38	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
8:40～8:50	42	39	36	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）
8:50～9:00	44	40	38	対象工事作業振動（コンクリートポンプ車稼働）

表 2-4(2) ささしま地区アンダーパス部(ささしま地区側)の振動調査結果(函体工事(躯体工)) 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
18:00～18:10	37	32	29	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
18:10～18:20	35	31	28	道路交通振動、鉄道振動（工事休止中）
18:20～18:30	34	31	27	道路交通振動、鉄道振動（工事休止中）
18:30～18:40	36	31	29	道路交通振動、鉄道振動（工事休止中）
18:40～18:50	37	33	30	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
18:50～19:00	42	33	30	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
19:00～19:10	44	33	31	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
19:10～19:20	35	32	30	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
19:20～19:30	36	33	31	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
19:30～19:40	36	32	30	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
19:40～19:50	35	31	29	対象工事作業振動、道路交通振動、鉄道振動
19:50～20:00	36	30	27	道路交通振動、鉄道振動（工事休止中）

表 2-5(1) 太閤地区掘割部の振動調査結果（掘割工事(土留め工)） 東側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
11:00～11:10	42	38	35	対象工事作業振動
11:10～11:20	55	51	38	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
11:20～11:30	51	39	35	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
11:30～11:40	41	37	35	対象工事作業振動
11:40～11:50	40	35	31	他工区作業振動
11:50～12:00	41	34	30	他工区作業振動
12:00～12:10	40	32	29	作業休止（暗振動）
12:10～12:20	41	34	31	作業休止（暗振動）
12:20～12:30	40	32	28	作業休止（暗振動）
12:30～12:40	41	33	29	他工区作業振動
12:40～12:50	41	33	28	他工区作業振動
12:50～13:00	40	34	30	他工区作業振動
13:00～13:10	42	35	31	対象工事作業振動
13:10～13:20	52	40	35	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:20～13:30	53	48	40	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:30～13:40	43	41	39	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:40～13:50	50	45	40	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:50～14:00	50	46	41	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:00～14:10	50	44	40	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:10～14:20	47	40	36	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:20～14:30	42	37	34	対象工事作業振動
14:30～14:40	43	40	36	対象工事作業振動
14:40～14:50	47	43	40	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:50～15:00	48	44	42	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）

表 2-5(2) 太閤地区掘割部の振動調査結果（掘割工事(土留め工)） 西側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
11:00～11:10	44	41	37	対象工事作業振動
11:10～11:20	60	55	41	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
11:20～11:30	56	40	37	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
11:30～11:40	44	41	39	対象工事作業振動
11:40～11:50	40	35	29	他工区作業振動
11:50～12:00	40	33	29	他工区作業振動
12:00～12:10	38	32	28	作業休止（暗振動）
12:10～12:20	38	33	30	作業休止（暗振動）
12:20～12:30	37	32	28	作業休止（暗振動）
12:30～12:40	39	32	28	他工区作業振動
12:40～12:50	36	32	28	他工区作業振動
12:50～13:00	39	33	30	他工区作業振動
13:00～13:10	40	35	31	対象工事作業振動
13:10～13:20	56	43	40	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:20～13:30	58	52	39	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:30～13:40	44	39	36	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:40～13:50	56	48	37	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
13:50～14:00	57	51	38	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:00～14:10	57	45	36	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:10～14:20	51	42	38	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:20～14:30	42	39	38	対象工事作業振動
14:30～14:40	42	39	35	対象工事作業振動
14:40～14:50	53	42	35	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）
14:50～15:00	54	45	37	対象工事作業振動（サイレントパイラー稼働）

表 2-6(1) 太閤地区掘割部の振動調査結果（掘割工事(土工)） 東側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	42	36	32	作業前（暗振動）
8:10～8:20	41	34	30	作業前（暗振動）
8:20～8:30	41	35	31	作業前（暗振動）
8:30～8:40	41	35	31	作業準備
8:40～8:50	41	35	32	作業準備
8:50～9:00	42	35	32	作業準備
9:00～9:10	50	42	34	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:10～9:20	50	43	35	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:20～9:30	51	43	36	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:30～9:40	51	45	37	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:40～9:50	55	49	41	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:50～10:00	53	45	34	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:00～10:10	53	47	39	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:10～10:20	53	46	39	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:20～10:30	53	46	40	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:30～10:40	52	45	37	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:40～10:50	52	46	41	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:50～11:00	53	46	41	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:00～11:10	54	47	41	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:10～11:20	51	44	39	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:20～11:30	49	44	38	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:30～11:40	42	38	33	作業準備
11:40～11:50	50	41	33	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:50～12:00	51	44	36	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）

表 2-6(2) 太閤地区掘割部の振動調査結果（掘割工事(土工)） 西側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	41	36	31	作業前（暗振動）
8:10～8:20	40	34	30	作業前（暗振動）
8:20～8:30	39	34	30	作業前（暗振動）
8:30～8:40	39	34	30	作業準備
8:40～8:50	39	33	30	作業準備
8:50～9:00	42	37	33	作業準備
9:00～9:10	48	40	35	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:10～9:20	48	41	34	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:20～9:30	50	42	36	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:30～9:40	53	46	40	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:40～9:50	55	49	43	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
9:50～10:00	53	45	34	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:00～10:10	54	46	38	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:10～10:20	52	45	38	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:20～10:30	52	45	39	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:30～10:40	52	45	38	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:40～10:50	52	47	41	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
10:50～11:00	54	48	42	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:00～11:10	54	47	42	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:10～11:20	52	45	40	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:20～11:30	48	44	40	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:30～11:40	42	37	32	作業準備
11:40～11:50	51	41	35	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）
11:50～12:00	52	44	35	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ等）

表 2-7(1) 太閤地区掘割部の振動調査結果（掘割工事(擁壁工)） 東側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	44	36	32	作業準備
8:10～8:20	45	36	33	作業準備
8:20～8:30	44	37	34	作業準備
8:30～8:40	44	37	34	対象工事作業振動 (稼働重機：コンクリート注入ポンプ・コンクリートミキサー車等)
8:40～8:50	42	37	33	
8:50～9:00	42	36	32	
9:00～9:10	44	36	33	
9:10～9:20	42	36	33	
9:20～9:30	43	36	33	
9:30～9:40	41	36	33	
9:40～9:50	42	36	33	
9:50～10:00	41	37	34	
10:00～10:10	45	38	34	
10:10～10:20	44	39	35	
10:20～10:30	44	39	34	
10:30～10:40	45	38	34	
10:40～10:50	43	37	33	
10:50～11:00	46	41	34	
11:00～11:10	45	41	35	
11:10～11:20	45	40	35	
11:20～11:30	45	39	34	
11:30～11:40	45	40	35	
11:40～11:50	46	41	34	
11:50～12:00	45	40	35	
12:00～12:10	46	41	34	
12:10～12:20	45	39	33	
12:20～12:30	46	40	33	
12:30～12:40	45	40	34	
12:40～12:50	46	40	34	
12:50～13:00	42	36	32	
13:00～13:10	43	34	30	
13:10～13:20	41	35	31	
13:20～13:30	45	38	33	
13:30～13:40	42	36	33	
13:40～13:50	44	36	32	
13:50～14:00	40	35	30	

表 2-7(2) 太閤地区掘割部の振動調査結果（掘割工事(擁壁工)） 西側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	42	36	32	作業準備
8:10～8:20	43	37	33	作業準備
8:20～8:30	41	37	33	作業準備
8:30～8:40	42	37	34	対象工事作業振動 (稼働重機：コンクリート注入ポンプ・コンクリートミキサー車等)
8:40～8:50	43	37	33	
8:50～9:00	42	36	33	
9:00～9:10	41	35	32	
9:10～9:20	41	35	32	
9:20～9:30	42	36	33	
9:30～9:40	41	36	33	
9:40～9:50	40	35	32	
9:50～10:00	41	36	33	
10:00～10:10	43	37	33	
10:10～10:20	42	37	34	
10:20～10:30	43	38	34	
10:30～10:40	44	37	33	
10:40～10:50	41	35	32	
10:50～11:00	41	38	33	
11:00～11:10	43	38	33	
11:10～11:20	42	38	34	
11:20～11:30	40	36	32	
11:30～11:40	41	36	33	
11:40～11:50	44	38	34	
11:50～12:00	44	38	34	
12:00～12:10	42	38	33	
12:10～12:20	40	36	31	
12:20～12:30	42	36	31	
12:30～12:40	42	36	32	
12:40～12:50	43	37	32	
12:50～13:00	40	35	30	
13:00～13:10	40	33	29	
13:10～13:20	41	35	30	
13:20～13:30	42	36	32	
13:30～13:40	42	36	32	
13:40～13:50	41	35	31	
13:50～14:00	39	33	30	

表 2-8(1) 太閤地区平面部の振動調査結果（舗装工事(路盤工)） 東側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	38	34	31	作業前（暗振動）
8:10～8:20	37	34	31	作業前（暗振動）
8:20～8:30	37	33	30	作業前（暗振動）
8:30～8:40	36	33	30	作業前（暗振動）
8:40～8:50	36	33	30	作業前（他工区作業あり）
8:50～9:00	41	34	30	作業前（他工区作業あり）
9:00～9:10	47	39	33	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ）
9:10～9:20	44	37	34	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ）
9:20～9:30	46	41	35	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ）
9:30～9:40	46	40	34	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
9:40～9:50	48	42	38	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
9:50～10:00	49	45	41	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
10:00～10:10	46	42	38	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
10:10～10:20	38	34	31	休止中（暗振動）
10:20～10:30	38	34	31	休止中（他工区作業あり）
10:30～10:40	44	35	31	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
10:40～10:50	48	44	41	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
10:50～11:00	50	46	41	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:00～11:10	56	53	39	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:10～11:20	54	53	50	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:20～11:30	57	53	42	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:30～11:40	58	51	48	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:40～11:50	57	51	42	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:50～12:00	52	45	31	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）

表 2-8(2) 太閤地区平面部の振動調査結果（舗装工事(路盤工)） 西側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:00～8:10	45	39	34	作業前（暗振動）
8:10～8:20	44	39	34	作業前（暗振動）
8:20～8:30	43	39	34	作業前（暗振動）
8:30～8:40	42	37	34	作業前（暗振動）
8:40～8:50	42	38	33	作業前（他工区作業あり）
8:50～9:00	45	39	34	作業前（他工区作業あり）
9:00～9:10	52	43	37	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ）
9:10～9:20	52	44	38	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ）
9:20～9:30	57	51	42	対象工事作業振動（重機稼働：バックホウ）
9:30～9:40	54	47	38	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
9:40～9:50	59	52	46	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
9:50～10:00	61	55	50	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
10:00～10:10	58	52	46	対象工事作業振動（重機稼働：ブルドーザー等）
10:10～10:20	43	38	35	休止中（暗振動）
10:20～10:30	43	38	34	休止中（他工区作業あり）
10:30～10:40	54	41	34	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
10:40～10:50	58	52	48	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
10:50～11:00	67	57	46	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:00～11:10	53	47	40	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:10～11:20	49	47	44	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:20～11:30	59	53	47	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:30～11:40	63	53	47	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:40～11:50	57	49	43	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）
11:50～12:00	57	51	35	対象工事作業振動（重機稼働：ロードローラー）

表 2-9(1) 太閤地区平面部の振動調査結果（舗装工事(舗装工(アスファルト))) 東側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
9:00～9:10	36	33	30	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、ダンプトラック）
9:10～9:20	36	34	31	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー）
9:20～9:30	36	33	31	対象工事作業振動（重機稼働：振動コンパクタ）
9:30～9:40	37	33	31	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ、タイヤローラ、振動コンパクタ）
9:40～9:50	36	33	31	
9:50～10:00	40	34	31	
10:00～10:10	38	34	31	
10:10～10:20	46	36	33	
10:20～10:30	50	37	34	
10:30～10:40	48	34	31	
10:40～10:50	42	37	32	
10:50～11:00	46	33	29	
11:00～11:10	36	32	29	
11:10～11:20	43	36	32	
11:20～11:30	38	33	29	
11:30～11:40	39	31	28	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
11:40～11:50	34	30	27	対象工事作業振動（重機稼働：振動コンパクタ）
11:50～12:00	34	31	28	休止中（暗振動）
12:00～12:10	36	31	28	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ等）
12:10～12:20	35	31	28	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:20～12:30	34	30	27	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:30～12:40	38	31	28	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:40～12:50	35	31	28	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:50～13:00	35	31	28	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）

表 2-9(2) 太閤地区平面部の振動調査結果（舗装工事(舗装工(アスファルト))）西側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
9:00～9:10	41	36	33	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、ダンプトラック）
9:10～9:20	43	39	34	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー）
9:20～9:30	44	40	37	対象工事作業振動（重機稼働：振動コンパクタ）
9:30～9:40	44	39	35	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ、タイヤローラ、振動コンパクタ）
9:40～9:50	43	38	34	
9:50～10:00	49	44	36	
10:00～10:10	48	40	35	
10:10～10:20	57	48	42	
10:20～10:30	66	56	53	
10:30～10:40	68	43	34	
10:40～10:50	53	46	37	
10:50～11:00	54	37	33	
11:00～11:10	41	35	32	
11:10～11:20	51	41	34	
11:20～11:30	43	36	32	
11:30～11:40	45	35	32	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
11:40～11:50	38	35	32	対象工事作業振動（重機稼働：振動コンパクタ）
11:50～12:00	39	35	32	休止中（暗振動）
12:00～12:10	42	35	31	対象工事作業振動（重機稼働：アスファルトフィニッシャー、振動ローラ等）
12:10～12:20	38	34	31	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:20～12:30	38	34	30	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:30～12:40	42	35	31	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:40～12:50	40	36	33	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）
12:50～13:00	42	37	34	対象工事作業振動（重機稼働：タイヤローラ）

表 2-10(1) 太閤地区掘割部の振動調査結果（舗装工事(舗装工(コンクリート))）東側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:20～8:30	41	36	32	対象工事作業準備、道路交通振動
8:30～8:40	42	37	33	対象工事作業振動、道路交通振動
8:40～8:50	42	38	34	対象工事作業振動、道路交通振動
8:50～9:00	40	35	31	対象工事作業振動、道路交通振動
9:00～9:10	42	37	33	対象工事作業振動、他工区作業振動
9:10～9:20	42	38	35	対象工事作業振動、他工区作業振動
9:20～9:30	41	36	33	対象工事作業振動、他工区作業振動
9:30～9:40	42	37	33	対象工事作業振動、他工区作業振動
9:40～9:50	42	36	32	対象工事作業振動、他工区作業振動
9:50～10:00	41	37	33	対象工事作業振動、他工区作業振動
10:00～10:10	42	39	35	対象工事作業振動、他工区作業振動
10:10～10:20	43	39	33	対象工事作業振動、他工区作業振動
10:20～10:30	44	40	36	他工区作業振動、対象工事作業振動
10:30～10:40	42	39	37	他工区作業振動、対象工事作業振動
10:40～10:50	—	—	—	他工区作業振動（地点直近で他工区作業を実施していたためこの時間帯の全データを欠測扱いとした。）
10:50～11:00	—	—	—	
11:00～11:10	42	37	34	他工区作業振動、対象工事作業振動
11:10～11:20	39	34	31	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:20～11:30	41	36	32	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:30～11:40	43	37	34	対象工事作業振動、他工区作業振動
11:40～11:50	39	35	32	他工区作業振動、対象工事作業振動
11:50～12:00	—	—	—	他工区作業振動（地点直近で他工区作業を実施していたためこの時間帯の全データを欠測扱いとした。）

表 2-10(2) 太閤地区掘割部の振動調査結果（舗装工事(舗装工(コンクリート))）西側 単位：dB

測定時間	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	主な振動源
8:20～8:30	38	33	30	対象工事作業準備、道路交通振動
8:30～8:40	39	34	31	対象工事作業、道路交通振動
8:40～8:50	39	35	32	対象工事作業振動、道路交通振動
8:50～9:00	36	33	30	対象工事作業振動、道路交通振動
9:00～9:10	38	34	31	対象工事作業振動、道路交通振動
9:10～9:20	39	36	33	対象工事作業振動、道路交通振動
9:20～9:30	41	35	32	対象工事作業振動、道路交通振動
9:30～9:40	43	37	33	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
9:40～9:50	47	38	32	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
9:50～10:00	44	38	31	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
10:00～10:10	43	39	34	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
10:10～10:20	44	39	33	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
10:20～10:30	49	38	33	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
10:30～10:40	46	41	36	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
10:40～10:50	44	38	33	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
10:50～11:00	41	33	29	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
11:00～11:10	43	39	34	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
11:10～11:20	42	35	31	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
11:20～11:30	42	37	32	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
11:30～11:40	45	39	35	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
11:40～11:50	44	39	35	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動
11:50～12:00	40	36	33	対象工事作業振動、他工区作業振動、道路交通振動

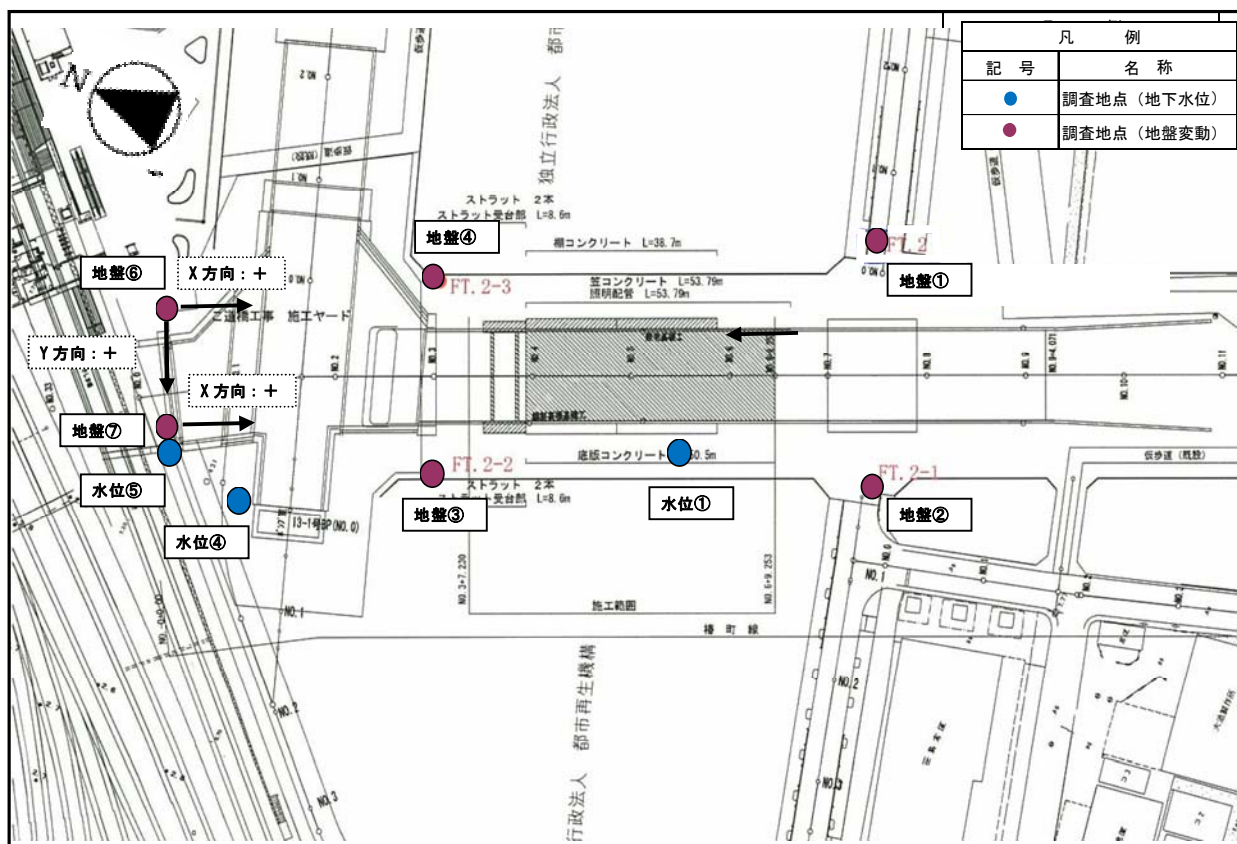


図 3-1(1) 地盤調査地点詳細図 (ささしま地区側)

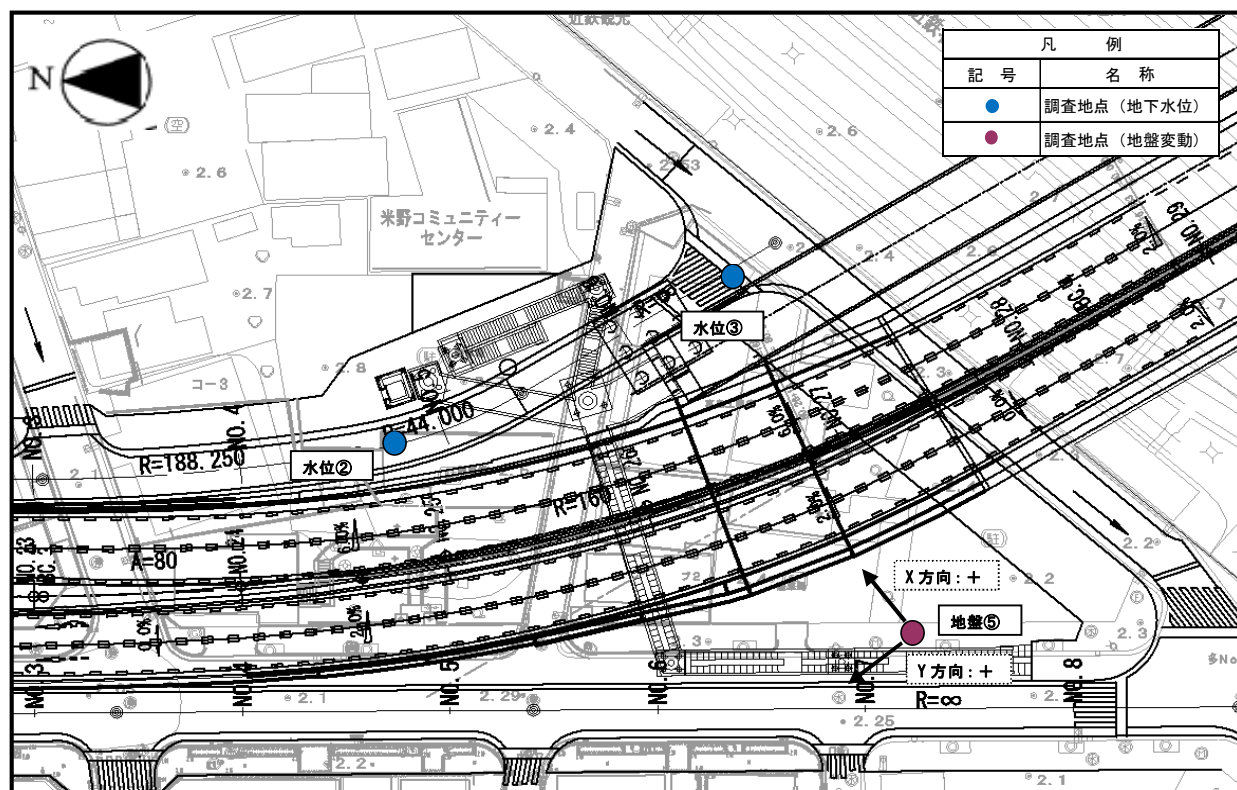


図 3-1(2) 地盤調査地点詳細図 (太閤地区側)

資料 4 地下水位変動調査結果

[本編 P. 52 参照]

表 4-1 地下水位変動調査結果

単位：m

調査日	調査地点	水位①	水位②	水位③	水位④	水位⑤	調査日	調査地点	水位②	水位③	水位④	水位⑤
平成23年9月11日		0.000					平成25年12月1日		-0.010	0.055	0.424	-0.098
平成23年10月1日		-0.277					平成26年1月1日		0.029	-0.046	0.365	-0.086
平成23年11月1日		-0.570					平成26年2月1日		-0.127	-0.194	0.195	-0.254
平成23年12月1日		-0.689					平成26年3月1日		0.068	0.028	0.368	-0.069
平成23年12月16日		-0.790	0.000	0.000			平成26年4月1日		0.127	0.102	0.399	0.030
平成24年1月1日		-0.977	-0.117	-0.129			平成26年5月1日		0.147	0.139	0.546	0.148
平成24年1月27日		-2.066	-0.264	-0.259	0.000		平成26年6月1日		0.410	0.323	0.629	0.243
平成24年2月1日		-2.070	-0.313	-0.305	-0.026		平成26年7月1日		0.156	0.065	0.393	-0.017
平成24年3月1日		-1.946	-0.303	-0.286	0.066		平成26年8月1日		0.137	0.037	0.358	-0.069
平成24年4月1日		-0.879	-0.088	-0.074	0.502		平成26年9月1日		0.264	0.194	0.429	-0.324
平成24年5月1日		-0.790	0.186	0.194	0.774		平成26年10月1日		0.420	0.342	0.625	-0.235
平成24年5月8日		-0.782	0.166	0.186	0.722		平成26年11月1日		0.391	0.305	0.819	0.327
平成24年6月1日			0.078	0.083	0.592		平成26年12月1日		-0.264	-0.231	0.585	0.110
平成24年7月1日			0.449	0.453	0.944		平成27年1月1日		-0.313	-0.527	-0.028	-0.401
平成24年8月1日			0.537	0.471	0.922		平成27年2月1日		-1.133	-1.090	-0.188	-0.639
平成24年9月1日			0.186	0.286	0.752		平成27年3月1日		-1.309	-1.173	-0.568	-0.808
平成24年10月1日			0.645	0.527	1.225		平成27年4月1日		-1.417	-1.257	-0.642	-0.799
平成24年11月1日			0.371	0.370	0.824		平成27年5月1日		-1.241	-1.137	-0.448	-0.688
平成24年12月1日			0.264	0.259	0.721		平成27年6月1日		-0.801	-0.869	-0.455	-0.591
平成25年1月1日			0.205	0.203	0.560		平成27年7月1日		-0.567	-0.684	-0.049	-0.292
平成25年2月1日			0.098	0.102	0.593		平成27年8月1日		-0.234	-0.397	0.233	-0.107
平成25年3月1日			0.068	0.074	0.543		平成27年9月1日		-0.029	-0.120	0.740	0.448
平成25年4月1日			-0.049	-0.046	0.417		平成27年10月1日		0.234	0.028	0.732	0.318
平成25年4月23日			-0.020	-0.018	0.450	0.000	平成27年11月1日		-0.225	-0.480	0.291	-0.157
平成25年5月1日			0.156	0.148	0.618	0.193	平成27年12月1日		-0.361	-0.601	0.179	0.092
平成25年6月1日			0.107	0.055	0.551	0.137	平成28年1月1日		-0.489	-0.721	0.223	0.268
平成25年7月1日			0.303	0.286	0.782	0.378	平成28年2月1日		-0.713	-0.915	0.096	0.294
平成25年8月1日			0.088	0.028	0.698	0.310	平成28年3月1日		-0.703	-0.869	0.102	-0.336
平成25年9月1日			-0.020	-0.120	0.321	-0.081	平成28年3月25日		-0.610	-0.695	0.291	0.362
平成25年10月1日			0.215	0.065	0.365	-0.113	平成28年3月31日				0.265	0.274
平成25年11月1日			0.371	0.286	0.531	-0.044						

*調査期間中通年実施(1日1回)しており、上表には各月の1日、調査開始日及び終了日の結果を記載した。
また網掛けは調査開始日及び終了日を示す。

資料 5 地盤変動調査結果

[本編 P. 53 参照]

表 5-1 地盤変動調査結果

単位：mm

調査日	調査地点			地盤⑤X方向			地盤⑤Y方向			地盤⑥		
				-1.0m	-11.0m	-23.0m	-1.0m	-11.0m	-23.0m	鉛直方向	X方向	Y方向
平成23年10月1日										0.00	0.00	0.00
平成23年11月1日										-0.46	-0.20	-0.44
平成23年12月1日										-0.66	-0.10	-0.48
平成23年12月14日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-0.58	-0.09	-0.64
平成24年1月1日	0.10	-0.19	0.00	-0.19	-0.10	-0.10	-0.10	-0.10	-0.10	-1.00	-0.11	-0.84
平成24年2月1日	0.57	0.10	0.00	3.42	3.52	-0.10	-1.22	-0.33	-0.89			
平成24年3月1日	0.67	0.48	-0.10	5.80	6.18	-0.10	-1.23	-0.50	-0.73			
平成24年4月1日	0.19	-0.19	-1.24	7.32	7.51	-0.19	-1.37	-0.33	-0.70			
平成24年5月1日	-1.90	-2.19	-3.33	7.41	7.51	-0.29	-1.10	-0.32	-0.46			
平成24年6月1日	-4.56	-4.85	-5.61	6.94	7.03	-0.38	-1.03	-0.45	-0.59			
平成24年7月1日	-9.12	-4.75	-5.61	6.46	6.93	-0.38	-1.00	-0.73	-0.71			
平成24年8月1日	-13.68	-7.60	-5.61	-10.55	12.54	-0.38	-1.00	-1.18	-1.03			
平成24年9月1日	-13.59	-6.08	-5.61	-1.14	18.91	-0.38	-1.34	-1.20	-1.20			
平成24年10月1日	-5.13	-4.09	-5.61	14.92	18.53	-0.38	-1.47	-1.10	-1.43			
平成24年11月1日	0.66	-3.71	-5.61	21.76	16.72	-0.38	-1.50	-1.06	-1.84			
平成24年12月1日	3.33	-3.23	-5.61	25.56	15.87	-0.38	-1.50	-0.80	-2.07			
平成25年1月1日	5.03	-2.95	-5.61	27.17	15.20	-0.38	-1.50	-0.66	-2.13			
平成25年2月1日	6.18	-2.66	-5.61	27.08	14.82	-0.38	-1.50	-0.74	-2.23			
平成25年3月1日	6.75	-2.57	-5.61	26.32	14.73	-0.38	-1.50	-0.79	-2.15			
平成25年4月1日	7.51	-2.47	-5.61	25.65	14.92	-0.38	-1.50	-1.12	-2.34			
平成25年5月1日	8.36	-2.38	-5.61	24.70	15.10	-0.38	-1.50	-1.24	-2.22			
平成25年6月1日	9.22	-2.19	-5.61	23.75	15.30	-0.38	-1.49	-1.51	-2.19			
平成25年7月1日	9.60	-2.09	-5.61	22.90	15.39	-0.38	-1.31	-1.66	-2.26			
平成25年8月1日	9.41	-2.28	-5.61	22.33	15.68	-0.38	-1.31	-1.81	-2.35			
平成25年9月1日	9.69	-2.28	-5.61	21.38	15.87	-0.38	-1.46	-1.82	-2.49			
平成25年10月1日	11.02	-2.19	-5.61	20.14	15.77	-0.38	-1.49	-1.67	-2.60			
平成25年11月1日	11.69	-2.19	-5.61	19.67	15.96	-0.38	-1.50	-1.20	-2.53			
平成25年12月1日	12.35	-2.09	-5.61	19.47	16.15	-0.38	-1.50	-0.95	-2.69			
平成26年1月1日	12.92	-2.09	-5.61	19.19	16.25	-0.38	-1.50	-0.86	-2.63			
平成26年2月1日	12.73	-2.09	-5.61	18.62	16.44	-0.38	-1.50	-0.88	-2.68			
平成26年3月1日	13.40	-2.09	-5.61	18.24	16.44	-0.38	-1.50	-0.87	-2.50			
平成26年4月1日	13.78	-2.00	-5.61	17.86	16.53	-0.38	-1.50	-1.04	-2.52			
平成26年5月1日	14.06	-1.90	-5.61	17.10	16.63	-0.38	-1.50	-1.33	-2.54			
平成26年6月1日	13.77	-1.90	-5.61	16.25	16.53	-0.38	-1.35	-1.71	-2.54			
平成26年7月1日	13.78	-1.90	-5.61	16.53	16.72	-0.38	-1.29	-1.95	-2.59			
平成26年8月1日	13.78	-1.81	-5.61	16.34	16.72	-0.38	-1.16	-2.05	-2.66			
平成26年9月1日	14.44	-1.71	-5.61	16.62	16.81	-0.38	-1.50	-1.97	-2.68			
平成26年10月1日	14.63	-1.71	-5.61	16.34	16.82	-0.38	-1.43	-1.83	-2.71			
平成26年11月1日	14.92	-1.52	-5.61	16.72	16.91	-0.38	-1.50	-1.57	-2.72			
平成26年12月1日	15.01	-1.62	-5.61	16.44	16.82	-0.38	-1.50	-1.32	-2.66			
平成27年1月1日	15.39	-1.43	-5.61	16.82	17.01	-0.38	-1.50	-1.07	-2.79			
平成27年2月1日	15.77	-1.43	-5.61	16.25	17.10	-0.38	-1.50	-1.10	-2.82			
平成27年3月1日	15.49	-1.62	-5.61	15.68	17.01	-0.38	-1.50	-1.22	-2.78			
平成27年4月1日	15.01	-1.52	-5.61	15.96	17.10	-0.38	-1.50	-1.44	-2.62			
平成27年5月1日	14.16	-1.62	-5.61	15.68	17.01	-0.38	-1.50	-1.74	-2.75			
平成27年6月1日	14.35	-1.43	-5.61	15.58	17.29	-0.38	-1.50	-1.90	-2.75			
平成27年7月1日	14.54	-1.33	-5.61	15.68	17.29	-0.38	-1.50	-1.84	-2.78			
平成27年8月1日	14.44	-1.43	-5.61	15.11	17.20	-0.38	-1.09	-2.09	-2.98			
平成27年9月1日	15.01	-1.33	-5.61	15.48	17.39	-0.38	-1.27	-1.99	-2.97			
平成27年10月1日	15.39	-1.24	-5.61	15.30	17.29	-0.38	-1.50	-1.80	-3.02			
平成27年11月1日	15.77	-0.95	-5.61	15.58	17.48	-0.38	-1.50	-1.54	-3.20			
平成27年12月1日	16.72	-0.76	-5.61	15.49	17.39	-0.38	-1.50	-1.31	-3.23			
平成27年12月14日	17.67	-0.85	-5.61	15.77	17.39	-0.38	-1.50	-1.30	-3.18			
平成28年1月1日								-1.50	-1.16	-3.24		
平成28年2月1日								-1.50	-1.15	-3.10		
平成28年3月1日								-1.50	-1.24	-3.13		
平成28年3月31日								-1.50	-1.30	-3.18		

調査日	調査地点	地盤⑦		
		0.0m	-11.0m	-22.5m
平成23年12月20日		0.00	0.00	0.00
平成24年1月27日		-1.29	-0.29	0.00
平成24年2月23日		-1.14	-0.07	0.00
平成24年3月29日		-1.53	-0.21	0.00
平成24年4月26日		-1.62	-0.51	0.00
平成24年5月25日		-1.78	-0.74	0.00
平成24年6月28日		-3.60	-1.55	0.00
平成24年7月25日		-0.86	-1.79	0.00
平成24年8月31日		-0.82	-2.63	0.00
平成24年9月28日		-2.69	-3.63	0.00
平成24年10月25日		-6.93	-4.32	0.00
平成24年11月22日		-6.60	-5.15	0.00
平成24年12月21日		-6.24	-8.10	0.00
平成25年1月25日		-6.25	-10.56	0.00
平成25年2月22日		-5.55	-16.25	0.00
平成25年3月29日		-5.24	-16.24	0.00
平成25年4月23日		-5.13	-16.15	0.00
平成25年5月31日		-7.59	-16.66	0.00
平成25年6月28日		-8.49	-16.55	0.00
平成25年7月26日		-8.43	-16.55	0.00
平成25年8月30日		-8.10	-16.42	0.00
平成25年9月27日		-8.73	-16.94	0.00
平成25年10月25日		-10.86	-17.54	0.00
平成25年11月29日		-10.97	-18.41	0.00
平成25年12月24日		-10.73	-18.68	0.00
平成26年1月31日		-9.83	-18.63	0.00
平成26年2月28日		-9.35	-18.64	0.00
平成26年3月28日		-9.21	-18.58	0.00
平成26年4月18日		-9.71	-18.75	0.00
平成26年5月30日		-9.67	-18.51	0.00
平成26年6月26日		-11.84	-18.54	0.00
平成26年7月25日		-9.85	-17.92	0.00
平成26年8月29日		-10.36	-18.31	0.00
平成26年9月26日		-9.26	-17.88	0.00
平成26年10月31日		-8.63	-18.38	0.00
平成26年11月21日		-8.90	-19.01	0.00
平成26年12月22日		-8.39	-19.64	0.00
平成27年1月30日		-6.81	-19.28	0.00
平成27年2月25日		-6.13	-19.32	0.00
平成27年3月27日		-5.22	-19.03	0.00
平成27年4月20日		-5.72	-19.29	0.00
平成27年5月29日		-6.82	-19.44	0.00
平成27年6月26日		-9.41	-19.49	0.00
平成27年7月31日		-9.09	-18.79	0.00
平成27年8月28日		-10.59	-19.79	0.00
平成27年9月25日		-11.28	-19.43	0.00
平成27年10月30日		-11.17	-19.32	0.00
平成27年11月26日		-11.56	-19.60	0.00
平成27年12月22日		-10.04	-19.28	0.00
平成28年1月29日		-9.00	-19.04	0.00
平成28年2月26日		-8.27	-18.34	0.00
平成28年3月25日		-8.93	-18.15	0.00
平成28年4月22日		-9.70	-18.40	0.00
平成28年5月20日		-13.36	-20.04	0.00
平成28年6月24日		-15.65	-20.75	0.00

*調査期間中通年実施(1日1回)しており、上表には各月の1日、調査開始日及び終了日の結果を記載した。
また網掛けは調査開始日及び終了日を示す。

表 6-1 交通量調査結果

単位：台

	上り（名古屋駅方面）				下り（米野駅方面）			
	小型車	大型車	工事関係 車両	二輪車	小型車	大型車	工事関係 車両	二輪車
9 時台	15	3	11	1	108	4	13	4
10 時台	19	5	6	0	93	5	6	1
11 時台	10	1	5	1	108	3	5	2
12 時台	9	2	0	0	114	8	0	2
13 時台	10	2	10	0	105	6	10	1
14 時台	12	0	2	0	120	7	2	2
15 時台	15	2	11	0	102	2	9	3
16 時台	13	2	3	0	148	5	2	5
計	103	17	48	2	898	40	47	20

シート・散水の実施状況



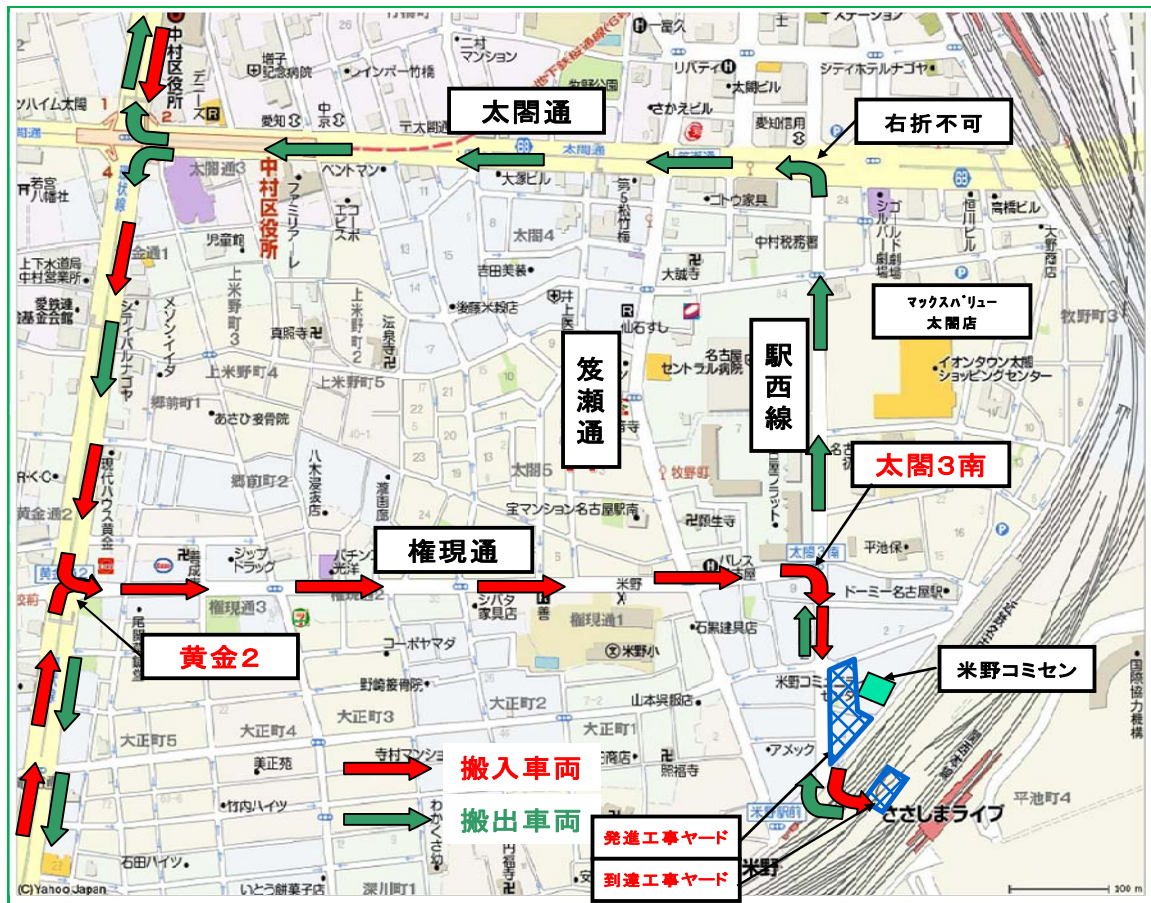
H=6.0mの仮囲い設置により
土埃の場外飛散を防止

搬出入車両の洗浄実施状況



洗浄実施状況

工事関係車両の通路選定



防音措置状況



防音壁設置状況

防音措置状況



防音措置状況

防音措置状況



防音措置状況

低騒音型・低振動型機械の導入状況

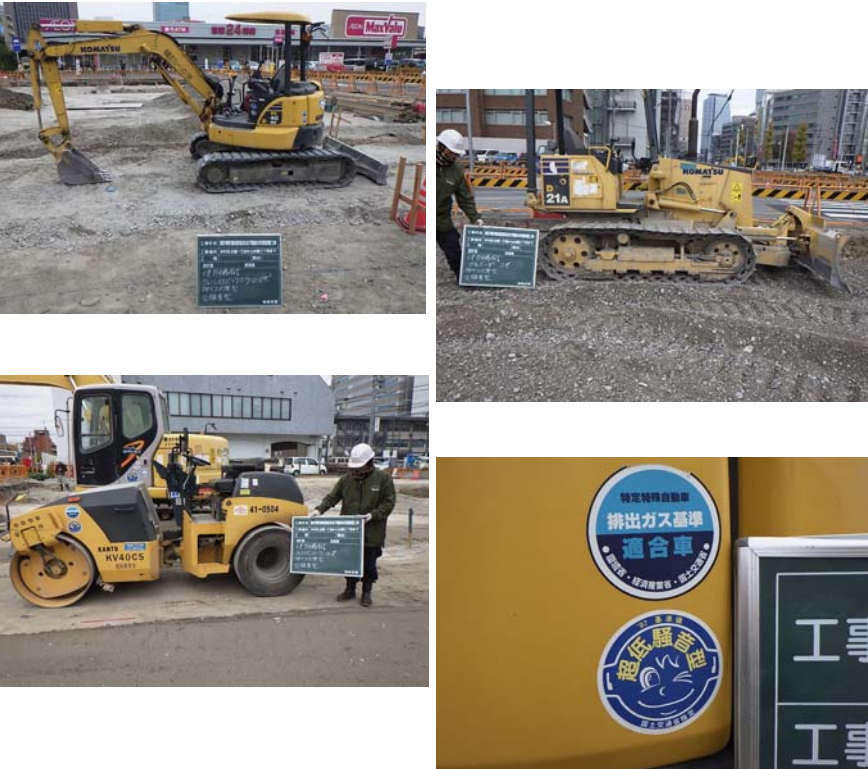


低騒音型・低振動型機械
の導入状況

低騒音型・低振動型機械の導入状況

	低騒音型・低振動型機械の導入状況
--	-------------------------

低騒音型・低振動型機械の導入状況

	低騒音型・低振動型機械の導入状況
--	-------------------------

騒音・振動を極力抑えるため採用した施工方法の内容



硬質地盤クリア工法

矢板圧入機に鋼矢板を建込み、ケーシングオーガで堀削し、鋼矢板とオーガを連動させながら圧入することで騒音・振動を最小限に抑える。

騒音・振動を極力抑えるため採用した施工方法の内容



SMW 工法

専用に開発された多軸混練オーガー機で原地盤を削孔し、その先端よりセメントスラリーを吐出して 1 エレメントの削孔混練を行いソイルセメント壁体を造る。その後、連続一体のソイルセメント連続壁として、エレメント端の削孔混練軸を次エレメントに完全ラップさせて造成していく。なお、SMWとは土 (Soil) とセメントスラリーを原位置で混合・攪拌 (Mixing) し、地中に造成する壁体 (Wall) の略称である。

騒音・振動を極力抑えるため採用した施工方法の内容

歩道橋架設用クレーン基礎地盤改良部の撤去に際し、騒音振動を低減するため、以下の工法を用いた。

- ①地面に垂直にφ180mmのコアを削孔する(φ900×1350に1箇所)。
- ②削孔穴にてバースター(油圧)一次破碎を行い、改良体に亀裂を入れる。
- ③削孔穴にてニブラを用い改良体は大ブロックに割る(二次破碎)。
- ④大ブロックの改良体を積込・搬出する。



騒音・振動を極力抑えるため採用した施工方法の内容

サイレントパイラー工法(油圧圧入引抜工法)

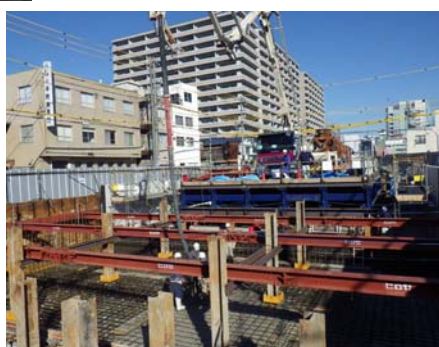


サイレントパイラー工法は既に地中に押し込まれた杭(鋼矢板)を数本つかみ、その引抜抵抗力を反力にして油圧による静荷重で次の杭を押し込んでゆく工法である。

打撃や振動により既製杭を地盤中に設置する打込み方式では、必然的に振動や騒音といった建設公害を発生させ、また地盤を削孔して既製杭を設置する埋込み方式では、余分な排土や泥水が発生する。しかし、圧入方式は他の設置方法と比べ、周辺環境に及ぼす振動や騒音が小さく、地盤を乱さず、汚泥が発生しないという長所を有している。

騒音・振動を極力抑えるため採用した施工方法の内容

コンクリートポンプ打設工法



コンクリートポンプ打設工法とは、コンクリートを打設する際にコンクリートポンプを使用し打設箇所まで圧送し、打設を行なう工法のことである。コンクリートを連続輸送するため、従来の工法よりも時間短縮が見込まれるため、工期短縮により周辺環境への影響が少なくなることが見込まれる。

施工状況



準備工

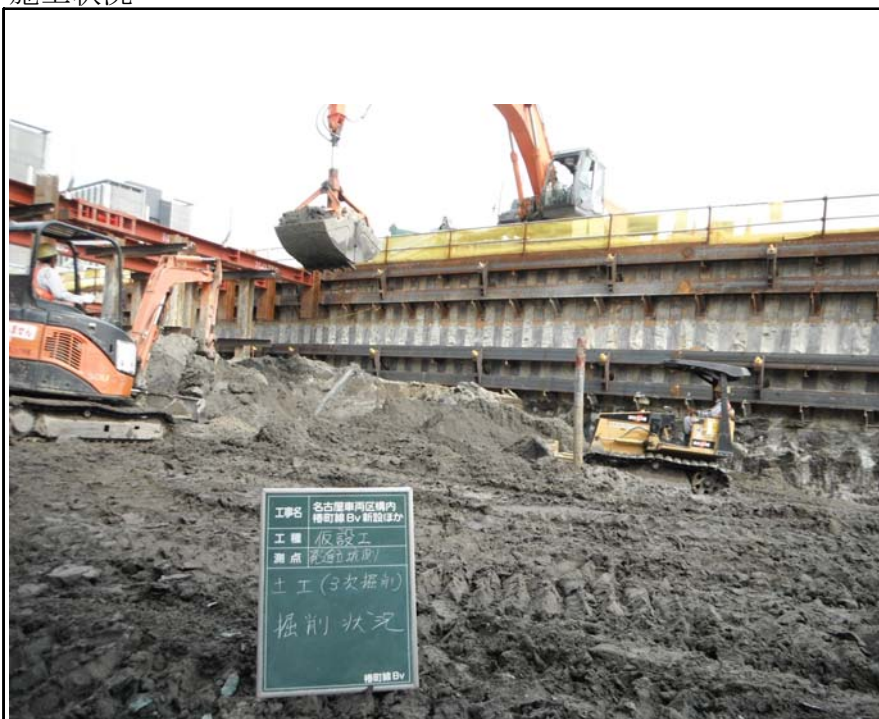
(太閤地区平面部)

施工状況



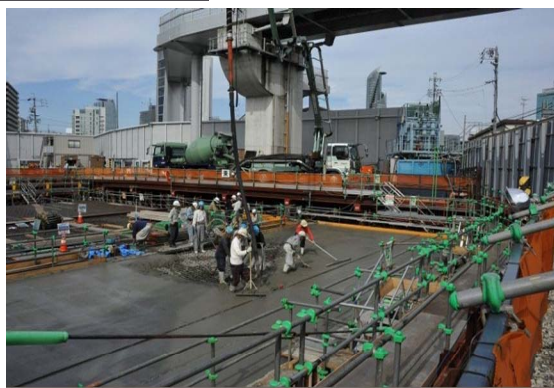
函体工事：
土留め工
（ささしま地区アンダー
パス部：ささしま地区
側）

施工状況



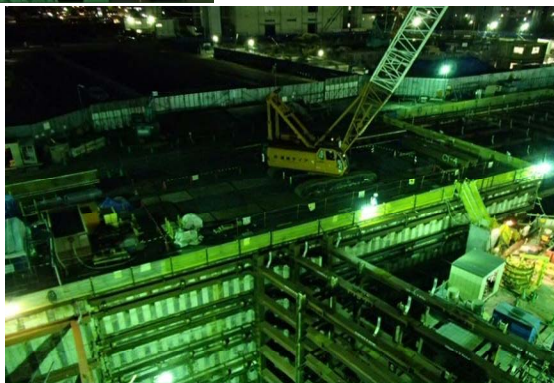
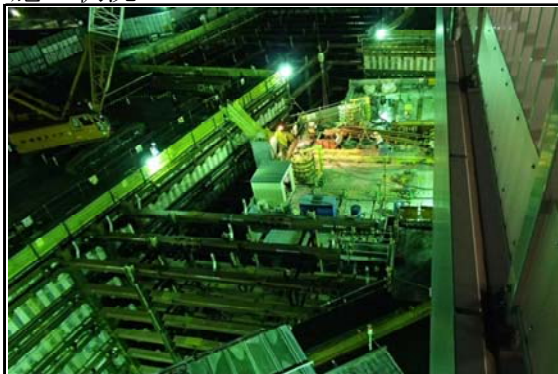
函体工事：
土工
（ささしま地区アンダー
パス部：ささしま地区
側）

施工状況



函体工事：
 躯体工
 （ささしま地区アン
 ダーパス部：太閤地区
 側）

施工状況



函体工事：
 躯体工
 （ささしま地区アン
 ダーパス部：ささしま
 地区側）

施工状況



掘削工事：土留め工
(太閤地区掘削部)

施工状況



掘削工事：土工
(太閤地区掘削部)

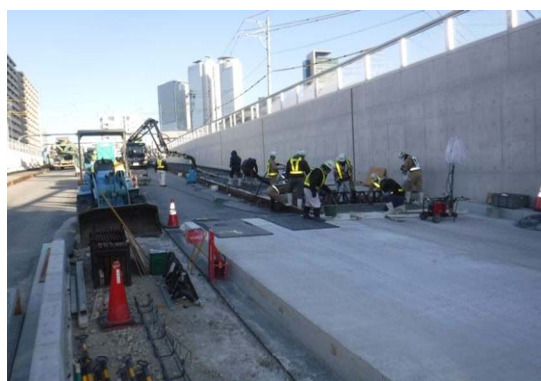
施工状況



施工状況



施工状況



舗装工事：
舗装工
(太閤地区掘割部)

廃棄物等の処理状況



廃棄物の運搬状況

廃棄物の保管状況



保管状況

木くず
 廃プラスチック
 安定型混合廃棄物
 紙くず
 金属
 コンクリート
 アスファルト

の7種類に分別・収集している。
 保管時はネットをかけて飛散養生を実施。
 コンクリート、アスファルトに関しては発生場所にて集積し、速やかに搬出する。

廃棄物等の運搬時の措置の状況



運搬時の状況

運搬時、軽量ゴミ等の飛散や汚泥等の流出を防止するためにコンテナにシートをかけて搬出を行う。

ガードフェンス等の設置



工事ヤード仮囲い
設置状況

工事安全施設の設置



工事安全施設

道路の線形変更に伴う
線路防護柵の移設および
衝突防護用ガードレール、
スズラン灯の設置